平	Z成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 所属部課名 商工観光課 清水 博																	
]事務事業(事務事業番	号	1			担当者			「小	
	31 11 1	11-100-1-010				評価区分	}		務事業性質	•	政策	的事業	補		· 听管省F			
	事務	等業名	笠間ファン倶楽	節推進事業		評価事業	生		重要事務事業			_	助単	市単独				博 言彦
									計画実施計	一画		0	独	山牛瓜			順位	事業数
	政	政策	2.多彩な交流で発								補助率			19	40			
合	策	小政策	業を振興	します		事業	開始年度		終	了年度	分	1111-23		T	10	10		
計画	体玄	施策	1. 観 光	コ 1. 仏知の士/			期			ì	単年度	を繰り返し	共化	共催者・関係団体 笠間観光調			光協会	
	4 示 小施束 3. 観光各受け入れ体制の允美 間 間							典』	文課									
了貨	广 室	一般	款 商工費	項 商工費	र्ह्य न	目 二振興費	位 問		和日石 ン倶楽部推進事	玄娄		<u> </u>	辰川	义味				
乔	小	ЛХ	向上貝	- 月上月	[51]工	-7水兴貝	77.1H	1///	/ 厌木 印 医	产术		E施手法		補助	金の有象	III. 1	負担金σ)有無
Ē												一部委託		1111-23	——————————————————————————————————————	,,,		11 2///
1	【事務事業の全体概要及び背景】2 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3 【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】																	
拡し取フのの23のすさ区をそうてりァ募会年料るらにしの	歴間ファンを増やすことにより交流人口の 広充が図り、産業振興や活性化を目的と て事業化された。 対別組みとしては、平成16年12月に「笠間 ファン倶楽部協力店事業実施 農業体験を中心にした体験事業開催(ピザ作り、登り窯 を関ファン倶楽部協力店事業実施 農業体験を中心にした体験事業開催(ピザ作り、登り窯 を関ファン倶楽部協力店事業実施 農業体験を中心にした体験事業開催(ピザ作り、登り窯 を関ファン倶楽部協力店事業実施 農業体験を中心にした体験事業開催(ピザ作り、登り窯 を関ファン倶楽部協力店事業に、期間限定とは、 の会員が登録されている。 3年度から有料会員制度を導入し、笠間 つ粋ブランド商品を会員特典として送付 たるなど、会員との意思疎通を図った。 らに、発信力のある会員が多い東京地 とにた。発信力のある会員が多い東京地 とにた。 その他、会員を対象に農業体験など笠間 寺有の体験事業を年数回実施している。 で関ファン倶楽部協力店事業実施 専門ファン倶楽部協力店事業実施 (予算額) 報償費50,000円 を関ファン倶楽部協力店事業実施 地元ファン倶楽部協力店事業実施 農業体験と笠間の自然を満喫する体験事業開催(豆腐 作り、オタル鑑賞、稲刈り、餅つきるしめ縄など) 直都圏居住者を対象に東京PRを実施(期間限定と間レ 大ルマガ送信 年11回 年度 農業体験と笠間の自然を満喫する体験事業開催(豆腐 作り、ホタル鑑賞、稲刈り、餅つき&しめ縄など) 直都圏居住者を対象に東京PRを実施(期間限定空間レ ストランを東京健原スワンカフェで開設)																	
5	事務	5事業の目的	りと手段															単位
		対象		笠間ファン側	1 本 小 人	吕				④ 対象		目ファンタ	倶楽	(部会員	•			人
目	(働	きかける相手	手・もの)	立囘ノアンツ	宋印云	貝				N® 指標								
台	⊚≢	変す業の音	····································	こいな法事業ね	じまごるい・	た今日の世才	S 774 7	(K 7/2)	広に トスォ ナ	(5)	(間ファン	倶绵	(部会員	数			人
			態にしたいのか)			け入れ体制の			別でよるもく	成5 指標		光客数						人
	手 ③目的を達成するために実際に 行った行政活動(サービス) 年4回会員を対象に 笠間の食材(農産物 開設 有料会員制度の設立)を活用した)実施				最提供数 回						
DO	○]]]	事務事業の	実施															
事業	 と	及び指標の)推移															

事	事業費及び指標の推移																
事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(計画) 25年度(計画) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画)										(計画)							
			国庫支出金	千円													
投		財源	県支出金	千円													
入	事	源内	地方債	千円													
コス	事業費	訳	その他	千円													
^ 			一般財源	千円	1,013		1,578		1,800		2,000		2,000		2,000		2,000
_			事業費計(ア)	千円	1,013		1,578		1,800		2,000		2,000		2,000		2,000
イン			職員割合	人 千円	0.50 3,750	0.50	3,750	0.50	3,750	0.50	3,750	0.50	3,750	0.50	3,750	0.50	3,750
ププ	人		時間外	千円	269		329										
ッ	件		嘱託臨時	千円	1,500		1,650		1,700		1,700		1,700		1,700		1,700
1	費		他課の協力分	千円	375		375		400		400		400		400		400
			人件費計(イ)	千円	5,894		6,104		5,850		5,850		5,850		5,850		5,850
	}-	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	6,907		7,682		7,650		7,850		7,850		7,850		7,850
指標区分				単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	体制	鈴事	業数	口	4		4		5		6		6		6		6
動	有料	斗会,	員への情報提供数	口	10		11		10		10		10		10		10
指標	期間	引限定	定レストラン入場者数	人			411		500		500		500		500		500
対	笠同	間ファ	アン倶楽部会員	人	1,541		1,629		1,650		1,700		1,750		1,800		1,850
象指																	
標																	
成里			アン倶楽部会員数	人	1,541		1,629		1,650		1,700		1,750		1,800		1,850
果指	観	光客	数	人	3,100,000	3,0	000,000	3,0	50,000	3,1	100,000	3,1	50,000	3,2	00,000	3,2	250,000
標																	
	コスト指標			単位	22年度(実績)	23年度			F度	25年	手度	26年		27年		284	年度
	アン倶楽部会員一人あたり費			4,482		4,716		4,636		4,618		4,486		4,361		4,243	
観	光客	<u>一</u> 人	あたり費用	円	2		3		3		3		2		2		2

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

発足当初と比較し、認知度も上昇し笠間に興味を持つ市外の笠間ファンが増加した。特にクラインガルテンなどの関連する方々が、会員事業や市の イベントなどにも多く参加することが多くなった。 震災後の風評被害などにより、一時期は会員入会数も減少したが、現在は落ち着いている。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)											
	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行	一政の筆	6囲は行政の役割から見て適切か	?ま	た市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
必要性	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性(《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつ	いて	ているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
性	☑ 適切である		@ ##### - 1. # - # . I									
評価	_		①笠間市の知名度向上 ②交流人口の増加と定住化促進	に結	びつける事業として有効							
IIIII	□見直しの余地がある			. — /гµ	10 -17 0 - ACO C 11/9							
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べて	どうでる	っったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》									
有効性	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民	や他の	施策への波及効果があるか?》									
性	□ 向上の余地がない											
評価			②有料会員化により、各個店サービスなどあらゆる成果が期待出来る。②様々な分野での笠間土産開発など商品化やブランド化推進が期待出来る。									
Ibrri	☑ 向上の余地がある		シは、このなり、マップ国工法が近いの「自由日日(フラマエコ日本語で75岁)日本での。									
- 1.	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業	業費を)	削減できないか?(仕様や工法の身	見直	し,市民の協力など)》							
効率	6人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》											
性	☑ 削減の余地がない			12性	も考えられるが、事業が軌道に乗るまで様子を見る必							
評価			要あり。 ⑥有料化2年目であり、今後の活動	動方	・ ・針を明確にしながら、将来的には、観光協会などへの							
	□ 削減の余地がある		業務委託の検討が必要。									
—;	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)									
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	る										
	有効性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	る	 笠間PRを行う会員の増加により。	来討	5者の増加や知名度向上につながる。							
			======================================	>1 < H/	3 H 1 2 H 1 7 H H M M M M M M M M M M M M M M M M M							
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	る 										
(A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	-アップ 前年度の課題や問題点	_	その他							
①i	改革・改善案	3前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響							
1					の有無とその対策							
くた	いったことから、新たな会員特典を検討す				☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される							
る。					□ 代替案や対策を採ることで対応できる							
					これまで蓄積してきた人脈やノウハウが無駄になって しまう。							
					⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動							
					も含む)							
<u> </u>	改革・改善案を実現する上で克服するべき				☑ 他に手段がない							
	題と解決方法	④取組	状况		□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)							
					名称							
					□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる							
					☑ 統廃合や連携はできない・既に連携している							
	II II			11	II .							

	今後の方向性	改善し	⁄,継続	評価理由 笠間を応援する組織として、様々な団体等と連携する事により、一層の
総合評価 (担当部長)	資源配分	拡	充	事業展開が必要。併せて、有料会員の増加や特典事業の見直しなどが必要。
	部内での位置付け	上	位	

所属部課名 商工観光課 平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 課長名 清水 担当者名 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 川又 信彦 事務事業性質 評価区分 政策的事業 所管省庁 助 部内優先順位 事務事業名 笠間焼陶芸家支援 重要事務事業 評価事業 単 国補助 \cap 総合計画実施計画 順位 事業数 独 2.多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 政策 新規・継続 継続 総 政 区 補助率 11 40 1. 笠間を体感できる観光・産業を振興します 開始年度 小政策 終了年度 合 策 分 業 計 体 施策 2. 地場産業 笠間焼協同組合、県 期 不明 継続 共催者•関係団体 画 系 小施策 窯業指導所 1. 経営の安定化 項 細目名 関連計画 第四次伝統的工芸品産業産地振興計画 会計 款 目 予 一般 商工費 商工費 商工振興費 根拠法令 地場産業支援事業(等間焼) 算 実施手法 科 般 商工費 商工費 商工振興費 地場産業支援事業(笠間焼振興)(災害 補助金の有無 負担金の有無 目 部委託 【事務事業の全体概要及び背景】 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 【事業費の内容(決算額)】 国の伝統的工芸品として指定を受け 笠間焼協同組合と連携し、笠間の陶炎祭や市外でPR活 窯修復数 旅費64,200円 当 ている笠間焼を活性化し、笠間への 動を実施。 笠間の陶炎祭集 需用費48,708円 来訪者の増加などの要因により、地 年 震災により被害を受けた窯修復補助。 客数 負担金350,000円 域経済効果を高める事を目的に、観 度 笠間焼協同組合と県窯業指導所と連携し、今後の笠間 補助金1,800,000円 光や農業などと連携を図った事業展 計 焼の方向性を協議 開を行なう。震災による被害に対して 画 の支援も実施した。 笠間焼協同組合と連携し、笠間の陶炎祭や市外でPR活 今後の笠間焼の (予算額) 方針検討協議数 꽢 動を実施。 旅費65,000円 年 震災により被害を受けた窯修復補助。 窯修復数 需用費40,000円 笠間の陶炎祭集 市・笠間焼協同組合・県・有識者などと窯業指導所の今 度 役務費11,000円 計 後のあり方を検討する委員会で協議。 客数 負担金350,000円 補助金1,800,000円 画 事務事業の目的と手段 単位 笠間焼協同組合員数 人 (1) 対象 笠間焼陶芸家、笠間焼販売店、飲食店、旅館、笠間 対象 笠間焼販売店(内笠間焼協同組合員数) 人 (働きかける相手・もの) 焼協同組合 目 指標 笠間の陶炎祭入込み数 人 的 (5) ②事務事業の意図(どのようにしたい 組合及び笠間焼陶芸家の経営安定させる 成果 のか。どういう状態にしたいのか) 指標 立间の阿狄宗や川外での水事業 窯修繕補助件数 件 (6) 震災で影響を受けた笠間焼陶芸家への窯修繕への PR事業数 補助 ③目的を達成するために実際に 活動 段 国指定伝統的工芸品関連の団体と連携した事業を実 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施

事	業費		が指標の推移				-				
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財源	県支出金	千円							
入	事業	源内	地方債	千円							
コス	事業費	訳	その他	千円							
ト			一般財源	千円	2,323	2,262	2,266	2,500	2,500	2,500	2,500
			事業費計(ア)	千円	2,323	2,262	2,266	2,500	2,500	2,500	2,500
イ			職員割合	人 千円	0.38 2,850	0.38 2,850	0.38 2,850	0.38 2,850	0.38 2,850	0.38 2,850	0.38 2,850
ププ	人		時間外	千円		177	250	250	300	300	300
ッ	件		嘱託臨時	千円							
卜	費		他課の協力分	千円							
$\overline{}$			人件費計(イ)	千円	2,850	3,027	3,100	3,100	3,150	3,150	3,150
	トー	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	5,173	5,289	5,366	5,600	5,650	5,650	5,650
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	窯個	多繕	補助件数	件		4,583,000	3,000,000	0	0	0	0
三動指	PR-	事業	数	口	10	12	12	13	15	15	15
指揮											
標											
対	笠同	間焼	協同組合員数	人	158	157	160	162	165	168	170
象指	笠間	焼販売	店(内笠間焼協同組合員数)	人	26	26	26	26	27	28	29
標											
成果指	笠同	間の	陶炎祭入込み数	人	330,500	380,000	390,000	400,000	420,000	450,000	450,000
米岩											
標											
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
笠間	引の降	甸炎タ	祭入込み客に対する紹	E費 円	16	14	14	14	13	13	13
				円							

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

笠間焼関連事業者は、震災以前から生活が困窮するほど売り上げの減少が続いていたが、今回の震災や風評被害などの影響で一層売り上げ減は継続している。市や国及び県においても、震災被害に対する補助や融資などの手当てを行っているが、業界全体がかなり厳しい状況である。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)								
心	①行政関与の必要性《目的達成に向けて、行政の		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要性評価	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目 図 適切である □ 見直しの余地がある		地域資源である笠間焼を活用した「笠間市」PRや笠間焼の震災復興支援実施による経済						
有効性評	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどう ④成果の波及効果《全市民、または多くの市民やイ		更なる成果向上ができるか?》						
性評価	□ 向上の余地がない ☑ 向上の余地がある	笠間焼のブランド化による「笠間市 待出来る。	空間焼のブランド化による「笠間市」の知名度向上や笠間焼を目的にした観光客増加が、期 寺出来る。						
効率性	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を		見直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》						
-性評価	□ 削減の余地がない☑ 削減の余地がある	状況により臨時雇用や業務委託に	況により臨時雇用や業務委託による人件費削減の可能性を検討する。						
— }	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ② 適切 見直しの余地がある 有効性 ② 適切 見直しの余地がある 効率性 ② 適切 見直しの余地がある		笠間焼を活用した事業支援を行うことにより、笠間PRに大きな影響を与えられることが期待出来る。また、笠間焼を目的にした観光客への増加にも繋げていく。						
(A	CTION】事務事業の改革・改善フォ	コーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
		年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 ☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる						
	牧革・改善案を実現する上で克服するべき 類と解決方法	組状況	 ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) 一他に手段がない 一他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 一他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる 「対 統廃合や連携はできない・既に連携している 						

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 地場産業である笠間焼の支援を行う事により、地域経済活性化が期待
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	出来る。
	部内での位置付け	中 位	

平	成2	4年度等	控間市事務事	業	評価調書	小子!	戊23年度	実別	拖事業)					所属部部 課長			工観光記 青水 博	
[PI	ANI	事務事業	n か計画				, , , , , ,		事務事業	张 号	3			担当者			<u> </u>	.
111	J/ 11 \]	1 F 177 F 7K	7 II E				評価区分	\	事務事業性			的事業	補		听管省			国事務事業
	事終	事業名	稲田みかげ石	事業を	者支援				重要事務事		-X/N	()	助単	7.	71 11 11	/ 1		是先順位
	1. 103	7. XC E		3. 710	1 / 1/2		評価事業	美	総合計画実施			0						事業数
総	政	政策	2.多彩な交流で飛	隆躍す	る活力ある。	産業のま	ちづくり〔産		新規·継続		糸	継続		独				
合	策	小政策	1. 笠間を体感	できる	5観光・産業	業を振興	則ます		事開始年月	变	終	了年度	分	補助率			11	40
計	体	施策	2. 地場産業						業 不明		ý	継続	-11-1	忠孝. 明	反国从		17/10日 稲田羽:	
画	系	小施策	1. 経営の安定	化					間				共1	隹伯・ 判	(常凹) 14		他田初:	
I,	7	会計	款		項		目		細目名			車計画						
貨		一般	商工費	P	商工費	商コ	[振興費	地場産業	業支援事業(稲田みかげる	石振興)		処法令						
禾												尾施手法		補助	金の有	無	負担金の	り有無
F												部委託			0			·
			体概要及び背景						務内容及び			3【年					内容(決	:算額)】
			也場産業である						催補助 11月			石材イ	ベン	卜参加		5,000円		
出力	ナカル	ナ石の活性	化について、事 支援することに。	・業	当いはらる	シストー、	ンフェスティ	バル	開催補助 11	月		者数				¥3,166,		
分り	引組行	古を中心に 本の経営向	.又抜りることに。	よりし	中 加工時 度 石材団	に発生	りつ4付人) 竺畑	ノツン	処理に対する	()					柵助母	≩3,340,	000円	
未り	上土	半り性呂甲	1丁を図る。				ョ垤 転事務の検	-1, €										
					画	一下以口1分:	お子がかり	L J										
							エキシビジョ					石材イ	ベン	卜参加	(予算			
							ンフェスティ					者数				¥2,019,		
								ラッジ	処理に対する	補助					補助金	≩3,340,	000円	
					度石材団			⇒ I										
						牛館移!	転事務の検	討										
					画													
5	事終	事業の目的	カレ手段															単位
			70 1 10							(4)	稲	田石材商	新工.	業協同組	組合員	数		人
	① 文 ()		T (D)	ŏ	みかげ石関:	連業者、	稲田石材商:	工業協	協同組合	対象		.,	-,	>140031 471		,,,,		, ,
目	(制で	きかける相手	手•もの)							指標	票							
的	② 車	※ 車業の音	(図(どのようにした	-1.1						5		材関連へ	~べ)	/卜参加	者数			人
				- v · á	組合及びみ	かげ石队	連業者の経	営安	定させる	成界								
のか。どういう状態にしたいのか) 超音及びのかり 石関連条名の経費 石材関連イベントへの補助及び支払			L les		指標	7	· 十十 目目 , 丰											
丰				-					具補助申請支	6			イベント開催数			口		
手段			するために実際	K 17	長火で影響 [。] 爰	と文りだ	. 口 们 来 白 个	∨ノ国児	水冊助甲酮又	活動								
1	行っ	た行政活動	動(サービス)		及 石材処理協		指標											

事:	坐 弗	及で	指標の推移								
T	木貝		事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円		20 1 20 00/30		20 1 20 (11 11)	30 1 22 (1111)	2. 1 2 (81 11)	
Let.		財	県支出金	千円							
投入	事	源内	地方債	千円							
フコ	事業費	内 訳	その他	千円							
ス	浿	H/ X	一般財源	千円	4,084	6,531	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
\ \			事業費計(ア)	千円	4,084	6,531	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
イ			職員割合	人 千円	0.26 1,950				0.26 1,950	-	0.26 1,950
ンプ	Y		時間外	千円							
ノツ	件		嘱託臨時	千円							
1	費		他課の協力分	千円							
$\overline{}$			人件費計(イ)	千円	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
	}-	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	6,034	8,481	8,450	8,450	8,450	8,450	8,450
		ŧ	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	石村	才関	連イベント開催数	口	3	3	3	3	3	3	3
動											
動指											
標											
対	稲田	日石材	商工業協同組合員数	人	61	61	61	61	61	61	61
象指											
標											
成果指	石村	才関词	車イベント参加者数	人	72,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000	87,000
米指											
標											
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
石村	才関注	車イ〜	いト参加者に対する を	圣費 円	84	97	97	97	75	75	75
				円							

次評価結果

有効性

効率性

必要性 ☑ 適切

□ 適切

□ 適切

□ 見直しの余地がある

✓ 見直しの余地がある

✓ 見直しの余地がある

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

稲田地区で採掘される稲田みかげ石は、建築資材として国会議事堂など主要施設で使用されているが、海外からの製品が安価に流通している為、 輸入資材などにより稲田産のみかげ石はの産出量は激減している。今回の震災で、墓石の修繕などで経営状態は一息ついているが、1.2年後の経 営状態はまた減少すると思われる。

_[CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)								
		西囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
1	(2総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目的((対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
作言	▼ ☑ 適切である								
f		地場産業である稲田みかげ石支援による地域経済活性化							
	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか?》								
1 3	引 ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	施策への波及効果があるか?》							
作言	世 □ 向上の余地がない	石材業全体の活性化(震災による好況もあり)、スラッジ処理支援による公害対策							
ſ	☑ 向上の余地がある	石竹末王仲の旧江山(辰火による別元000万)、ハブブン 危煙大阪による五百月末							
		費を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や									
作言	世 □ 削減の余地がない	他産地や他産業との連携により事業効果の向上							
1	□ 削減の余地がある								

全体総括(振り返り, 反省点)

震災の影響による好況もあるが、基本的な構造の変化はないため、今後の支援は必要。

【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点	その他
①改革・改善案 住宅系メーカーとの事業展開による業務拡張	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策☑影響は大きく、問題の発生が予想される□代替案や対策を採ることで対応できる
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法	④取組状況	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)☑ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
補助金を活用した稲田石PR		名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	1557 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7											
	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 公共事業での活用や他産業との連携による事業展開を検討する									
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持										
	部内での位置付け	中 位										

平	成2	4年度9	空間市事	务事 業	評	価調書	事(平月	戊23年	=度実	施马	事業)					所属部 課長	名		L観光 水 博	
[PI	AN]	事務事業	の計画						· /\			事業番		4	Alle	44	担当者			又信	
	車級	事業名	笠間焼プロ	デュー	マ車	**			区分			業性質務事業		文東日	事業	補助		所管省片			·画事務事 優先順位
	平 4力	尹未石	江川がじへい	,, ,,	ハサ	·*		評価	事業			実施計			_	単	国補助	厚生的	的働省	順位	
総	政	政策	2.多彩な交流	たで飛躍	する	活力ある層	産業のま	ちづくり	〔産 業〕			·継続		継	続	独区	抽	, 10	/10	7011	2 7 7/42
合	策	小政策	1. 笠間を体		る観	見光・産業	美を振り	軋します		事業	開	始年度	Ę	終了	年度	分	補助率	10/	10		
計画	体系	施策	2. 地場産		~ m					期		H22		継	続	共化	崔者・関	係団体	笠間焼	協同組	組合
		小施策 会計	2. まちづく 款	.り~の / i	古用 『	百		目		間	細目	A		関連							
多	了 <u> </u>	一般	商工費			L費	商	 [上振興費	外 緊急			1 コデュース!		根拠							
禾	- 斗	/12	向工員		1111	LA	11-1-								色手法		補助	金の有無	無 1	負担金	の有無
E															て委託	£	,	0)
			と体概要及び		2	【事業計	画(主)	こ担当者	が行う	業務	内容	及び手	順)】		3【年		標】				決算額)
笠間活動	引のF 助を算 こ雇月	Rを目的に E施するた	と笠間焼を活 こ、飲食店へ とめ、笠間焼け かわせた事業	の販促 劦同組	年度計画	興を図る 市内飲 地域資	上・人 ^材 ることに 食店で 	す育成・ より地域 の笠間炉 の国指定	技術伝達 経済の 発使用の ・ ・ ・ 伝統的	承な! 発展 の幹が 工芸	どを行髪に繋	い、笠 げる。 <u></u> ある「笠	注間焼 <i>。</i> 空間焼	り振 」の	販売件			委託料	頁)		
5	車砂	事業の目	的し本印		年度	品質向 興を図る	上・人 ることに 食店で	オ育成・オ より地域 の笠間炉	技術伝え 経済の 発使用の	承なる 発展 り斡加	どを行 計に繋 旋	い、笠	間焼の	り振				委託料		-円	単位
Э .			的と手段										<u>(4)</u>	答	焼ね	司組	合員数				<u> </u>
	①対 (働き	・象 かける相	チ・ナの)		笠間	引焼陶芸	家、笠間	焼販売り	吉、飲食	店、店	旅館		対象					引焼協同	組合員	数)	店
目	(則)	いずりる作	子, 600)										指標	ht. 6	. ++411	TI	N/. / n⊨ /r	7747	N. I.N		-
的			意図(どのよう)			勺飲食店-		での活用	促進				⑤ 成果	飲售	を占利を	刊占	数(販货	2活動店	数)		店
	のか	。どういう状	:態にしたいの	(ょた)	笠間	間焼の普	及とPR						指標								
手段			するために乳		国の	り緊急雇用	用制度を	と活用し、	笠間焼	協同為	組合に	委託	⑥ 活動	営業	(回数						口
		た行政活 務事業の	動(サービス <u>実</u> 施	.)									指標								
事	養費	及び指標の	の推移																		
		事業費	B. C.	単位	Ĺ.	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年	下度(計画)	25年度	き(計i	画) 26	年度	(計画)	27年度	(計画)	28年	度(計画
			車支出金	千円]		3,990		3,990			4,000									
投		財児	支出金	千円]																
投入	事	原 内	地方債	千円	}																
コス	事業費	訳	その他	千円]																
スト		_	般財源	千円]																
_		事業費	貴計(ア)	千円]		3,990		3,990			4,000			0		0)	0		
1		職員	割合	人	·円	0.11	825	0.11	825	0.1	11	825	_		0		0		0		
ンプ	Y	時	間外	千円]						ı										
ツ	件	嘱託		千円]																
ト	費	他課0	D協力分	千円]																
)		人件	貴計(イ)	千円]		825		825			825			0		0)	0		
	トー	タルコスト	(ア)+(イ)	千円]		4,815		4,815			4,825			0		0		0		
		指標区	分	単位		22年度		23年度					25年度	き(目	票)26年	年度	(目標)	27年度	(目標)	28年	度(目標
活	営業	回数		口			45		45	1		50									
動																					
動指								Ī													
標																					
対	笠間	焼協同組	l合員数	人			158		157			158									
象指標			月焼協同組合員数)	店			26		26			26									
標成果指	飲食师	店利用店数(販促活動店数)	店			3		10			10									
指標																					
IMI		コスト	指標	単	位	22年度	(実績)	23年度	(実績)		24年	度	25	年度		26 [±]	手度	27年	F度	2	8年度
販化	足活動		食店利用店		 Ч		07,000		107,000	_		6,500									-
															1			1			

円 円

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

以前から課題となっていた飲食店での笠間焼の利用について、市内だけでなく近隣市町村への普及及び販路拡大を実施。国の緊急雇用制度を用い、雇用対策もかねた事業を実施した。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)			
37	①行政関与の必要性《目的達成に向けて	て, 行政の		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当	当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
必要性評	☑ 適切である			
評価	□ 見直しの余地がある		笠間焼のPR実施による笠間PRの	向上
右	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比			更なる成果向上ができるか?》
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの	市民や他の)施策への波及効果があるか?》	
性評	☑ 向上の余地がない			
価	□ 向上の余地がある		新たな商品開発(笠間火器)PRに。 	よる知名度アップ
		· 士	WA-2-2-1-2-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	1 *!
効	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずは ⑥ L 性悪の削減余地 《活動量を下げずは			
効率は	の人件質の削減余地 《活動重を下げりに	八件貨を削	破じさないか?(業務ノロセスの兄) 	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
性評	☑ 削減の余地がない		既に雇用を条件にした事業であり、	. 手法の検討は行う必要性があるが、現時点では余地は
価	□ 削減の余地がある		ない。	
— <i>₹</i>			全体総括(振り返り, 反省点)	
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある		
			同様明人が用にまま数リン	
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	かある	国補助金活用による事業として、- 	- 僧の笠間焼の販路拡大か必要
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある		
(A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他
	女革・改善案		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響
			24 211 21421	の有無とその対策
				☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される
				□代替案や対策を採ることで対応できる
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動
				も含む)
2	牧革・改善案を実現する上で克服するべき	Ø FF→ ØI	UZ4L	☑ 他に手段がない □ かに 手段がない
課是	題と解決方法	④取組	.扒.7江	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
				名称
				□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している
				じ」ががロ、足がはくさない。外に足がしている

1 Di 1 1 F 10 F 10 .			
	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 国の補助金の活用による事業として、今後も継続することが望ましい
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	
	部内での位置付け	-	

亚	計	24年度4	空間市事 和	を車業 証	(価調)	生 /亚ϝ	むり3年	主産宝	梅ュ	重業	()						属部詞			工観	
-				为事未时	"阿伯斯	■ (T-1/	以		ルロュ		:ノ 8事業看	乒口.		E			課長: !当者			青水 又 ¹	
IP	LAN	事務事業					評価	i区分	直		事業性質			5 6的事業	些 :	15		名 所管省		_	ロシ 西計画事務事業
	事務	等業名	稲田みかけ	「石紹介事	業			事業			事務事			—		功					内優先順位
									総台		画実施 語			_		単国	補助	净生	労働省	順	位 事業数
総	政	政策	2.多彩な交流					〔産業〕	車		1.継続			継続		区 補	助率	10	0/10		
合計	· 策 · 体	小政策 施策	1. 笠間を作 2. 地場産		見光・産	美 ど 振 男	型しよす		事業	拼	始年			了年度		分			1200	ニナナョ	 寄工業協同
画	系	小施策	3. 積極的		É				期間		H23			継続	5	共催者	針・関	係団体	相 和	12 12 1 K	可工未协问
	予	会計	款		項		目			細目	名		関	連計画	i						
	算	一般	商工費	商	工費	商コ	[振興費	緊急	雇用(和	稲田みた	かげ石紹介	事業)		拠法令			I b I				
	科 目													実施手		7	補助	金の有	無	負担	金の有無
1	• •	終重業の名		『	【重業計	 画(主	こ 担 当 き	そが行う	坐 黎	内尔	アンドヨ	€川夏)】		べて多		目標	1		重業費σ)内宏	
地			日みかげ石			かげ石										ジョン			斗3,990		(1/1971)
			/エキシビジ: 大を実施する			かげ石	115 92 117-	ト た日白	5171	たす	要素の含	未記却	J 公石 〒	品販			从仁	(予算	(安百)		
					勝田の	<i>5/1</i> 31/ ∕□ /	以ば切り	八亿日日) (_ (ン/こ号	₱ 未 0万9	女託天	きボソ=	番 品販			TH		भ4,000	千円	
				年										пи	() []			× 1101	12,000	1 1 3	
				度計画																	
5	事務	等業の目	的と手段																		単位
	① 1	対象										4		タかげる	百関:	重業を	皆(稲	田石村	才商工業	き協	人
目		きかける相	手・もの)	み	かげ石関	連業者、	建築関連	車業者				対 射 指標	2 =								
目的		- 7k - 1	*551/18 & L * 21	-1 .b > . 7±.	₩~ \/\@ Ju_lu \\\	. 12.5	.2-1811	~ ^ ¥ d	~ /.— -r.	L. L. 18	/ /	1815		にキシビ	゛ジョ	ン作品	品販売	売点数			点
			意図(どのようん 意としたいの		築資材や る事により				'行哕	ななと	で使用	成果	1				.,				
					の緊急雇				おお	丁 娄	依同組	指標		召介訪問	明企	坐 数					社
手	(Q)	日的を達成	するために乳	と図り 合い	に委託に	より商品	などのPF	Rを実施。				⑥ 活動		H / I H// I	H) 111-	** 9 55					111
段			動(サービス	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	なだストー ティバルの							指標									
In		事務事業の	宇施		77770	ノ大旭に	±7°/\/\) · [•] •]	1 IV	. 大 心	10										
_		及び指標の																			
		事業費	_	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	244		(計画)	25年	度(計画)	26年	度(計	画)	27年月	度(計画) 28	年度(計画)
		国月	車支出金	千円		3,990		3,990			4,000										
也		財界	支出金	千円																	
投入コス	事	源 内	地方債	千円																	
コ	業費	訳	その他	千円																	
ト			·般財源	千円																	
		事業費	貴計(ア)	千円		3,990		3,990			4,000			0			0			0	0
イ		職員	割合	人 千円	0.16	1,200	0.16	1,200	0.	16	1,200			0			0			0	0
ンプ	人		間外	千円																	
ッ	件		-	千円																	
1	費		協力分	千円																	
			貴計(イ)	千円		1,200		1,200			1,200			0			0			0	0
	 		(ア)+(イ)	千円		5,190		5,190			5,200			0			0			0	0
		指標区		単位	22年度	ミ(実績)			244	 手度		25年	度(目標):	26年	度(目	標)	27年月	度(目標) 28	年度(目標)
活	-	个訪問企業	数	社		60		86			90										
動指																					
哲標																					
				ı		01		01	<u> </u>		01										
対象	みかけ	石関連業者(稲田石	5材商工業協同組合)	人		61		61	_		61										
象指							-							+							
標成	مل ہے۔	10 /L80% 1 /l	七日記主上料	占		0	-	-1	-		0										
果	: -	ンロンヨンド	作品販売点数	点		2	-	1			3										
指標	·																				

コスト指標

紹介訪問企業数1社あたり費用

単位 22年度(実績)

86,500

円

円

23年度(実績)

60,349

24年度

57,778

25年度

26年度

27年度

28年度

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

新商品開発として、グラフィックデザイナーとのコラボレーションによるみかげ石を活用した作品制作を実施しているが、景気の問題や価格等の問題により、期待する以上の増とはなっていない。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)	
心		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
要出		(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 「
性評		稲田みかげ石のPRにより、地場産業活性化による地域経済活性化に寄与
価	□ 見直しの余地がある	個田のが 17日の11代であり、地勿注来自己自代の必然に行自己自己自
	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうでん	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》
性評	☑ 向上の余地がない	でばんた。しの古地により古光し、一体明DDの共用とい
価		デザイナーとの連携による事業として、笠間PRの効果あり
-1-1		 削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	滅できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
性評	☑ 削減の余地がない	
価	□ 削減の余地がある	国補助金の活用事業であり、委託事業でもある為、削減は困難
—;	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
	有効性 🗹 適切 🗌 見直しの余地がある	国補助金活用による事業として、 稲田みかげ石の販路拡大が必要
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
ľΔ	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他
		度の改革·改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響
		の有無とその対策
		□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
		Trank (vayive alloade vayil de a
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動
		も含む)
	改革・改善案を実現する上で克服するべき ④取組	☑ 他に手段がない 状況 □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
珠)	題と解決方法	名称
		□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PI AN】 事務事業の計画

【PLAN】事務事業(<u>り計画</u>		
	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 国の補助金の活用による事業として、今後も継続することが望ましい
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	
	部内での位置付け	_	

平	成2	24 [£]	F度笠	2間市事	务事 》	美 評	Й 価調	小子!	成23年月	度実	施事	事業)					所属部課長			L観光調 f水 博	R
[P	LAN	事	务事業 (の計画								事務事業	番号	6			担当者			7. 信 又 信彦	<u> </u>
		1 1 1	<i>77 1.7</i> (7 11 11					評価区	分	事	務事業性			的事	業 褌		 所管省			可事務事業
	事務	多事業		商店街活性	生化事	業			評価事	***		要事務事			0	助	J		企業課	部内優	E 先順位
									計価争	来		計画実施			0	単独		中月	企業 課	順位	事業数
総	政	Į	女策	2.多彩な交流	売で飛 路	星する	活力ある	産業のま	ちづくり〔産	業〕		新規・継続			迷続	Þ		3	4/10	2	40
合	策		政策	3. 交通条件	を生か	した,	豊かさを	育む商コ	口業を振興し	ょす	事業	開始年	度	終	了年度	5			4/10	2	40
計	体系		拖策	1. 商 業							期	H13		Ý	迷続	#	:催者•閗	係団	本 笠間市	商工会	
	系		施策	2. 中心市行	街地活			推進			間							1 NVE	11 22 183 11	лышд	
-	予		会計	款			項工典	- 		-1-4		細目名	عللد خلت		車計画						
1	算 科	_	一般	商工費		冏	工費	問」	[振興費	巾名	打地?	舌性化推進	争業		処法令 255.チ		岩田	金の有	<u></u> - 4π.	負担金0	7 左 年
	17 目														E施手 一部委		冊切	()	月.無	貝担金(ノ作 悪
		終 重	業の全	 体概要及び	K참봄	2	【重業計	-画(土)	ア担当者が	ジ行う :	坐	内容及び	壬順)			年度	日樗】		事業費の	内容(決	- 笛 貊) 【
				に向けた事								地区・岩間							費150千F		· 31 11只 / 】
て,	市領	打地!	力におり	いて商業を	中心と	当	業務	11111111	-> 1111->2	1 413 (/UD /UTA	,	-/ /,		者数			金56千円		
しす	た活力	生化:	事業に	いて商業を 取り組んでい	いる。空	年	市内周	遊事業	(アートのき	まちめ	ぐり))実施に向	けたけ	協議•				補助	金4,600千	-円	
間:	地区	につ	いては	,旧笠間市	で策定		事務処		7 A T = 1	\ 	et 337.										
レ7 甘.、	こ円リベキク	かま と	街地店 古帝工	性化基本計 会において		計画			み企画の企			参加し相談	めア	ドバイ							
左た	ΓM(フから	111向工	一点において	アゴル	女 四	スを実		こして、防に	我/よこ	_ ('∟≝	多加し作成	-(-)	1.7.1.							
Lt	と事業	業を	実施して	ている。特に	, 笠間		笠間市		への補助り	申請(笠間	地区•岩間	地区	.) 関連	・アー	-トのす	きちめぐり	(予算	[額]		
				景観整備に			業務	NIA	6- 1			\		I-f- => f-	参加	口者数			金80千円		
				業として取り					(アートのき	まちめ	ぐり)実施に向	けた	刕議∙				補助	金4,600千	→円	
				こおいても2 ノプ事業に耳			事務処		レーア 協調	美かり	シレフタ	参加し相談	やア	ドバイ							
	いる。		V V 11)	/ 子来によ	スンルエハ		この方			成′よこ	_ (C)		()	1.5 4.1							
5	事務	等事第	美の目的	りと手段																	単位
	①	付象				<u> </u>	att like ete att	rt-2t-: / 84	BB Like C LL	88 U.S.E	· +	- 숙자 나타 (그=^)	4		店会	加入数	χ				店
目	(働	きかり	ける相手	手・もの)		Ш.	街地门冏	店街(笠	間地区·岩	间地区	△• 仅	. 部地区)	対指								
的			- All	· == /13 = 1 = 1	-2 2 2		+4-11	DL II. I. w	· - 1 1 - 1 10	<i>t</i> /m	+ -	## ## 144) - # #	(5		き店舎	浦解消	i数				店
	⊘ ∌			t図(どのよう) 態にしたいの		· 間,		性化する	ことにより、	谷個)	占())	集客増に繋	成	果							
	02/3	·) V) 1/1\.	15K(CO/CV 0)	, _(2, 1)	1)	<u> </u>						指			1 + V	,				
丰						商	工会が県	の商店街	有生総合	支援事	事業を	を活用し、笠	@) -	店街	筋議委	Σ .				口
手段	3 E			するために気						くりや	イべい	/ トなどによ	活								
., .	行气	ったそ	丁蚁活	動(サービス	.)	21	舌性化事	楽 ど美施	ļ _o				指	標 —							
(D	〇】事	[務]	事業の第	実施																	
事	業費	及び	指標の	推移																	
			事業費		単	位	22年度	(実績)	23年度(美	実績)	24年	丰度(計画)	25 ^左	F度(i	十画)	26年月	度(計画)	27年	度(計画)	28年度	(計画)
			国屆	5支出金	千	円															
投		財	県	支出金	千	円			4	2,300		2,300)	2	2,300						
入	事	源内	坩	也方債	千	円															
コ	業費	訳		らの他	千	円															
ス	貝	н/ 、		般財源	千				2	2,506		2,396	;	2	,400		4,000	1	4,000		4,000
				計(ア)	千			0		1,806		4,696	_		,700		4,000		4,000		4,000
7				割合		<u>- 7</u> 千円	0.85	6,375		5,375	0.8		_		5,375	0.85	6,375				6,375
シ				明外	千		0.00	1,370		1,038		1,100	_		,100	0.00	1,150		1,150		1,150
投入コスト(インプッ	人				千			1,510		.,058		1,100	'		,100		1,100		1,100		1,100
ット	件費			臨時														-			
)	具			協力分	千																
	,	2 -	人件質	計(イ)	千		1010 1010 1010 1010 1010 1010	7,745		7,413		7,475)	7	,475		7,525		7,525		7,525

コ	老費	訳その他	千円							
スト		一般財源	千円		2,506	2,396	2,400	4,000	4,000	4,000
_		事業費計(ア)	千円	0	4,806	4,696	4,700	4,000	4,000	4,000
1		職員割合	人 千円	0.85 6,375	0.85 6,375	0.85 6,375	0.85 6,375	0.85 6,375	0.85 6,375	0.85 6,375
プ	人	時間外	千円	1,370	1,038	1,100	1,100	1,150	1,150	1,150
ッ	件	嘱託臨時	千円							
1	費	他課の協力分	千円							
)		人件費計(イ)	千円	7,745	7,413	7,475	7,475	7,525	7,525	7,525
	トー	ータルコスト(ア)+(イ)	千円	7,745	12,219	12,171	12,175	11,525	11,525	11,525
		指標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	商师	占街協議数	口	30	35	35	35	35	35	35
動指										
指揮										
標										
対	商师		店	280	287	290	290	290	290	290
象指										
標										
成田	空き	店舗解消数	店	1	0	2	2	3	3	3
果指										
標										
		コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
商厂	店会	加入数1件あたり費用	円	27,661	42,575	41,969	41,983	39,741	39,741	39,741
			円							

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

経済状況悪化や震災の影響により、商売を止める商業者も多く空き店舗も増加している。しかし、観光地笠間のイメージアップと地域経済活性化に繋がる市街地活性化事業は非常に重要である。 道路整備(まちづくり推進課)に併せ、個店の改修なども必要。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)		
	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政	D範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》	
必要性	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《	的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか・ 	? »»
性評	☑ 適切である	市街地内の商業活性化により、地域経済活性化が期待出来る	
価	□ 見直しの余地がある	川街地内の商業品性化により、地域経済品性化が期付出来る	
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてと	であったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》	
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や	1の施策への波及効果があるか?》	
性評	☑ 向上の余地がない	市街地内で実施される、活性化関連事業と連携する事により、成果向上が望まれる	
価	□ 向上の余地がある	川街地門(天地でれる、位性化関連事業と連携りる事により、成本同工が主まれる	
加		を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》	
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費	削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等) »
性評	☑ 削減の余地がない	市民や商店会などとの一層の連携が必要であるが、削減は困難	
価	□ 削減の余地がある		
—;	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)	
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある		
	有効性 🗸 適切 🗌 見直しの余地がある	地域経済の核となる市街地を活性化することにより、市全体の活性化が期待出来る。	
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある		
(A	CTION】事務事業の改革・改善フ	ューアップ 前年度の課題や問題点 その他	_
		年度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響	擊
		の有無とその対策 	
		□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる	
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活	動
		も含む)	
	牧革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法	☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)	
HAKA	SC/HV//IA	名称	
	II II		
		□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができ □ 添廃合や連携はできない・既に連携している	

	今後の方向性	現行どは	おり継続	評価理由 内容の点検と評価を確認し、庁内や関連団体との連携を深め継続する
総合評価 (担当部長)	資源配分	拡	充	
	部内での位置付け	上	位	

平成:	24年度や	控間市事務	事業		È(巫⊦	₹23年度	実描	重素)				所属部		商工観光	
			7 J	HI IIM HALLE	= \ 	720 7	J \ NE		丘口	7		課長: 担当者		清水博	
PLAN	事務事業	の計画				評価区分		事務事業都		7 政策的事	光			川又信	
中立	务事業名	商工関連イイ	べいた対	R AL		評価区欠	Ĵ	事務事業性生		以 東 的 争		助	所管省庁		·画事務事業 優先順位
尹也	分尹耒石	尚上) 建1、	ヘント相	即以		評価事業	£ 4	里安尹伤尹; 総合計画実施:		0		単			逐元順位 事業数
VA Th	政策	2.多彩な交流	で孤盟っ	ナス汗 力なる	会 紫のま	たべくり〔産		新規・継続		 継続		独		順也	1
総政合策	小政策	3. 交通条件を	. , ,					事 開始年月		終了年度	<u> </u>	対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対			
計体		1. 商 業	上土がし	た、豆パでで	日の四-	L未で派来しる	•	K DIDE TO	又	·		<u> </u>			JIII/JPさま
画系	小施策	3. 他産業及	では関連	1団休笑との	の連携			不明		継続	į	共催者・関	係団体 実行		
予	会計	款		道	7 (2)) 6	I		細目名		関連計画	ii i		ノバナ	F-11dal	いわす宝
算	一般	商工費		商工費	商	L振興費	\$2	るさとまつり事	業	根拠法令					
科	一般	商工費		商工費		L振興費		興費標準的事業(商		実施手		補助	金の有無	負担金	の有無
目	/1/2	N-L		161-12/	11-12					すべて		1111-74	0	-	- 11 1111
1 【事	務事業の全	体概要及び	背景】	2 【事業計	画(主)	こ担当者が行	亍う業	務内容及び引	手順) 】			目標】	4 【事業費	の内容(決算額)】
	とまつり							4 会ヘアドバン					補助金9, 2	230千円	
		PRにより活性		当の出席	と補助	関連事務手約	売きを	実施。また、関	開催日	への人					
		舌躍する市民		年 人的支											
		事業として、		度 バザー	ル開催	日への人的	支援/	及び月例会へ	の出席	古と補					
		上協議会などの		計	争務于	続きを実施。									
	ィノイノのき 間にイベント	ヒ催により、毎゚ ៶を行う	十水	Щ											
	ルdeいわま		•	ふるさと	/まつり3	実行委員会な	や幹す	手会ヘアドバイ	イザー	いて 来り	易者数	¥30.000	(予算額)		
岩間駅	前の活性化	・ とを目的に駅前	前広	翌の出席	と補助	関連事務手約	、, , , 売きを	実施。また、関	開催日	への人	ж н ээ	,	補助金9,	130千円	
		、毎月第2日時		年 人的支	援を行	Ō。									
イベン	トを実施する)。						及び月例会へ	の出席	常と補					
					事務手	続きを実施。									
				画											
5 事系	8事業の目6	めし手匹													単位
		りて十段							(4)	イベント	、出庄	老 数			店
	対象	_ , ,		商工業者.	岩間地区	駅前商業者、	市民	団体	対象		тш/п	11 数			/ロ
目(働	きかける相	手・もの)					, ,,,,,,		指標						
台口	事改事業の芸	気(どのように	1 +11						5	イベント	参加	者数			人
-		態にしたいのか		市民や観光	客の市内	内商工事業者	の販売	5拡大	成果						
02/3	7 6 C 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	歴(こじ/こ(**) //	•)						指標						
-				F S (-1 . 7.)o (1 . 1. 1. 1. 1. 1.	6	実行委	員会?	数			口
		するために実	際に			ま」や「ハザー 「内商工業者の		いわま」などの ・奴ぬた	活動						
行行	った行政活	動(サービス)		コーショで天	nEし、口	11间工来410	71 IV(C	- 77 V/IC0	指標	-					
	事務事業の	宝썲													
	及び指標の														
尹禾貝			出任	90左曲	(宝缍)	99年	建) 0	4年度(到高)	05年	年(計画)	26 A	座(計画)	97年	画) 00年	床(乳료)
	事業費		単位	. 22年度	(夫領)	23 牛皮(美)	限 / 2	4年度(計画)	25年	支(計画)	20平	及(計画)	21年度(計	四月 28年	及(計画)

事	業費	及ひ	「指標の推移								
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財源	県支出金	千円							
入	事業費	源内	地方債	千円							
コス	幸費	訳	その他	千円							
^ }			一般財源	千円	8,900	9,230	9,130	9,030	8,930	8,830	8,730
			事業費計(ア)	千円	8,900	9,230	9,130	9,030	8,930	8,830	8,730
イン			職員割合	人 千円	0.16 1,200	0.16 1,200	0.16 1,200	0.16 1,200	0.16 1,200	0.16 1,200	0.16 1,200
プ	人		時間外	千円		17'	7 180	180	180	180	180
ツ	件		嘱託臨時	千円							
1	費		他課の協力分	千円							
			人件費計(イ)	千円	1,200	1,37					1,380
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	10,100	10,607					10,110
			旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	実行	亍委.	員会数	口	17	1'	7 1'	7 17	17	17	17
動指							1				
指標											
							<u> </u>				
対象	イ〜	ベント	出店者数	店	130	98	3 100	110	120	130	140
象指標											
標			to the late								
成果指	イ^	ベント	参加者数	人	25,000	19,300	25,000	26,000	27,000	28,000	29,000
指											
標) Hales	227.11	and the desired	/ / / /			(
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)		25年度	26年度	27年度	28年度
イヘ	ベント	一参加	口者1名あたり費用	円	404	550	420	400	382	365	349
				円							

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 H22年度より岩間商工祭をふるさとまつりと合同開催となり、会場も「緑の広場」になったことにより、市全体で取り組むイベントになった。 バザールについては、毎年補助金を100千円減額することで合意。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)							
必要性	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の章 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 ハているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性評価		岩間駅周辺の活性化事業として、	市民が主体イベントを支援することは必要。					
有効	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどうでき ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の		更なる成果向上ができるか?》					
有効性評価		イベント開催による活性化活動が、他地区にも拡充している。						
効率性評価	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削		L直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
	☑ 削減の余地がない	既に補助金を毎年100千円ずつ減	額しており、これ以上の削減余地はない					
— }	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)						
		市民主体となって取り組む事で、市街地の活性化事業として継続しており、今後の事業続も必要。						
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	-アップ 前年度の課題や問題点	その他					
(1)	改革•改善案 ③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					

①改革・改善案 ③前年度の改革・改善案 ③前年度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止、廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 ②影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) ② 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	· / H I I I		
	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 実行委員会主体の事業実施に変化をしているが、関連団体との調整を
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	深める事により、今後、一層の発展が期待出来るため。
	部内での位置付け	下 位	

平	成2	4年度等	2間市事務事	業評	価調	퇔(平月	戊23年度	复數	包事	業)					所属部課年	í		観光課	:
[PI	AN'	事務事業	の計画						Ξ	事務事業看	是	;	8		担当者名			k 博 . 信彦	
	21 11 1	17107K	- > Д Д				評価区	分		務事業性的			6的事業	補		管省庁			事務事業
	事務	事業名	笠間のいなり寿	司推進	事業					要事務事		2 .,,	_	助	7,7				先順位
							評価事	美;	総合	計画実施語	計画		0	単	順				事業数
総	政	政策	2.多彩な交流で飛	と躍する	活力ある	産業のま	ちづくり〔産	業〕	亲	折規・継続		継続		独区	壮 山 龙				
合	策	小政策	3. 交通条件を生	かした,	豊かさを	育む商コ	工業を振興し		事	開始年月	复	終	了年度	分	補助率				
	計 体 施策 1. 商 業								業期	H18			継続	++-1	崔者・関係			ソより刃	- D16 ,
画	系		3. 他産業及び	関連団	体等との	の連携			間			,	小 还 形	7 41	住日 医尔		コム エ <u>ム</u>		
17	7	会計	款		頁		目			田目名			連計画						
貨	草	一般	商工費		L費		[振興費			ら寿司推進			拠法令						
禾		一般	商工費	商	工費	商コ	[振興費	ご当ま	地グル	ノサミットinカ	<i>さま</i>		実施手法		補助金	の有無	負	担金の	有無
-													一部委託		_	-			fata (==) W
			体概要及び背景				こ担当者が						3【年			【事業費]容(決	算額)】
			のいなり寿司」を	2 W	笠間の	いなり夫	手司を活用で またれだこと	するた	めイ	ベントには	は展し	PR	f PR活動	功数:		償費468			
活り	りし、 ヽ 々	自都圏を	中心に笠間のPF 訪者の増加を図	を目	期を表	他。(関)	東B1グラン り団体との	ノリは	ことに	-田展) こくべいしょ	. 胆 / 忠	ī				費118= 用費979			
11 v る。	', Σ	加入小木	初有 の				い回体とい bるキャラに				門惟	0				· 務費437			
رم ₀				計	V 74.77	4 n10213	17 17 1C	ക′a)I .	IXID S	13/J					信	品購入	事388	千田	
				画												託料3,1			
																用料63=		,	
							寿司を活用するためイベントに出展しPR活 PR活動数25回 (予算額)												
							グランプリル	及びB	1グラ	ランプリ関	東大会	会な。	Ŀ			貸費100			
					に出展		21612141 -	\\\\	_ 1 =	* * * 1.3						費820千			
							くり団体との				/開催	Ē0			常	用費395	十円		
				計画	VVよりラ	守可のり	bるキャラに.	TOP.	K石	벬						:務費252 :託料3,1		П	
				四												用料63=		7	
5	事終	事業の目的	内レ手段		<u> </u>										Į į	.7117100	1 1 1		単位
			70 1 10								(4)	V	なり寿司	販売	店数				店
	① 文 (価)	T象 きかける相=	F.+ (D)	観光	化関連事	業者					対象			,					
H	(判)	シグ・ハーの七日-	+·60)								指標								
的	②事	務事業の意	で図(どのようにした				ついなり寿司				5		ご当地グル	ノメサ	ミット入込	み数			人
	のか。どういう状態にしたいのか)						増加させ、鶴	光関:	連事	業者の活	成果	<u> </u>							
							指標	Т	R活動数						口				
手	手 ③目的を達成するために実際に B級ご当地グルメ						ットの開催や	□関東	R1グ	ランプリへ	6		八百到数						[-]
段				こ 出場	易し、笠間	引のPRを	実施	- 1/1/N		, • , , .	活動								
	打つ	たけ 収 古 野	動(サービス)								指標	1							
(D	0]事	務事業の	<u></u> 実施																
_		及び地種の																	

事業費及び指標の推移																	
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(到	実績)	24年度((計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財源	県支出金	千円			300										
入	事業	源内	地方債	千円													
コス	事業費	訳	その他	千円		1	1,481										
۱ ۱			一般財源	千円		3,8			4,795		5,000		5,000		5,000		5,000
			事業費計(ア)	千円	0		5,619		4,795		5,000		5,000		5,000		5,000
イン			職員割合	人	0.60 4,500	0.60	1,500	0.60	4,500	0.60	-,		4,500	0.60	4,500	0.60	4,500
プ	人		時間外	千円			937		950		950		950		950		950
ツ	件費		嘱託臨時	千円													
<u>ا</u>	質		他課の協力分	千円		180			300	300			1,800		300		300
			人件費計(イ)	千円	4,500			5,750		5,750			5,750			5,750	
	} -		/コスト(ア)+(イ)	千円	4,500		1,236		10,545		10,750		12,250		10,750		10,750
	1			単位	22年度(実績)	23年度(3		24年度(25年度		26年度		27年度			(目標)
活	PR	活動	数	□	25		20		25		30		30		30		30
動指																	
招標																	
		- 10 -			10				2.0		0.5				4.0		
対象	(\7 _c	より夫	司販売店数	店	12		15		20		25		30		40		50
象指																	
標成	~° \/	'ન નાત	ュルは2. 1 1 7 7. 米	1	0		- 000		20.000		70.000		00.000		00.000		100 000
成 ご当地グルメサミット入込み数果 指標		人	0	55	5,000	,	60,000		70,000		80,000		90,000		100,000		
指	指																
標			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(美	を繰り	24年	帝	25年	F F	26年	日中	97年	F庁	20%	午庄
~, 水	批ガ		ニヘト行列宗ニット入込み客数1人あ		22十段(天限)	20十度(5	204	244	·及 176	20±	F及 154	26年度 4 153		27年度 53 119		28年度 9 10	
	メビン	1219	ヘノエハ心の台数1八の	円			204		110		104		100		119		100
				1.3													

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

B級グルメブームに乗って、全国各所で実施されているグルメイベントの元祖である「B1グランプリ」や市が主催となった「ご当地グルメサミット」の開催により、マスコミなどへの露出も多くなり、笠間をPRする良い材料となっている。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)												
	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政	めの範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》											
必要性	②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《目	目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》											
(性評価	☑ 適切である □ 見直しの余地がある	笠間をPRする手法として「笠間のいなり寿司」を活用するにあたり、いな吉会などと協働事業として実施することを検討する。											
	③成果の向上金地 《成果は 昨年度と比べてど												
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や												
郊性評価	□ 向上の余地がない☑ 向上の余地がある	年々、効果として向上しているが、笠間のPRも目的にした事業である為、団体や市民を巻き 込むことで波及効果が期待出来る。											
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し、市民の協力など)》												
効率 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》													
中性評価	□ 削減の余地がない☑ 削減の余地がある	行政といな吉会の役割分担を明確にすることで、補助金で支出するなどにより人件費などの 削減を検討する。											
— }	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)											
	必要性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地がある有効性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地がある効率性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地がある	笠間の食レベルアップや笠間をPRする事業としては、有効な施策である。今後も行政と関連団体と役割分担し、協働事業として事業を進めていく。											
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォ	オローアップ 前年度の課題や問題点 その他											
		前年度の改革・改善案 「⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 「②影響は大きく, 問題の発生が予想される 「一代替案や対策を採ることで対応できる											
	牧革・改善案を実現する上で克服するべき 頃と解決方法	 ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) ☑ 他に手段がない (世に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 (対しの事務事業や活動と統廃合や連携ができる) 「放廃合や連携はできない・既に連携している 											

	_	今後の方向性	現行どお	おり継続	評価理由 指摘のあった行政との役割分担を明確にし、関連団体や市民との連携
総合 (担当		資源配分	現 状	維持	により、事業としては拡充して進めること
		部内での位置付け	中	位	

平	成2	24年度	笠間市事	务事業	評	価調書	事(平月	戊23 ^左	F度実	施	事業)					所属部課長	名	清	上観光記 水 博	
[PI	AN	事務事業	業の計画					37 m	/\		事務事業			9	41	担当者			ス 信彦	
	丰弘	等業名	か田ナルギン	記書如	△ 5	本 田-		評価	区分		事務事業性 重要事務事		政策	策的事業	補助)	听管省庁	1		画事務事業 憂先順位
	事 炒	争来名	笠間たばこ	- 蚁冗和	·´ロ`**	用切		評価	事業		玉安爭榜事 合計画実施		ī		単					事業数
総	政	政策	2.多彩な交流	たで飛躍	する	活力ある	産業のま	ちづくり	〔産 業〕	/br	新規・継続		4	継続	独区	1041			州民工	于不多
合	策	小政策	3. 交通条件	を生かし	た,	豊かさを	育む商コ	C業を振	興します	事業	開始年		終	終了年度		補助率				
計	体	施策	1. 商 業							業期	不明			継続	#:/	催者・関		笠間た	ばこ販	売協同
	系	小施策		安定化		_				間						共催有· 関係団体 組合				
	}	会計	款			項	~ \ -\-	<u> </u>	b		細目名			連計画						
争和	本 本	一般	商工費	'	冏_	工費	冏」	[振興費	1 尚上	_総務	費標準的事業(的上G)		と拠法令 実施手法		油田	金の有無	F E	負担金0	カ右無
1														大心子伝		冊切	並 ツ 行 ボ	· 5	111立立	プ日無
		務事業の	全体概要及び	『背景』	2	【事業計	·画(主)	こ担当れ	者が行う	業務	5内容及び	手順	_	3 【年		[標]	4 【事第	を費の 区	内容(決	草額)
			とばこ販売に			販売組					掃活動への					員数45	補助金1			()1 () ()
	上河		区し、市予算 /	〜 の充	当年度計画 2	販売組	合の補	助申請	事務及で	び清	掃活動への	の人に	的支援		组合員	員数47	(予算額		1	
					翌年度計画									人			補助金1	.00千円	3	
5	事務	5事業の目	的と手段			_											l.			単位
	χ(<u>Γ</u>)	対象			, .	w. no -t-	ماد عالد ما							たばこ販売	売業	者(組合)	員数)			人
目			目手・もの)		たに	ばこ販売事業者 対象 指標														
的	@-t		★□ (1) ~ 1 * 1	-2 2 2										たばこ税額	額					円
			意図(どのよう) 伏態にしたいの		たに	ばこ売り上	げ増加	加によるたばこ税の増収 成:					大果		,					
	07/3	· C / / /	/(ie/(co/c/ v/	,,,									旨標	几人老事	ンて、毛し	J. 1800				
手段	③ 行:	目的を達成 った行政活	戈するために 5動(サービス	実際に .)				でポイ捨て防止などの事業支援と 活動 売売組合への補助を実施。					.佰期	なとのえ	て 仮			口		
(D	[[]	事務事業の	D 実施																	
		及び指標																		
		事業	 費	単位	Ż.	22年度	(実績)	23年度	E(実績)	244	年度(計画) 25	年度(計画) 26	6年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	₹(計画
			庫支出金	千円																
LH.			県支出金	千円																
投入	事	源	地方債	千円																
ハコ	事業費	内 訳	その他	千円																
コス	賀	八百	一般財源	千円			529		338		10	n		100		100		100		100
7		市坐	費計(ア)	千円			529		338	_	10			100		100		100		100
7			<u>負 町 (2)</u> 員割合		-円	0.02	150	0.02	150	_	.02 15		.02		0.02	150	0.02	150	0.02	150
ン			月 <u>旬日</u> 片間外	人 千		0.02	100	0.02	150	0.	.02 13	0.	.02	130 0	0.02	100	0.02	100	0.02	100
プ	人																			
ツト	件費		託臨時 のねまり	千円						1										
<u>۱</u>	×		の協力分	千円			4-0					0		1.50						
			費計(イ)	千円			150		150	1	15	_		150		150		150		150
	├ -		ト(ア) + (イ)	千円			679		488		25			250		250		250		250
		指標区		単位		22年度	(実績)	23年度	(実績)	244	年度(目標) 25	年度([目標] 26	6年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	ま(目標)
活動指標	動		口			4		4			5		5		6		6			
対							101		91	\vdash	10	n		102		104		106		108
象	/ _ (c	・一双光	日四日貝数)	人			101		91	\vdash	10			104		104		100		
象指標																				
標成果指標	標 成 たばこ税額 果 指					472,304,432		546,	546,469,031 550,		550,000,00	3 0	550,00	00,000	550,000,000		550,000,000		550,	000,000
「宗		コスト	 ·指標	単	位位	22年度	(実績)	23年度	F(実績)	H	24年度		25年	度	264	<u> </u>	27年	度	28:	年度

2,451

2,500

2,404

2,358

2,315

たばこ販売組合員1社あたり費用

円

円

6,723

5,363

=	会情勢の変化・市民ニーズの把握							
		の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》						
	地区にめつたたはこ小元組合をH22年度で解散し、H	23年度より笠間地区たばこ販売協同組合へ補助への転換を図った。						
[0	THECK】事務事業の一次評価(担当課長)							
		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
业要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
必要性評価		受動喫煙、未成年者喫煙防止、ポイ捨て防止などの環境整備改善活動を、関連団体と協						
価	☑ 見直しの余地がある	議し見直しを図る						
	③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》						
有効	④成果の波及効果《全市民、または多くの市民や他の	D施策への波及効果があるか?》						
性評		社会性のある事業として対象事業を検討し、市内でのたばこ販売増収によるたばこ税増収						
価	☑ 向上の余地がある	を図る						
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》						
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》						
性評	. ☑ 削減の余地がない							
評価		既に補助金を減額している。						
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある							
	有効性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	合併前からの補助対象団体であった三地区のたばこ小売組合を解散し、上部組織で ばこ販売協同組合へ集約を図った。今後も販売組合の支援を実施し、たばこ税増収と						

	ACTION .	事務事	事業の	改革・	改善
(①改革·改	善案			

☑ 適切

□ 見直しの余地がある

効率性

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案

こに関する環境整備を実施する。

組合主体による新たな環境整備事業設立

②改革・改善案を実現する上で克服するべき

課題と解決方法 組合(事務局:商工会)との協議による新たな 事業の検討

④取組状況	

その他

⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策

☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる

活動がたばこ税の増収につながることの意識があり、 市への貢献が大きいと考えている為、社会的貢献を 前面に出した事業転換を図る。

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

☑ 他に手段がない

□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる☑ 統廃合や連携はできない・既に連携している

T Di II T J J T A			
	今後の方向性		評価理由 3地区解散により、販売組合に補助を一本化した事は評価できるが、た
総合評価 (担当部長)	資源配分		ばこに対する市民の考え方を理解し、今後も社会的貢献のある事業として実施する。
	部内での位置付け	-	

亚	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 商工観光課 商工観光課														:			
		事務事業		· /ICI	41 lbrd by 3 E	= \ 1 /*	~= 0 ~	., .,	事務事業	釆早	1	0		課長 ² 担当者			f水 博 又 信彦	
[FI	_AIN_	尹伤尹未	/7司 画				評価区分	′\	事務事業性	_		6的事業	補		厅管省			事務事業
	事效	事業名	商工会事業支持	巫'	74.		計価区グ		事務事業性 重要事務事		以月	マリチ来	助		川官1目.)]		先順位
	尹伤	尹耒石	尚上云尹耒又1	友們」	列		評価事業		全 会計画実施 合計画実施				単					事業数
(1)	1	政策	0. 夕がわたはつる	TK 1133 ~}	-フバーナフ	大米のナ	ナ ざくり (玄		新規・継続			 継続	独				順化	争耒剱
総	政		2.多彩な交流で新										区	補助率				
合計	策		3. 交通条件を生	702レバ	こ,豈かさを	育む問」	_ 業を振興し	ます業		支	於	了年度	分					L
計画	体系	施策	1. 商 業						不明			継続	共化	催者・関	係団体	商工会	3	
		小施策	4. 経営の安定	1匕	+TT			目			BB	\ +=1 						
=	予	会計	款		項		<u> </u>		細目名	ille		連計画						
Ĵ	章	一般	商工費	Ř	商工費	商工	[振興費	商_	L会補助事業	業		拠法令		I I b I				
	斗											実施手法		補助	金の有	·無 1	負担金の	有無
	1											一部委託			0			
			体概要及び背景						努内容及び]					事業費の		算額)】
			る商工会に補助						立ち入り検査	等)		商工会	: 員 #	数の増	補助金	全26,400	千円	
るこ	とに	より、地域注	舌性化を図り健全	全	当 商工会	業務に	関わる事務					加						
な	有工美	業者の育成	を図る		年								((商	i工会会				
				/	度計							員数)						
					画													
				- 1	川													
				-	ムエク	温光に	サナスマド,	ミノフ(=	ケナ すり炒木	(公)		商工会	、吕米	**の抽	(予算	労 石 \		
						会運営に対するアドバイス(立ち入り検査等) 会業務に関わる事務						加加	貝女	父マンド目		金25,600		
]	立 向上云 年	未物に	男47公学伤						(तंद	i工会会	州內口	£25,000	1 17	
					度							員数)	C(D					
				1	計							只数/						
					画													
				- 1														
5	事務	事業の目的	内と手段															単位
_			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							(4)) {	会員数						人
	①太 (EL)		エュの)	P	商工会及び	会員				対1	象	12 (2)						
目	(側で	きかける相手	手・6の)							指相								
的	の車	数重業の音	は図(どのようにした	-1.1						(5)]	新工会会員	員新.	規加入数	文			人
			態にしたいのか)	_^		者の活性	主化			成	果							
	02/3-	6 C JV J1/V	(こし/こ(・0///・)						指									
				商工会への					6	7	新工会との	協調	義				口	
手段	(3) E	的を達成	するために実際			立ち入り	検査などによ	い健全	な商工会運	活								
段			動(サービス)	, F	営を指導。	· 田 士 口	¥ ₹% /二 / > + ↓ -	ナッ 壮口	L .	指								
	ががはつけ立间同中分光行に対する情勢																	
	【DO】事務事業の実施																	
事	業費/	及び指標の	推移															
		事業費	· <u>]</u>	単位	22年度	(実績)	23年度(実	績) 24	年度(計画)	25年	三度(計画) 26	年度	(計画)	27年月	度(計画)	28年度	(計画)

	事業費		単位	22年度	ミ(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	#	源内	地方債	千円														
コ	業費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円		26,400		25,600		25,600		25,600		25,600		25,600		25,600
_			事業費計(ア)	千円		26,400		25,600		25,600		25,600		25,600		25,600		25,600
イ			職員割合	人 千円	0.19	1,425	0.19	1,425	0.19	1,425	0.19	1,425	0.19	1,425	0.19	1,425	0.19	1,425
ンプ	人		時間外	千円				59		60		60		60		60		60
ッ	件		嘱託臨時	千円														
卜	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		1,425		1,484		1,485		1,485		1,485		1,485		1,485
	}-	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円		27,825		27,084		27,085		27,085		27,085		27,085		27,085
		扌	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	商	工会	との協議	口		30		30		35		35		35		35		35
. 動指																		
指標																		
対色	会	員数		人		2,377		2,301		2,320		2,330		2,340		2,350		2,360
象指標																		
標																		
成里	商	L会	会員新規加入数	人				33		50		50		50		50		50
果指																		
標																		
			コスト指標	単位	22年度	(実績)	23年度		244	丰度	254	年度		F.度		F度	284	年度
商	工会	会員	数1社あたり費用	円		11,706		11,771		11,675		11,624		11,575		11,526		11,477

円

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

平成22年1月1日付けで3地区の商工会が合併したが、国や県での商工会全体の見直し作業により、組織や運営についての見直しが図られ、平成24年度より各事務所間で人事異動なども実施される予定。

[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)										
	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,	行政の筆	6囲は行政の役割から見て適切か?	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性	E《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
必要性評	☑ 適切である		帝丁東業孝に対する級党和談業系	らなど、本来、行政が主体となって実施する業務につい							
一個	┃ □ 見直しの余地がある			後も専門的な業務を継続して実施する。							
	32	~185 ~·	とよりエナナナファレベ人公	エムフ-4 田 - 1 - 1 - 2 * マキフよ - 0							
有	③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べ ④成果の波及効果《全市民, または多くの市長	-		せなの以来回上ができるか?》							
有効性	世成末の仮及効末 主印氏,または多くの川は	氏で他の									
評			商工会の合併により、3地区合同事り、それらの合併効果は見えるが、	「業として「商工感謝祭」「商品券発行」などを実施してお 組織や事業見直しにより市民に対する効果の向上などを							
価	☑ 向上の余地がある		図っていく。								
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事	業費を	削減できないか?(仕様や工法の見	L直し,市民の協力など)》							
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人作	牛費を削	減できないか?(業務プロセスの見〕	直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》							
性評	□ 削減の余地がない										
一個	✓ 削減の余地がある		会員の意識向上や事務局体制の変	変革により、事業効果を向上させる。							
— ₁	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地があ	ある	三商工会の合併効果を向上させるため、事業手法や組織の見直しを図る必要がある。ま								
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地があ	ある	た、地域振興の観点も重要であり、会員の意識向上なども含めて産業界全体の活性化に向								
	効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地があ	ある	けた取り組みを実施していく。								
<u> </u>	• tools to the state										
	CTION】事務事業の改革・改善		-アップ 前年度の課題や問題点	その他							
	改革·改善案	3)前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策							
	併後の組織改革 員及び事務局の意識改革			☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される							
	12.11.73			□代替案や対策を採ることで対応できる							
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動							
				も含む)							
<u>(2)</u> i	改革・改善案を実現する上で克服するべき	○ # 4B	II Ne	□他に手段がない							
課規	題と解決方法	④取組	状况	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)							
	務局内の組織改革 の関連団体との連携事業			名称							
				☑ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができるⅢ 統廃合や連携はできない・既に連携している							
				農業や観光などとの事業連携							
				POST CONTRACTOR							
II .											

	今後の方向性		評価理由 組織や事業手法の改革は必要であるが、中小企業者だけでなく市民か
総合評価 (担当部長)	資源配分		らのニーズも高く、地域の活性化の中心的団体として、市民や他の団体などとの連携による事業を継続して実施していく。
	部内での位置付け	_	

平	成2	24年度空	2間市事務	事業評	価調書(平原	戊23年度実	施耳	事業)					所属部語 課長/			. 観光課 水 博	
[PI	.AN	事務事業	の計画					事務事業都	€号	11			担当者			<u>ハ 時</u> く 信彦	
	<u> </u>	11-100-11-210	Н			評価区分	事	務事業性質	_		内事業	補		<u>「</u> 听管省庁	, ,,		事務事業
	事務	事業名	市金融制度	事業		評価事業	重	要事務事	業	_	_	助					先順位
							総台	合計画実施語			\supset	単独				順位	事業数
総	政	政策			活力ある産業のま			新規·継続			続	区分	補助率			15	40
合	策	小政策		を生かした,	豊かさを育む商コ	かさを育む商工業を振興します事業開始年度					年度 分 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一						10
計画	体系	施策 小施策	1. 商 業 4. 経営の第	→ ☆ // ₂			期	不明		継	続	共化	崔者・関	係団体 商	C会		
	予	会計	4. 経呂の女		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		間	細目名		関連	計画						
宜	」 第	一般	商工費			* *		業金融支援事	事業		法令						
Ŧ	斗	一般	商工費					金融支援事業(施手法		補助生	金の有無	負	負担金の	有無
	1									_	部委託			0			
			:体概要及び		【事業計画(主)	こ担当者が行う	業務	内容及び手	⊧順)]	3 【年			4 【事業費	のア	勺容(決	算額)】
			る自治・振興		市金融制度に	基づく事務					制度活			委託料1,08			
			とにより、市内		•自治•振興金	融保証料					利子補]助8		補助金31,9			
			業活動を支		・利子補給 震災罹災者に	サナスナゼ								預託金31,0 寄託金600			
る。	また	、果日平人 力小企業者	に震災により被 を対象に、関	及火を 及	・自治・振興金	刈りる又抜 融促証料								前託金000	TH	1	
市) 分融:	制度を活用	したものに保	と証料 画	•利子補給												
		子を全額補															
					市金融制度に						制度活			(予算額)			
				翌	・自治・振興金	融保証料					利子補	1助1		委託料1,08			
					・利子補給 震災罹災者に	サナス士控								補助金51,5 預託金30,0			
					・自治・振興金									海託金2,90 寄託金2,90			
					•利子補給	III'A MATERIA								H1 H G 32-2,0 (, 0 1	1 3	
5	事務	事業の目的	的と手段								. 1112 142 1	,,					単位
	(1)			rtt ,	小企業者				4 対 対		工業者類	<u> </u>					人
目	(働	きかける相	手・もの)	中/	八正来有				刈 i 指								
的	∞ ±	*************************************	557 (1) o 1-71=						5		台·振興	金層	納用者	·数			人
			t図(どのように 態にしたいのか		度活用による経営	安定化			成	果利	子補給和						人
	02/3	5 C JV J4N	154 CO/CV V/						指相		≠1 	A 1/1/					
丰				0.5	金融制度(自治・扐 実施。	長興金融保証料	及びす	利子の補助)	6)	融審查会	会数					口
手段			するために実	除に 屋(^{天旭。} 災した中小企業者	・支援として、震災	(復興	11自治•振興	活動								
+~	行	た行政活	動(サービス)		証料及び利子の補		(12)	\ H II	指相	票 —							
(D	0]事	務事業の	実施														
事	業費.	及び指標の	推移														
		事業費	,	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	244	年度(計画)	25年	医度(計	画) 26	年度	(計画)	27年度(計	画)	28年度	(計画)
			軍支出金	千円													
投		が日 ニーニー	支出金	千円													
投入コス	事業	内	也方債	千円													
大 大 大 大 大 大 大 大 大 大																	
ト		_	般財源	千円	64,103	64,584	1	65,000		65,	000		65,000	65,	000		65,000

#:	未貝	火し	が目標の作物														
	事業費			単位	22年度(実績)	23年度(実	績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財	県支出金	千円													
入	事	源内	地方債	千円													
コ	事業費	訳	その他	千円													
スト		-	一般財源	千円	64,103	64,	584		65,000		65,000		65,000		65,000		65,000
_			事業費計(ア)	千円	64,103	64,	584		65,000		65,000		65,000		65,000		65,000
イ			職員割合	人 千円	0.42 3,150	0.42 3,	150	0.42	3,150	0.42	3,150	0.42	3,150	0.42	3,150	0.42	3,150
ププ	人		時間外	千円			202		200		200						
ッ	件		嘱託臨時	千円													
卜	費		他課の協力分	千円													
$\overline{}$			人件費計(イ)	千円	3,150	3,	352		3,350		3,350		3,150		3,150		3,150
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	67,253	67,	936		68,350		68,350		68,150		68,150		68,150
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実	績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	E(目標)
活	金属	融審	査会数	口	12		12		12		12		12		12		12
動指																	
指揮																	
標																	
対免	商	工業	者数	人	2,377	2,	301		2,320		2,330		2,340		2,350		2,360
象指																	
標																	
成田			長興金融利用者数	人	175		131		150		150		150		150		150
果指	利-	子補	給利用者数	人	686		562		600		620		630		640		650
標																	
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実	績)	24年	三度	254	手度	26年	手度	27年	F 度	28	年度
利-	子補	給利	」用者1人あたり費月	月円	98,036	120,	883	1	13,917	į	110,242]	108,175		106,484		104,846
														1		1	

円

社	社会情勢の変化・市民ニーズの把握										
事	事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》										
震	震災による補助制度(罹災者への利子・保証料補助)を確立し、3年を時限に(H25年度終了)実施。										
	CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)										
37		女の筆	色囲は行政の役割から見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《	目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?	»						
性評価	☑ 適切である		支援により、中小企業者の経営安策	定化が図れる。							
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてど	うで	ーーーー あったか?工夫をすることで今後,『	こなる成果向上ができるか?》							
有效	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や	き他の	施策への波及効果があるか?》								
/性評価	☑ 向上の余地がない		市の金融施策として、中小企業支担の軽減ともなっている。	爰として重要な施策である。また、震災罹災者の金融負	į						
-1-1	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業	費を	削減できないか?(仕様や工法の見	直し,市民の協力など)》							
対率	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費	量を削	減できないか?(業務プロセスの見]	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)						
性評価			審査に関し、商工会が主体となって 導業務により、市負担軽減が図れる	実施しており、国や県の金融制度とあわせた適切な指 る。	Î						
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)								
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある)	中小企業に対する支援制度としてて今後も継続すべき事業である。	有効な制度である。また、震災罹災者に対する制度とし	/						
L											
			ーアップ 前年度の課題や問題点	その他	117						
(1)	改革・改善案	前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策	P						
				☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる							
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)	功						
	改革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法	取組	状況	✓ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)							

【PI AN】事務事業の計画

【PLAN】事務事業(<u>の計画</u>			
	今後の方向性	現行どお	り継続	評価理由 中小企業の経営安定化に必須な事業であり、今後も事業継続が必要。
総合評価 (担当部長)	資源配分	現状;	維持	
	部内での位置付け	中	位	

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる☑ 統廃合や連携はできない・既に連携している

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)																							
_	Recommend																						
	JI 11 V	1 + 30 + A			I 1.6	50. AU 1-1- A-4	·m	評価	区分	事		業性質				業	補		听管 名		_		事務事業
	事務	等業名	岩間工業団業	1地公共	も施る	設維持管	'埋事		小事業			務事					助						先順位
										総合		[実施語			_		単独				J	順位	事業数
	政	政策	2.多彩な交流									継続			継続		区	補助率					
合	策	小政策	3. 交通条件	を生かし	た,	豊かさを	育む商コ	[業を振り	興します	事業	開	始年月	更	終了年度			分冊切平						
計画	体系	施策	2. 工業	ロジェン	. 4	# ~ # #				期		不明		継続 共			共作	共催者·関係団体					
		小施策 会計	3. 地域に款	限さしに		れた。 有		目		間	細目	Þ		月	関連計画	ıi							
	予 章		商工費			工費	苺ヿ	 [振興費	大	団地ク		維持管理	1事業		艮拠法令								
7	斗	/1X	旧工具		161-	上貝	1117	山瓜光貝				(14211 1212	L T /K	1,	実施手			補助	金の7	有無	負‡	旦金の	有無
	∃														一部委			/ 1	_				
			と体概要及び			【事業計	画(主)	こ担当者	が行う	業務	内容	及び手	F順)]	3	年月	度目	標】	4	事業費の)内?	容(決	算額)】
			こある公園や			緑地、生				剪定	ごなど	の管理	事	業発	注修	善費	の減	額		費510千			
			管理を行う。F ひ決定により		当年	修繕、抗	T設点村	険などの	業務											費12千日		1	
			の伏足により 言され、H24		生度														安託	料3,011	TH	1	
			の管理を実		計																		
こと	にな	つている。			画																		
						管理課-	~ 投答												(字,智	章額)			
					翌	官 生味	19日												(1′ 5	早似/			
					年																		
					度																		
					計画																		
					四																		
5	事務	事業の目	的と手段																1				単位
	① \$	対象													団地企	業数	(社
		うかける相	手・もの)		岩間	間工業団は	也内企美	Ě、市民					対指										
目的													_		修繕な	レトニ	ラブノ	レ連絡	数				口
			意図(どのよう) は態にしたいの		公園	園利用者の	の良好な	た活用					成	果	12/11/05			<u> </u>	~~				
	02/3	- C JV 'JW	()忠(こし/こ(・)/	//3-)									指		⊢ I.Λ λ.) श्राप्ती		· +0 10 =1	□ \Κ/				
手	_				一 4	業団地内の	な問んで	ら緑地ト	ひったびの	つ糸仕士	生学 疳	お宝	Œ	9)	点検な	ど職	貝())現場訓	間重要	ζ			口
段			するために3 動(サービス		施	KIN 10) AM	(MKTEL -)	10120	~小圧.1	1 10 12	:27	活指										
				•)									1日	际									
_		事務事業の																					
事		及び指標の		224.4			/ -L- /-L-\		. / - !- !- !- !- \	1	/	- 1\\			(=1)			/=! - \					(=1 <u>-</u>)
		事業費		単位		22年度	(実績)	23年度	(実績)	244	丰度(計画)	25 ⁴	中度	(計画)	26年	-)	(計画)	27年	度(計画) 2	8年度	(計画)
			車支出金	千四																			
投	事	沙田	支出金	千円																			
投入コス	業	内	地方債	千円																			
コフ	業費	H/ C	その他	千円																			
<u>۱</u>			般財源	千円			3,675		3,534			4,562			3,262			3,262		3,26	_		3,262
			計(ア)	千円			3,675		3,534			4,562			3,262			3,262		3,26	_		3,262
ヘイン			割合	人	一円	0.10	750	0.10	750	0.	10	750	0.1	10	750	0.1	0	750	0.10	75	0	0.10	750
ンプ	人	時	間外	千円	9				8														
ッ	件	嘱言		千円	9																		
1	費	他課の	D協力分	千円	9																		
)		人件	貴計(イ)	千円	9		750		758			750			750			750		75	0		750
	}-	-タルコスト	(ア)+(イ)	千円	9		4,425		4,292			5,312			4,012			4,012		4,01	2		4,012
		指標区	分	単位	江	22年度	(実績)	23年度	(実績)	244	年度(目標)	25 ^左	丰度	(目標)	26年	E度	(目標)	27年	度(目標) 2	8年度	(目標)
活	点核	食など職員の)現場調査数	口			15		20			15			12			12		1	2		12
動																							
動指																							
標																							
対	哥‡	也企業数		社			6		6			6			6			6			6		6
対象指				1.1.																	-		
指																							
標成	/de/	能なじょうっ	がル連絡数	口			20		25	\vdash		20			15			15		1	.5		15
果	100年	告/よこ トノノ	ル理船数	Ш			20		۷5			20			19			19			J		19
指										_													
標																							

コスト指標

現場調査に対する費用

単位

円

円

22年度(実績)

295,000

23年度(実績)

214,600

24年度

354,133

25年度

334,333

26年度

334,333

27年度

334,333

28年度

334,333

社会情勢の変化・市民ニーズの把握		
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び		前との比較)・市民からの意見や要望》 、高木なども育っており選定などが必要な樹木も多い。
【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)		
①行政関与の必要性《目的達成に向けて		適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
安	4性 《目的(対象と意図)は総合計画と	結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
評		
日 先直しい赤地がる		
③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比有 例 ④成果の波及効果《全市民, または多くの)		
性 □ 向上の余地がない	[[] [[] [[] [[] [[] [[] [[] [] [] [] []	7-: //
評 □ 同上の余地がある		
⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに	・ 東娄弗な削減できないか?(仕垟や)	「注の目直」 市民の扱力など)》
為		ころの元直し、旧人の協力なこが。
性 削減の余地がない		
□ □ 削減の余地がある		
	全体総括(振り返り, 反省点	<u>z</u>)
必要性 □ 適切 □ 見直しの余地	がある	
有効性 □ 適切 □ 見直しの余地	がある	
効率性 □ 適切 □ 見直しの余地	がある	
【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問	月題点 その他
①改革・改善案	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響
		の有無とその対策 □ 影響は大きく、問題の発生が予想される
		□ 代替案や対策を採ることで対応できる
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動
		の類似事業との就発行・連携の可能性 (民間召割 も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服するべき		────────────────────────────────────
課題と解決方法		名称
		□ 統廃合や連携はできない・既に連携している
【PLAN】事務事業の計画		評価理由
今後の方向性	999 HARAN	げ 脚性田

総合評価 (担当部長)

資源配分

部内での位置付け

所属部課名 商工観光課 平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 課長名 清水 博 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 13 担当者名 川又 信彦 事務事業性質 評価区分 政策的事業 所管省庁 助 部内優先順位 事務事業名 市民雇用創出事業 重要事務事業 評価事業 単 総合計画実施計画 順位 事業数 独 政策 2.多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 新規・継続 政 継続 総 区 補助率 40 小政策 3. 交通条件を生かした, 豊かさを育む商工業を振興します 開始年度 終了年度 合 策 分 計 体 施策 3. 雇用•労働環境 笠間地区建設高等職 共催者•関係団体 H22 継続 業訓練校協会 画 系 小施策 1. 雇用の創出 項 細目名 関連計画 会計 款 目 予 職業能力アップ支援事業 一般 商工費 商工費 商工振興費 根拠法令 算 科 中小企業緊急支援事業 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 一般 商工費 商工費 商工振興費 目 一般 商工費 商工費 商工振興費 商工振興費標準的事業(商工G) 直営 【事務事業の全体概要及び背景】 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 【事業費の内容(決算額)】 2 経済対策及び雇用の状況の悪化に 資格取得に対する補助事業事務 補助活用者数 資格取得補助418千円 当 対する支援として、市民が職に関し必 中小企業の雇用安定を目的した補助金事業事務 資格取得50件 雇用安定補助2,361千円 要な資格を取得することを支援する 年 職業訓練校協会補助事業事務 雇用安定100件 訓練校補助90千円 為、補助職業能力アップ支援事業及 度 び就職応援事業による補助を実施。 計 また、中小企業緊急雇用安定補助に 画 より、中小企業の雇用安定を図る。 資格取得に対する補助事業事務 補助活用者数 笠間地区建設高等職業訓練校協会 (予算額) への助成する。 中小企業の雇用安定を目的した補助金事業事務 資格取得50件 資格取得補助800千円 年 職業訓練校協会補助事業事務 雇用安定100件 雇用安定補助3,500千円 度 訓練校補助90千円 計 画 事務事業の目的と手段 単位 中小企業者 (4) 社 (1) 対象 中小企業者、市民 対象 市民 人 (働きかける相手・もの) 目 指標 補助活用者数 的 失業者、非正規雇用、学生などの就業 **(5)** ②事務事業の意図(どのようにしたい 中小企業者の雇用安定 成果 補助活用起業者数 社 のか。どういう状態にしたいのか) 職に関する能力向上 指標 川氏が別来に必安は貝恰を取付りつ為、開助収表形 補助件数 (6) カアップ支援事業及び就職応援補助事業による補助 ③目的を達成するために実際に を実施。 活動 段 中小企業緊急雇用安定補助により、中小企業の雇用 行った行政活動(サービス) 指標 【DO】事務事業の実施

	事業費及び指標の推移																	
事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(計画)									(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)	
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
入	事	源内	地方債	千円														
ココ	事業費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円		2,335		2,869		4,390		4,500		4,500		4,500		4,500
_			事業費計(ア)	千円		2,335		2,869		4,390		4,500		4,500		4,500		4,500
イン			職員割合	人 千円	0.52	3,900	0.52	3,900	0.52	3,900	0.52	3,900	0.52	3,900	0.52	3,900	0.52	3,900
プ	人		時間外	千円				25		25		25		25		25		25
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
			人件費計(イ)	千円		3,900		3,925		3,925		3,925		3,925		3,925		3,925
	}-		レコスト(ア)+(イ)	千円		6,235		6,794		8,315		8,425		8,425		8,425		8,425
				単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度		25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	補具	力件	数			116		117		150		150		150		150		150
指標																		
			NII - le															
対象			業者	社		99		87		100		100		100		100		100
象指標	市月	弋		人		17		30		50		50		50		50		50
標出	141	1 1/1	m +v \k/					0.5		100		100		100		100		100
成果指			用者数	人		99		87		100		100		100		100		100
指	補具	力(古)	用起業者数	社		17		30		50		50		50		50		50
標				224 /4-	00年度/	十年)	00年世	((= (=)	0.45		05/	ir de	00.5	r de	07.5	- nh:	00.5	r de
44-1	1L) ~	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	コスト指標	単位	22年度(23年度		24年		254	F度 107	26年		27年		284	F度 107
佣」	切に	対す	る費用	円円	5	3,750		58,068		55,433		56,167		56,167		56,167		56,167
				円														

価

- 次評価結果

有効性

効率性

☑ 削減の余地がある

必要性 ☑ 適切

☑ 適切

☑ 適切

□ 見直しの余地がある

□ 見直しの余地がある

□見直しの余地がある

【CLIECK】車效車米の W並に(担V細目)

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

経済状況や雇用状況の悪化に対する支援策として、雇用に関する補助を実施。 (国ハローワーク)などと連携した事業として、中小企業の経営安定化にもつながった。

IC.	HEUN 事務事業の一次評価(担ヨ硃女)	
37	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の筆	節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
业要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
必要性評価	■ 適切である	
一個	┃	未就職者などの資格取得支援により、正規雇用者の増加が図れる。
<u>+</u>	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうでる	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
有効:	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の	D施策への波及効果があるか?》
性評	☑ 向上の余地がない	
価		事業効果を向上させるため、広報の充実を図った結果、昨年度の実績を上回った。
	□ 向上の余地がある	
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
効率性評	□ 削減の余地がない	

PRの充実をはかり、活用者の向上を図る。

離職者や学生などへの資格取得による能力向上が図られ、雇用促進が図られる事業であ

全体総括(振り返り, 反省点)

り、今後も継続した事業を実施する。

また、雇用安定にも重要な事業である。

【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点	その他
①改革·改善案	③前年度の改革・改善案 	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策☑影響は大きく,問題の発生が予想される□代替案や対策を採ることで対応できる
		⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法	④取組状況	も含む) ☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
		名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の	の計画			
	今後の方向性	現行どお	り継続	評価理由 雇用促進を図るための事業として、有効な事業であり、今後も継続して
総合評価 (担当部長)	資源配分	現状;	維持	いく必要がある。
	部内での位置付け	下	位	

平	成2	4年度空	2間市事	务事業	評	価調書	(平月	戊23年	度実	施耳	事業)					所属部部			_観光記 水 博	<u></u>
[PL	AN)	事務事業	の計画								事務事業	番号	14			担当者			<u>ハ 日</u> ス 信彦	1
		1 22 7 714						評価	区分	事	務事業性		政策	的事業	補		听管省户			画事務事業
:	事務	事業名	インターン	シップ推	進	事業		評価	車業		重要事務事		(\supset	助単					
											合計画実施		-	_	強				順位	事業数
	政	政策	2.多彩な交流								新規·継続			Ł続	区	補助率				
	策	小政策	3. 交通条件			豊かさを育	む商コ	口業を振り	興します	事業	開始年	度	終了	年度	分	1111-62				
計画	体系	施策	3. 雇用·労		į					期	不明		絲	 終続	共化	崔者・関	係団体	市内企	業	
	系	小施策	1. 雇用の	削出	-	æ		-		間					· ' '	m n 0 9	71.	1,1,7,4		
7		会計	款			頁 工典		1	-1		細目名			計画						
第	1	一般	商工費		問_	工費	問」	[振興費	商工	.振興第	費標準的事業(商	jIG)		は法令		ᄺᄱ	1 n +	fmt Z	± ↓ □ ∧ ∠	D ≠ /mt
l A													天	施手法直営		(相助	金の有	悪 多	負担金0	ノ有悪
		女事光の台	 体概要及で	1211年1	0	【事 米 到	豆(子)	7 +11 11/ ±2	1487=12-	\\\	中央エッド	工川工),		3 【年	库 日	+=== 1		業費の	わな (油	(台) (古)
			出研究会)と		2						内容及びシップ調査			インター			4 1 争		勺谷(沃	「异領门」
			ゴザカ云だップを実施し		当	権用制は	かん	云りたと	う(コンジップ 孚 フ	, — ; (ンツノ神重	(LC)		入人数		ソノヌ	1, 掛0	7		
]けた取り組		年	雇用情報			<i>, ,</i> <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	•				800人	•					
う。 う。	,,,,,,	17/11/11	.,,,=,,,,=	, = , ,	度	7 127 14 114 17														
			ることにより		計															
	が市の	のイメージ	アップも期待	出来	画															
る。						±-40.=r	: a. A		_0.117 ∃					<i>∆</i> . →		-0 TF	(-> kk n	hæ\		
					সস	市役所でインター			ソノ安ノ	(インター入人数		ソノ安	(予算) 予算0			
					车									800人			1、 异切	7		
					度	/庄/111日刊	K V JAE	ν·						000/						
					計															
					画															
5	事務	事業の目的	的と手段										1 374	rl baba						単位
	① 対				<u></u>	1 人 米 士。	224 d.					4		生等						人
目	(働き	きかける相	手・もの)		中八	小企業者、	子生.					対象								
的												5	企	業数						社
			気(どのよう)		就美	業意識の高	揚及で	が地元雇!	用の促進	É		成身		<i>*</i> 30						177
	U)7)3	。とりいり状	態にしたいの	17)2)								指標	票							
_					雇目	用創出研究	今(94	年解粉):	が イン	タード	ンップ受入	(6)	市	役所受力	人数					人
手	③目	的を達成	するために	実際に		業に補助を		1/17/10//	V (V)	•	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	活重								
段	行っ	た行政活	動(サービス	.)	市径	没所におい	ても、1	債極的に	受入。			指標	票							
ID	7]車	務事業の	宇体																	
		及び指標の																		
争え	ミ貝/		* * **	227.11			/\		/ / \		(31)			 \\		(31)		- /=1>		- (31)
		事業費		単位		22年度(夫 績)	23年度	(美績)	244	年度(計画)	25年	· 度(計	・画) 264	牛皮	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			車支出金	千円	}															
投		財県	支出金	千円]															
入	事	源 内	也方債	千円	}															
投入コス		訳	その他	千円]															
	頁	H/ C	般財源	千円																
7				千円			0		0		0)		0		0		0		0
$\widehat{}$			計(ア)			0.50								-	F.C.	·	0.50		0.50	
イン			割合	人千		0.52	3,900	0.52	3,900	0.	,		2 3	<mark>,900</mark> 0.	52	3,900	0.52	3,900	0.52	3,900
プ	人		間外	千円					50		50)		50		50		50		50
ッ	件	嘱託	臨時	千円]															
7	費	他課の	協力分	千円]															
)		人件唱	計(イ)	千円	1		3,900		3,950		3,950)	3.	,950		3,950		3,950		3,950
	<u>}-</u>		(ア)+(イ)	千円			3,900		3,950		3,950			950		3,950		3,950		3,950
	<u> </u>	指標区名		単位		22年度(215	手度(目標)			標) 264	生莊		97年由	₹(目標)	20年度	ま(目標)
	<u> </u>				L.	22年度(241			'及(日		十尺		27年度		28年度	
活	巾役	於所受入数		人			19		24		30)		35		35		40		40
動指																				
指																				
標																				
対	学生	-		人			600		607	1	620)		650		700		750		800
象指	, _	- ·4					550				020					.00		.00		
指								1												
標										<u> </u>										
成田	企業	美数		社			140		145		150)		180		200		220		250
成果指							_													
標																				
IM		コスト‡	台種	当	壮	22年度(主結)	93年度	(宝績)		94年度	2	5年度	=	26年	王度	27/	年度	28	年度

単位

円

円

コスト指標

市役所受入に対する費用

22年度(実績)

205,263

23年度(実績)

164,583

24年度

131,667

25年度

112,857

26年度

112,857

98,750

27年度

28年度

98,750

<u> </u>	上会情勢の変化・市民ニーズの把握	
111111111111111111111111111111111111111		:の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
糸	経営状況の低迷などにより、企業の受入は厳しい。しかし	、高校や大学などのニーズは高く、拡充し継続する必要あり。
	 CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)	
r		範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
月	※②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
作言有	性 ▼ ☑ 適切である	若年者の就職支援策として、学校や地域企業等との連携による事業として必要。
7 3		あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》)施策への波及効果があるか?》
多性言有	性 ▼ ☑ 向上の余地がない	震災の影響に関わらず、前年以上の実績があった。また、中小企業者の社会貢献事業としても有効。
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	・ 削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
ラ ミ		減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
竹言有	平	中小企業者の協力が必須な事業であるが、学校や企業との協力による効果向上を図る。
_	-次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある 有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	雇用創出研究会の協力により、事業の効果は向上したが、研究会は今年度をもって解散のため同様の効果が図れる様な事業展開を検討する。
	効率性 □ 適切 □ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点	その他
①改革・改善案	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策☑影響は大きく,問題の発生が予想される□代替案や対策を採ることで対応できる
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法		☑ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
		名称 ☑ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
		□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

- 1	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			
		今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 学生の雇用拡充や市内企業の活性化を図るため、重要な事業であり、
	総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	今後も継続した事業として取り組む。
		部内での位置付け	-	

平	成2	24年度笠	2間市事務 5	事業評	価調書(平	成23年	度実:	施事業)					所属部部課長			工観光課 水 博
[PI	.AN	】事務事業	の計画	計画事務事						<u>.</u>	15		担当者			ス 信彦
	J. 11 (11-100-11-010	HI HI			評価区	分	事務事業			務的事	業	前		, ,,	実施計画事務事業
	事務	等事業名	産業関連業務	委譲事	答	評価外	重業	重要事務			_	Į.	b 単			部内優先順位
		.t tata						総合計画第		Ű.		<u> </u>	虫			順位 事業数
	政	政策	2.多彩な交流で					新規・消	–	-	継続		区 補助家			
	策体	小政策 施策	3. 交通条件を生 2. 工 業	こかした,	豊かさを育む権	1上 兼を振興	します	業	年度	Ť	終了年度	5	分			
画	系		3. 地域に根ざ	`1 たてき	どの推進			期 間	20		継続	丰	共催者・関	係団体 商	工会	など
	予	会計	款		頁	E E		細目名			関連計画	ij				
貨	第	一般	商工費			工振興費	商工	振興費標準的事			艮拠法令					
禾	斗										実施手		補助	金の有無	負	負担金の有無
	1										直営			_		_
			体概要及び背景		【事業計画(三		ぶ行う	業務内容及	び手順	į)]			目標】	4【事業第	費の₽	内容(決算額)】
			委譲事務として		火薬類取締電気用品安							包件数	ζ			
		連伝伴に星 事務を実施	₹づく、認可や検 オス		電気用品女: 計量法	王伝					50化	+				
, 4 C	_ V / =	かって 大心) ' J o		中小小売商	業振興法										
				計	中小企業団	本の組織に	関する	法律								
画 中小企業等協同組合法 商工会法に基づく 認可及び検査などの業務																
					商工会法に	もづく 認可	及び	検査などの 注 ままれ	業務	i. ± z	大米 中	左/止米		(予算額)		
				코코	振興法·中小	左•电风用的 企業団休σ	3女王	広・町里伝 に関する注	• 中小勺	い元ド 企業な	引来 夫加 等 554		C .	(「异領」		
				一	協同組合法	商工会法・	ガス事	「業法・ガス	事業法	に基	づ	'				
				度	く認可及び核	査などの業	務									
				計												
				画												
5	事殺	事業の目的	内と手段													単位
	Ė) 	70 1 12						(4	中小企	業				社
		り多 きかける相=	手・ もの)	中/	小企業者					寸象						
目的	(129)	C/7 (7 D)H	1 0,5)							信標	事状体	*/-				I+-
印入			図(どのようにした	たい	全な事業実施					⑤ 大果	事故件	剱				件
	のか	ゝ。どういう状	態にしたいのか)	<i>A</i> =	E/4 尹未大旭					台標						
					薬類取締法・電				売 ,	6	処理件	数				件
手段	3	目的を達成す	するために実際		能振興法·中小				十 泊	<u>5</u> 動						
段	行。	った行政活動	動(サービス)	小1	企業等協同組合 6。	î法•冏丄会》	なに基	つく一部事	を 指	旨標						
[D		事務事業の	<u></u> 丰施	74%	20											
_		及び指標の														
_	/ \	事業費		単位	22年度(実績	3) 23年度(3	実績)	24年度(計	画) 25	年度	(計画)	26年	度(計画)	27年度(計	上画)	28年度(計画)
				<u>- 円</u> 千円	1 50 (50)	1 2 ()	*//>//	- 1 2C (H)	. ,,	- ~		1	~ * (F) F=1/	1 50 (1		1 22 (6.11)
			十八八	7 m												

事	業費	及ひ	指標の推移														
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財源	県支出金	千円													
入	事業	源内	地方債	千円													
コス	事業費	訳	その他	千円													
ト			一般財源	千円													
			事業費計(ア)	千円	0		0		0		0		0		0		0
イン			職員割合	人 千円	0.84 6,300	0.84	6,300	0.84	6,300	0.84	6,300	0.84	6,300	0.84	6,300	0.84	6,300
プ	人		時間外	千円			25		25		25		25		25		25
ツ	件		嘱託臨時	千円													
\ 	費		他課の協力分	千円													
			人件費計(イ)	千円	6,300		6,325		6,325		6,325		6,325		6,325		6,325
	 		/コスト(ア)+(イ)	千円	6,300		6,325		6,325		6,325		6,325		6,325		6,325
	ı			単位	22年度(実績)	23年度		24年度		25年度	(目標)	26年度		27年度		28年度	
活	処理	里件	数	件	48		51		55		55		55		55		55
動指																	
指標																	
			ute														
対象	中/	小企:	業	社	48		51		55		55		55		55		55
対象指標																	
_	 -1	/ . / tla :	w.	/tl-													
成果指標	争员	女件:		件	0		0		0		0		0		0		0
指																	
標			1 #\/	77.17	00万亩(水体)	00左连	(+++++)	0.45	r de:	0.5	午 虚	00.5	- 	07.5	- de	00.5	- 本
<i>Е</i> П т	:H //-		コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度		24年			年度	26年		27年			F度
XL1	生件	奴に	対する経費	円円	131,250	1	24,020		15,000		115,000	1	15,000	1	15,000		15,000
				円													

社会情勢の変化・市民ニーズの把握			
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及て 産業関連の事務委任として、H24年度につい			上較)・市民からの意見や要望》 する事務があり、組織体制を含めた環境作りが必要。
L 【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)			
①行政関与の必要性《目的達成に向けて			?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
安	自性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつ 	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性 回 適切である			
□ 見直しの余地がある			
③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比			更なる成果向上ができるか?》
有 ④成果の波及効果《全市民, または多くの	市氏や他の)施策への波及効果があるか?》	
性 □ 向上の余地がない			
□ 円上の未起かめる			
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに 効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに			見直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
率 世 削減の余地がない □ 削減の余地がない	八円貝で的	(米/カノ L L/W) / L	世じ、四へッズ4カックが十日寸、末4カ女 RL(四型 R.川 寸/ //
評 □ 削減の余地がある			
一次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)	
必要性 □ 適切 □ 見直しの余地:	がある	上中心山(瓜)应), 人自灬/	
有効性 □ 適切 □ 見直しの余地:			
対容性 □ 適切 □ 見直しの余地:			
			7 0 14
【ACTION】事務事業の改革・改善 ①改革・改善案		ーアップ 前年度の課題や問題点 度の改革・改善案	その他 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響
		及少女子 英古木	の有無とその対策
			□ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
			□ 他に手段がない
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法	④取組	状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
			名称
			□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している
【PLAN】事務事業の計画			

今後の方向性

資源配分

部内での位置付け

総合評価 (担当部長) 評価理由

巫	成2	4年度領	2間市事	楽事業	評価記	周書(平月	龙23年	度実	施工	重業)					所属				部商工	観光詞	果
	-	事務事業		A 4 71.	• Н 1 град г,	"" 	~-	~		→ 	₽₩		16		担当	長名 4者			水 博 子 司郎		
111	d XI v	尹勿 尹 本	77日四				評価	区分		事務事業性 2		建設	设·整備事業		Î		所管省庁	1'p	実施計画		手業
=	事務	事業名	歴史芸術拠	1.点整備	事業		評価		重	重要事務事	業		_	耳	h				部内優	先順	位
		el linka		. = , нтт		1				計画実施記			O			小公			順位	事業	.数
総	政	政策	2.多彩な交流					産業」		新規・継続		4/	継続		(補助	率			26	40)
合計	策体		1. 笠間を体1 親 来	本感でさ	ら観光・	産業を振興	具します		事業	開始年月	支	糸	<u></u> 冬了年度	5	}				·		\dashv
計画		加東 小施策	1. 観 光 2. 観光拠	占乃びご	シットワー	カの敕借			期間	H21			H23	丰	ķ催者•	関	係団体				
一		会計	之, 鰕儿娅,	水及し~	項	グツ走畑				細目名		昌	 								\dashv
貨	Ĭ	一般	商工費		観光費	観光	上振興費	歴		術拠点整備	事業		R拠法令								\exists
禾	+										Ì		実施手法	÷	補	助台	金の有無	負	負担金の)有無	Ė
E	•												直営						- (>1		
			体概要及び					が行う	業務	内容及び引	戶順)		3 【年				4【事業費)]
			の転換を目]遊性強化を		事業 当	美用地の取	待						用地耳 (4 筆)	又付	の完了		用地取得§ 補償費	資 4	0,078† 150 €		
			司辺整備事		年								(年)				州頂貝		100 1	L1	
せて	[点	生していた	観光拠点の	ネット	度																
ワー	·ク化	☆を図り、観	光客の回遊	性や	計画																
行15 大	石氏	前の延支に	とを目指す。 周辺用地を	·ත得	囲																
		等の整備を		HAT13	井	筒屋旅館	亦地整備	の計画	前が子	ア定されたこ	とに	より					(予算額)				
				0	翌大石					#計画を検			`								
			備 A=793₁ 購入 Λ=1.6		年度																
H23 m²	3 入	: 右\$\$\$\$地	購入 A=1,6	48.82	度計																
111	Ji	引辺用地購	入 A=1,1	32 m²	画																
		事業の目的	りと手段								<u> </u>		十口米							単位	
	X (I)				市民、観	半安					④ 対		市民数							人	_
目	(働	きかける相手	手・もの)		III PAN BAU	儿仔					指										\dashv
台口	の車		て図(どのよう)	アレたい		析館の持つ芸					(5	5)	日動美術	館	人館者	数				人	
			態にしたいの			「系で連携さ 街へ周遊さ		こより、看	省荷神	神社や門前	成						_				_
					畑り向/口	倒べ 川畑で	せる。				指		用地取得						_	筆	\dashv
手	വ E	かる達成・	するために写			幾対策臨時 多				小径の整備	⑥ 活!	ע וע	/11/12/17/19								
段	シェ 行っ	かた行政活動	g るだめにぇ 動(サービス	や际(C)	を実施。	大石邸跡地	と周辺用	地を取る	得。		指										
												b., .									_
_		4務事業の第 及び指標の																			
ザオ	・貝・	事業費		単位	÷ 99名	正座(宝績)	02年度	(宝繕)	9.4左	丰度(計画)	25名	二中	/⇒上面) 96	作	中/計画	Frî)	97年	一市)	90年度	: (計正	+ ਜੰ)
				千円		一皮 (大順)	20十尺	(天順)	44-	上皮(可四/	704	十尺	(計四/ 20)+/	支(口口		21 中皮 (町	四/	20十次	(p) P	11/
			<u> </u>				 		\vdash												_
投 入	事	海 ニー・バー・バー・バー・バー・バー・バー・バー・バー・バー・バー・バー・バー・バー	文田金 也方債	千円			 		\vdash		-										\dashv
人,	業	内		千円			 		\vdash		-										\dashv
コス	費	H/ C	たの他	千円			 	11 500	—		-										\dashv
1			般財源	千円		0		41,562	_							_		- 0			
$\widehat{}$			計(ア)	千円		0		41,562		0			0			0		0			0
イン			割合		- 円	0	0.05	375	<u> </u>	0			0			0		0			0
プ	人		間外	千円			ļ														
ツ	件典		臨時	千円			<u> </u>														
 	費		協力分	千円					L												
			計(イ)	千円		0		375		0			0			0		0			0
	トー	-タルコスト	(ア) + (イ)	千円	-	0		41,937		0			0			0		0			0
		指標区分	े	単位	〕 22年	F度(実績)	23年度	(実績)	24年	丰度(目標)	25年	下度	(目標) 26	5年	度(目標	票)	27年度(目	標)	28年度	(目標	票)
活	用均	也取得		筆				4													
動									1												
指									t												
標							1	-	†												
対	市月	是数		人			1	78,862													
象指											-										_
指標									1										·		_
信	口重	力美術館入	韶	人				23,746	_		-										_
成果	日男	大川昭八	四 教				<u> </u>	20,140	╁		 										_
指							<u> </u>		-												_
標		1 4	is last	224	: H+ 00 h		00 = =	(lacksquare	0.45		0.5	- r 		. H- H-		0 F F F		20		
		コスト指				F度(実績)	23年度		_	24年度		25年	上度	26	6年度		27年度		284	丰度	
市上	6 —	人当たりの	事業費	-	- 円			532	,												

1,766

入館者一人当たりの事業費

円

_社会情勢の変化・市民ニーズの把握	
	竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)	
	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
型 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的性 性 評 ☑ 適切である	J(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
□ 見直しの余地がある	笠間市の観光振興のためには必要である。
③成果の向上余地《成果は,昨年度と比べてどうで有効。 ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	があったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》 の施策への波及効果があるか?》
型性 図 向上の余地がない 価 □ 向上の余地がある	観光客の滞留時間の延長のためには有効である。
	 ・削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》 削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性評 ② 削減の余地がない	
□ 門板の赤垣かめる	
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	通年型観光地への転換のため、稲荷神社を中心に門前通り周辺の回遊性や滞留時間の廻
有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある 効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	長化を目指す今後の整備のためには用地取得が効果的であった。
	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他
	F度の改革·改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響
	の有無とその対策 ② 影響は大きく、問題の発生が予想される
	□代替案や対策を採ることで対応できる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服するべき ④取組	型 他に手段がない 且状況
課題と解決方法	日代の 名称
	□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している
	LI WINTER VERMICE THE CONTROL OF THE

【PLAN】事務事業の計画

	今後の方向性	事業等		評価理由 竹の小径や大石邸跡地を取得したことにより、井筒屋旅館から門前通り					
総合評価 (担当部長)	資源配分		-	までの回遊性のある整備計画に有効である。					
	部内での位置付け	中	位						

平	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)																		
[PI	.AN	事務事業	の計画						事務事業	番号	1	7			者名			司郎	
							評価区分		事務事業性	質	政策	的事業				省庁	97	実施計画:	事務事業
	事務	事業名	工芸の丘管理	事業			評価事業		重要事務事			<u> </u>	助単	市単独	独				先順位
4/4	政	政策	2.多彩な交流で発	が躍す	- ろ活力ある	を 業の ま	たべくり〔産		合計画実施 新規・継続		<u> </u>		独					順位	事業数
総合	策		1. 笠間を体感					事	開始年月			了年度	_ 区 分	補助	率				
計	体	施策	1. 観 光				/	業期						共催者・関係団体 笠間工芸				ちの 丘 (壮)
	系	小施策	2. 観光拠点及	びネ		の整備			間		単年度繰返		ン 共	惟有「	天	111本 立1	り上ス	₹v) IT (11/1/
	予 	会計 一般	款 商工費	4	_項 観光費	年日 八		T++	細目名	- بالد		連計画 拠法令							
多	斗	一叔	間 上貧	1	 現兀貧	観ブ	光施設費	上五	の丘管理事	·苿		处伝节 実施手法	E.	補目	抽全 σ)右無	4:	担金の	右無
	i											一部委託		補助金の有無 負担 			1777.	13 1/1/1	
			体概要及び背景						努内容及び	手順)]	3 【在		標】		【事業費			算額)】
			体験型施設、観 て整備された施		•植栽 [†] •施設(务委託(指定	[管理]				入館					213千		
			(登佣された他) るため、周辺施	設	ヨ ・旭政1 年	彡 棓						200,0	100人		安市	托料 9 ,	701T	-円	
(海	芸美	養術館、ある	びの杜、イベン	下	度														
	易、降	國の小径等)との回遊性を高		計画														
る。					囲														
		上記と同様										入館				·算額)			
					翌年		210,000					00人)人 委託料 9,500千P				-円		
					度														
				1	計														
					画														
5	事終	事業の目的	り上手段															Ì	単位
9	① 対		10 1 40							4		芸の丘	入館	者数					人
		」豕 きかける相=	手・ちの)	Ī	市民、観光	客				対									
目的	.,		· - /							指5		芸の丘	販売	好					円
нЭ			図(どのようにした				及び周辺施設	との連	携を濃密に	成		- Z V)II	界入りし	帜					1 1
	0)/)1	。とりいり払	態にしたいのか)	ι	、施設の馳	玉ノJ (/ ノ 巾]	上を図る。			指									0
手							战塗装工事			6	リー	技管理	面積						m²
子段			するために実際				·実施。照明認	设備をLI	ED照明に交	活									
	150	った行政活動(サービス) 換し省エネの推進。					指標												
_		務事業の																	
事	美費	及び指標の	推移																

事	業費	及び	が指標の推移														
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	E(計画)
			国庫支出金	千円	7,067												
投		財	県支出金	千円													
入	事	源内	地方債	千円													
コ	事業費	訳	その他	千円	612												
スト			一般財源	千円	9,385		9,914		10,000		10,000		10,000		10,000		10,000
_			事業費計(ア)	千円	17,064		9,914		10,000		10,000		10,000		10,000		10,000
イ			職員割合	人 千円	0.09 675	0.08	600	0.08	600	0.08	600	0.08	600	0.08	600	0.08	600
ンプ	人		時間外	千円													
ッ	件		嘱託臨時	千円													
7	費		他課の協力分	千円													
)			人件費計(イ)	千円	675		600		600		600		600		600		600
	トー	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	17,739		10,514		10,600		10,600		10,600		10,600		10,600
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	E(目標)
活	植栽	戝管	理面積	m²	25,000		25,000		25,000		25,000		25,000		25,000		25,000
動																	
動指標																	
対	工芸	芸の	丘入館者数	人	203,800	2	00,000	2	10,000	:	210,000	2	20,000	2	20,000		220,000
象指																	
標																	
成田	工芸	芸の.	丘販売額	円	223,182,000	200,0	00,000	230,0	00,000	230,0	000,000	240,0	00,000	240,0	00,000	240,	000,000
成果指標																	
標																	
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年	F度	254	年度	26年	F.度	27年	三度	28	年度
			、当たりの事業費	円	87		53		50		50		48		48		48
植耖	 財面	積の	måあたりの単価	円	380		380		380		380		380		380		380

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

笠間市の中核施設として情報を発信し、地場産業と観光の振興を目指してきたが、年間を通した来場者数は北関東自動車道路が全線開通した効果 はあるものの、東日本大震災の被害の大きさと、原子力発電所事故の風評被害の収束など計り知れない大きな課題が残されており、その影響も非常 に大きなものと予想される。

_									
[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)								
24	①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政の領	節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
必要性	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
性評	☑ 適切である								
一個		笠間の観光情報発信機能を整備した施設であるため管理することは適切である。							
	7-7								
有		あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》							
有効は	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》 「							
性評	☑ 向上の余地がない	14日文型の採取られた刑(上版社・刑) マナゼ(エロ) マ) ソ							
価		地場産業の振興や参加型体験施設として有効活用している。							
	⑤ 事業費の削減全地 《活動量を下げずに事業費を	 削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
効率		川減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》							
性		3227, 11. 3.2. 3.1. 3.2. 3.1. 3.2. 3.1. 3.2. 3.1. 3.2. 3.2							
評価	日	指定管理料として植栽管理及び施設等の修繕料の事業費であるため削減の余地はない。							
ПЩ	□ 削減の余地がある								
— ;	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある								
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	笠間市の中核施設として地場産業の振興と情報発信の強化							
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある								
	効平は E 適労 元直しい示地があ								
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他							
①i	改革·改善案 ③前年	度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響							
		の有無とその対策							
		□ □ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ □ 代替案や対策を採ることで対応できる							
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)							
	改革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法								
		名称							
		□□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる							
		□ 統廃合や連携はできない・既に連携している							

PLAN	事務事業の計画	Ĩ

	今後の方向性	現行どお	おり継続	評価理由 笠間市の地場産業の振興、参加体験型施設、観光情報発信機能として				
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持		整備された施設である。				
	部内での位置付け	中	位					

平成	244	年度笠間市	事務	事業評	平価調書(平月	成23年度第	尾施事業	<u>(</u>)				所属部 課長	名	済部 清水		見光課
[PLA	N】事	務事業の計画	İ					5事業番号		18		担当者		箱守		
-1-	76 de	NA 7 11. 4.	1. + 4b.	Dorat 177.24	<u> </u>	評価区分		事業性質	建設	·整備事業	補助	F	听管省庁			事務事業
争	務事	美名 佐日	山目然:	探訪推進	E 争 来	評価事業		事務事業 国実施計画	Бî	<u> </u>	単	市単独				先順位 事業数
総政	tr	政策 2.多彩	な交流	で飛躍す	る活力ある産業のま	ちづくり 〔産 業		3 <u>天旭</u> 可度 1 •継続	41	継続	独区	1 5 = 1 - 4-			.,	
合第					観光・産業を振り		事!	始年度	終	了年度	区分	補助率			23	40
計位	k j	施策 1. 観	光				業期	H21		H24	##/	4.世。問	係団体		I	
画系	-			及びネッ	トワークの整備	-	間				六个	主 日 · [天]				
子		会計	款	line)	項		細目	•		連計画						
算科	-	一般 商	i工費	鶴	1光費 観分	化振興費 位	上白山自然探	訪推進事業		製拠法令 実施手法		油田	金の有無	 名士	100	有無
目	-									直営		(金の作品	[月1]	三金(//	1月 無
1 【 写 観光技 ることを を 図る	処点で により らめた ら。	下業の全体概要である佐白山居 、山麓公園や 回遊性と滞留	羽辺を繋 稲荷神の	整備す ■社な 単	・散策路の整備・案内板の設置・散策明をのがした。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	開工事 畳工事 ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑ ☑	び周辺整備		[]	3【年 散策内 散策的板 散策明最 散策的最	整體整體	工事 工事 工事 工事	4 【事業費 工事請負費 (予算額) 委託料 50 工事請負費	0千円	300千	円
) 対象									市民数						人
(li		ける相手・もの))	市	i民、観光客				対象 🛮							
出									指標 ⑤	利用者数						人
2		事業の意図(どの			白山にある歴史と				成果	们用省数						
0)	か。と	ういう状態にして	こいりか	7) 路	を整備することに。	より、佐日田向え	2の回避性	と図る。 月	指標 📗							
-									6	整備工事	モライ					m /#-
		を達成するた		際に散	て策路の測量及び能	簡易な整備を実	施。		白 男儿	測量調查 工事発注作						件件
行	「つだ	行政活動(サー	-EX)					1	指標 -		1 ///					
		事業の実施														
事業犯	費及で	が指標の推移											ı			
		事業費		単位	22年度(実績)	23年度(実績	(1) 24年度	(計画) 2	5年度	(計画) 264	年度	(計画)	27年度(計	画) 28	8年度	(計画)
		国庫支出	金	千円												
投 .	財	県支出金	È	千円												
投入コマ	源为	地方債		千円												
コスス	とにいる。	その他		千円												
スト	.,,,	一般財源	Ī.	千円	2,625	1,71	2	13,800								
,		事業費計(ア		千円	2,625	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		13,800		0		0		0		(
7		職員割合		人 千円				1,125		0		0		0		(
ン		時間外		千円	2,230	-,1-										
プ /	<u>+</u>	嘱託臨時		千円		 	1									
ト増	·	他課の協力を	>	千円												
<u> </u>		人件費計(イ		千円	1,350	1,12	25	1,125		0		0		0		(
ı		八件負司 (4 シコスト(ア) +		千円		1				0		0		0		(
1			(1)		3,975			14,925 (日神) 20	左声	ŭ	左步			亜) 00	左击	(口+==)
+4		指標区分 <u></u>		単位	22年度(実績)				一尺	(目標) 26年	十度	(日標)	27年度(目標	宗月 28	十度	(目標)
台	備工			m //-	0		54	1,134								
		查委託		件	0		1	1								
指標工	.事発	注件数		件	0		2	2								
対市	ī民数			人	79,409	78,86	52	79,000								
象 指																
標																
	J用者	数		人	0	50	00	5,000								
果比																
指 標																
N17		コスト指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績	(1) 24年	度	25年	度	26年	E 度	27年度		28年	 F度
市民-	一人当	台たり整備費用]	円	33		36	189				-				
						-	•			1			·			

円

所属部課名 産業経済部商工観光課

	}	今は熱の亦ル・古兄~」での切場			
	事剂	会情勢の変化・市民ニーズの把握 务事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及)	び社会環境	の変化(開始時期又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》
-	特(こなし			
L					
F	CI	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)	て 行動の領	新囲け行政の役割から見て適切から	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
	必要				ハているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
	女性評価	☑ 適切である □ 見直しの余地がある		市民や観光客の健康増進のために	こは必要である。
	有	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比			更なる成果向上ができるか?》
	有効性	④成果の波及効果《全市民, または多くの ☑ 向上の余地がない	川氏や他の	7.肥泉~07仮及効米があるが:	
	性評価	□ 向上の余地がある		市民や観光客の健康志向の向上は	こは有効である。
	効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げず』 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに			L直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
	-性評価	☑ 削減の余地がない□ 削減の余地がある		みかげ石などの地場産材を活用し	た整備を計画しているため削減の余地がない。
	− ℓ	欠評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)	
		必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある	佐白山周辺を整備することにより、 延長を期待できる。	山麓公園や稲荷神社などを含めた回遊性と滞留時間の
<u>L</u>	A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他
F		收革·改善案		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
					☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる
					⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む)
		牧革・改善案を実現する上で克服するべき 関と解決方法	④ 取組	状況	☑ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
					名称
					□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	現行ど	おり継続	評価理由 通年型観光地への転換のために、佐白山周辺を拠点に稲荷神社周辺
総合評価 (担当部長)	資源配分	拡	充	や芸術の森公園などへの観光客の誘客を図るためは有効である。
	部内での位置付け	中	位	

所属部課名 產業経済部商工観光課 平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 課長名 清水 博 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 19 担当者名 箱守 司郎 事務事業性質 評価区分 政策的事業 所管省庁 実施計画事務事業 助 部内優先順位 事務事業名 愛宕山周辺整備事業 重要事務事業 評価事業 単 市単独 順位 事業数 \cap 総合計画実施計画 独 政策 2.多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 新規・継続 政 継続 総 区 補助率 40 終了年度 小政策 笠間を体感できる観光・産業を振興します 開始年度 合 策 分 計 体 施策 1. 観 光 単年度繰返し 共催者・関係団体 (社) 笠間観光協会 Н3 画 系 小施策 2. 観光拠点及びネットワークの整備 関連計画 会計 項 款 目 細目名 予 商工費 観光費 観光施設費 愛宕山管理事業 根拠法令 一般 算 科 (スカイロッジ管理含む) 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 部委託 【事務事業の全体概要及び背景】 4 【事業費の内容(決算額)】 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 地域との連携を深めた「通年型観光 ・スカイロッジの指定管理者更新にあたり、愛宕山を一体 スカイロッジ宿泊 需用費 4,073千円 拠点施設」として、指定管理者制度を 的に管理運営してもらうために、新たにフォレストハウス、 者数 7,700人 役務費 628千円 活用し稼働率の向上を図る。 年 野外ステージの指定管理者制度を導入し選定を実施。 委託料 4,973千円 度 賃借料 2,841千円 計 工事請負費 1,594千円 画 指定管理の年度協定書の締結 スカイロッジ宿泊 (予算額) 꽢 者数 10,000人 需用費 70千円 年 委託料 11,121千円 度 賃借料 2,841千円 計 画 事務事業の目的と手段 単位 宿泊者数 (1) 対象 市民、観光客 対象 (働きかける相手・もの) 目 指標 宿泊額 的 利用者の利便性を高め、稼働率の向上を図るととも **(5)** ②事務事業の意図(どのようにしたい に、愛宕山周辺地域全体の魅力を向上させ集客を図 成果 稼働率(宿泊人数) % のか。どういう状態にしたいのか) <u>*</u> 稼働率(宿泊棟数) 指標 指定管理料 円 スカイロッジ施設整備の実施。 (6) 施設整備 スカイロッジ・フォレストハウス・野外ステージ等、愛宕 件 ③目的を達成するために実際に 活動 山周辺を一体的に管理できるように指定管理者制度 段 営業日 日 行った行政活動(サービス) 指標 を導入。 【DO】事務事業の実施

			事業の 夫旭									
事	事業費及び指標の推移											
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)	
			国庫支出金	千円	3,255							
投		財源	県支出金	千円								
入	事業	源内	地方債	千円								
ココ	事業費	訳	その他	千円	88							
スト			一般財源	千円	11,178	14,108	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
			事業費計(ア)	千円	14,521	14,108	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	
イ			職員割合	人 千円	0.43 3,225	0.29 2,175	0.29 2,175	0.29 2,175	0.29 2,175	0.29 2,175	0.29 2,175	
プ	人		時間外	千円	55							
ッ	件		嘱託臨時	千円								
1	費		他課の協力分	千円								
)			人件費計(イ)	千円	3,280	2,175	2,175	2,175	2,175	2,175	2,175	
	} ∽	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	17,801	16,283	16,175	16,175	16,175	16,175	16,175	
		ŧ	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
活			理料	円	0	0	9,900,000	9,900,000	9,500,000	9,000,000	9,000,000	
動		没整	備	件	4	4	3	3	3	3	3	
指標	営	業日		日	366	365	365	365	366	365	365	
対	宿泊	伯者	数	人	7,307	7,751	10,000	10,000	11,000	11,000	12,000	
象指												
標												
成里		伯額		円	28,355,590	27,638,920			33,000,000	33,000,000	36,000,000	
果指	_		(宿泊人数)	%	31	33			53	53	60	
標	稼	動率	(宿泊棟数)	%	38	35				55		
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
宿泊	泊者	·—\	、当り事業費	円	2,436	2,101	1,618	1,618	1,470	1,470	1,348	
				円								

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 東日本大震災の影響で23年度は宿泊者が減少したが、リピーターなどにより回復しつつある。 【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)											
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 東日本大震災の影響で23年度は宿泊者が減少したが、リピーターなどにより回復しつつある。											
	事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》										
【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)											
【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)											
TCILCIT】事份事未以,依計圖(1里自味文)											
①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て											
必 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合											
要性											
評											
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□											
③成果の向上余地 《成果は,昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》											
有											
性□ 向上の余地がない											
価											
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》											
効率 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や	·臨時雇用等)》										
世											
指定管理者制度の導入により効率性を図っている。 面											
一次評価結果 全体総括(振り返り, 反省点)											
● 必要性 🖳 適切 🔲 見直しの余地がある											
有効性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある スカイロッジを拠点に愛宕山周辺一体を管理するためには、指定管理者制度であった。	その導入は適切										
■ 効率性 🔽 適切 🗌 見直しの余地がある											

ACTION	事務事業の改革・	改善
--------	----------	----

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案

①改革·改善案
スカイロッジの稼働率アップに向けた企画事 業の実施。

②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法

④取組状況	

⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響
⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
□ 竪郷は十き/ 問題の窓件が予相される

 影響は大きく、	問題の発生が予想される
代替案や対策	を採ることで対応できる

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

✓ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

その他

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	改善し,継続	評価理由 スカイロッジの稼働率アップに向けた企画事業を行っているが、更なる誘
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	客に向けたプラン作りが必要である。
	部内での位置付け	中 位	

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 所属部課名 産業経済部商工観課長名 清水 博												見光課								
TPLAN 事務事業の計画 事務事業番号 20 担当者名 箱 中 司目																				
									持管理事	業補		所管				事務事業				
	車終	事業名	北山公園管理	主業						要事務事		小田丁、	一	助	J		.日 / 1			先順位
	7177	于木石	11四五图日在3	F *			評価事業	業		計画実施記				- 単	[市単》	虫				事業数
松公	政	政策	2.多彩な交流で用	と躍する	活力ある	産業のま	ちづくり〔産			f規·継続			継続	<u></u> 独				<i>/</i> ·(尺匹	于不外
松合	策		1. 笠間を体感					<i>/</i> C <i>)</i>	事	開始年度		終	冬了年度	区 分	補助					
計	体	施策	1. 観 光	((0)	-9474 /147	~ C 1/4/	(00)		業									明 市 浩	園建:	投業協
	系		2. 観光拠点及	びネッ	トワークの	り整備			期間	S53		単年	F度繰返	し	催者・	関係回		組合	МУСЕ	× / \ / //
- 3	予	会計	款		項		I			11目名		関	連計画							
貨		一般	商工費	観	光費	観光	·施設費	北	山公	園管理事	務	柜	艮拠法令							
禾	斗			-									実施手	去	補具	り金の	有無	負担	皇金の	有無
E	∄												一部委	뚠		_			_	
			体概要及び背景		【事業計	・画(主)	こ担当者が	行う第	美務片	羽容及び手	⊱順)]	3 (年度	目標】		【事業費		字(決)	算額)】
			江山公園の自然理				L業務委託	(指定	管理	!)			入園				月費 29			
			観光レクリエー	当									200,	人000人			光料 15			
			'活動、健康増進 内の維持管理を		・土地賃	責惜料											昔料 1, 才料費			
行行	i Ca	さるよりに屋	四分框行官连	計	-											/ / / / /	小件質	140	H	
11/	0			画																
					上記と	司様	Ŝ					入園	者数			·算額)				
				쟢	1								210,	人000人			月費 50			
				年													毛料 16			
				度計												頁1 百 t	昔料 1, 才料費	083十1 150千	円 田	
				画												////	小杆質	190	门	
5	事務	事業の目的	りと手段	<u> </u>															<u>Í</u>	単位
	(1) 対										4		市民数							人
		きかける相手	E•\$(D)	市	民、観光						対1									
H	(13)	IN TO WIH	1 0*>/		- A fem of				. two.		指		- 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	7.						,
的			:図(どのようにした				J公園の自然 ョン及びスポ				5 成		入園者数	<u>X</u>						人
	のか	。どういう状!	態にしたいのか)				ョン及いへい 引内の維持管			使 尿增进	放き									
								-1.6	1170				指定管理	料						円
手	_ 	かな法式・	するために実際に		内施設の		『施。 『入し水性植		公のな	43冊の字	⑥ 活動	ソー	管理面积							m²
段			9 るために美味り 動(サービス)	」 拒		削及を特	テハレハ1生作	*初園=	守りた	理の夫	指									
_				760							1日1	NΣ							<u> </u>	
	【DO】事務事業の実施																			
事	業費/	及び指標の	推移																	

事業費及び指標の推移																		
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コス	事業費	訳	その他	千円														
\ \frac{1}{k}			一般財源	千円		18,571		17,086		18,620		18,620		18,620		18,620		18,620
			事業費計(ア)	千円		18,571		17,086		18,620		18,620		18,620		18,620		18,620
イン			職員割合	人	0.35	2,625	0.08	600	0.08	600	0.08	600	0.08	600	0.08	600	0.08	600
プ	人		時間外	千円		53												
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費		他課の協力分	千円														
		人件費計(イ)		千円		2,678					600							
	}-	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円		21,249		17,686		19,220		19,220		19,220		19,220		19,220
			旨標区分	単位	22年度			(実績)			25年度		26年度		27年度			E (目標)
活	-		理料	円		00,000	15,0	000,000	15,0	000,000	15,0	000,000		00,000		00,000	15,	000,000
動指	管理	里面	積	m²		86,980		86,980		86,980		86,980		86,980		86,980		86,980
指標																		
対免	市	 天数		人		79,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
対象指																		
標		入園者数																
成 果	入			人	2	00,683		162,691	2	210,000	:	210,000	2	10,000	2	10,000		210,000
成果指																		
標						(.1.11)				1 .								
	2 . 1	4	コスト指標	単位	22年度		23年度	(実績)	244	丰度	254	年度	26年		27年		28	年度
			管理料 (円		244		203		221		221		221		221		221
[市]	弋一	人当	áたりの事業費	円		268		224		243		243		243		243		243

.											
事		竟の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意	見や要望》								
特	になし										
[0	CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)										
必要		範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や り(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(
要性評価	☑ 適切である	市民の観光レクリエーション及びスポーツ活動、健康和にとは適切である。									
		 ごあったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上がで	できるか?》								
有效	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他	の施策への波及効果があるか?》									
性評価	☑ 向上の余地がない	現在の施設では、指定管理者の専門的技術による管 上の余地はない。	理が有効であり、入園者の増加の向								
	⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》										
対率		削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の	効率化等,業務委託や臨時雇用等)》								
性評価	7 円(吹い) 未述がない	指定管理者制度の導入により効率性を図っている。									
	 次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)									
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある										
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	指定管理者が造園の専門業者であるため、管理が適	切に行われた。								
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある										
		ーアップ 前年度の課題や問題点 その他 - F	<u></u> 休止, 廃止した場合の成果への影響								
	改革・改善案 3前4	年度の改革・改善案 ⑤事務事業を他の有無とその家									
			きく, 問題の発生が予想される 対策を採ることで対応できる								
		⑥類似事業との も含む)	の統廃合・連携の可能性(民間活動								
	改革・改善案を実現する上で克服するべき	☑ 他に手段. 組状況	がない がある(事務事業名・活動名)								
課	題と解決方法	名称	97873(尹仂尹未石・伯刿石) 								

【PLAN】事務事業(27計画 ニューニュー		
	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 指定管理者の専門的技術により公園内の管理が良くなった。
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	
	部内での位置付け	中位	

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

平成	ኢ 24	年度空	控間市事務	务事業評	平価調書(平	成23年度第	其施事業)				所属部 課長	名		<u> </u>	観光課
[PLA	N]=	事務事業	の計画				事務事業				担当者			司郎	
	* 7 kr -1	- 144	11t. 11.12.12	:h- /++		評価区分	事務事業性		建設·整備事業	補助	F	听管省庁			事務事業
事	·務事	業名	北山公園團	怪備事業		評価事業	重要事務事総合計画実施		0	単単	国補助	国交省			先順位 事業数
総耳	<i>h</i>	政策	2.多彩な交流	点で飛躍する	る活力ある産業の	まちづくり〔産 業			継続	独	1.5-1.1.	,	,		
合分	交 友	小政策			観光・産業を振		事 盟始年		終了年度	区分	補助率	5.5/10		25	40
計(本	施策	1. 観 光				業 期 H22		H25	#4	岁老。問	係団体			
画	系	小施策			トワークの整備		間			共	住日「民				
子		会計	款		項	10.46=0.48	細目名	الد عالد	関連計画						
算 科		一般	商工費	観	光費観	光施設費	北山公園整備 (新池周辺)	事業	根拠法令 実施手法		油田	金の有無	△+	пΑσ	有無
目							(利(也)月22)		大旭子伝		冊切	金の有無	只1	一 百变0	7月 無
市民 境に ション	や観えるできる	光客がポ みながら、 バスポーツ るように親	生体概要及び 比山公園の自 、観光レクリュ 以活動、健康 所池及び散第	目然環 エー 当 ・ 選進に 年 ・ 度路等 月 ・ 月 ・ 月 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・	新池周辺整備	に担当者が行 備測量設計業系 で で で で で を と で を を の 整備コ		手順	3【年 業務委 1件 整備工 1件	· 注 :	完了	4【事業費· 委託料 5,8 (予算額) 工事請負費	80千	円	
				年度計画	E +										
5 事	務事	業の目的	的と手段												単位
	D 対			#	民、観光客				①						人
目 (1	動きを	かける相	手・もの)	111	氏、 既儿谷										
65	事系	(事業の音	気図(どのよう)				環境に親しみなが	(5 利用者数						人
			態にしたいの	(か) り、			ツ活動、健康増進		果						
_					山公園再整備基		等の整備を行う。 を手の実施		標 整備工事						m
手	の日白	かを達成	するために乳	主座ルー 北	山公園新池周辺	!整備測量設計第	美務委託の実施。		基本設計						件
			y ふためにぇ 動(サービス		山公園新池周辺	!散策路及び護岸	学整備工事の実		· 一侧重設計	業務	委託				件
(DO	1車3	8事業の	宇施	ЛE	10				整備工事						件
		び指標の													
7.7.	- 1/2 1	事業費		単位	22年度(実績) 23年度(実績	(計画) 254	年度(計画) 26	年度	(計画)	27年度(計画	国) 2	8年度	(計画)
		_	車支出金	千円		3,02			33,000					<u> </u>	
47L	貝	· 県	支出金	千円											
投入	事業費	1	也方債	千円		2,70	26,10	0	26,100						
コス	,	J	その他	千円			,		,						
$z ^{2}$	₹ H/	`	般財源	千円	2,83	5 15	55 1,40	0	1,400						
 			が(ア)	千円	2,83				60,500		0		0		(
7			割合	人 千円							0		0		(
ン	. –		間外	千円	0.10 1,00	0.10 1,12	0.10 1,12	0.	10 1,120		U		V		
プレル	人 牛 —		:臨時	千円											
ツー作	+ - - -														
· /	_		協力分	千円	1.05	0 1.16	1.10	_	1 105		0		0		,
_			計(イ)	千円	1,35			_	1,125		0		0		(
	トーク		(ア)+(イ)	千円	4,18			_	61,625		0		0		(
		指標区分	分	単位	22年度(実績) 23年度(実績	(i) 24年度(目標	_		年度	(目標)	27年度(目標	票) 2	8年度	(目標)
(广	修備_			m		0	0 65	0	650						
動基	[本]	设計業務	委託	件		1	0	0	0						
指演	引量詞	2計業務	委託	件		0	1	0	0						
標園	修備.	L事		件		0	0	1	1						
対す	方民数	汝		人	79,40	9 78,86	79,00	0	79,000						
対象指															
拒 — 標						1									
成禾	川用る	皆数		人	200,68	3 210,00	210,00	0	210,000						
果 -					,	1	,		· ·						
指 _ 標						1									
NI,		コスト扌	台標	単位	22年度(実績) 23年度(実績	() 24年度		25年度	26 ⁴	手度	27年度		28年	手度
市民	一 人	当たり整		円			33 78	0	780		. ~	2.10			. ~
	/ (v.14 / 7 / 14	1 7				* 1				1	1		

円

所属部課名 産業経済部商工観光課

-	노스뵨	こをれか	ボル・	市民二	ブカ	+m+2
1	N 7 1 1	134701	%'1r.•	11112-	ーヘい	417.11至

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 車椅子やベビーカー利用者が散策できるよう整備の要望がある。

【CHECK】事務事業の一次評価

	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)	
		6囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性	☑ 適切である	
必要性評価	□ 見直しの余地がある	市民や観光客が自然環境に親しみながら、安全に散策するためには必要である。
	日光直じり示地がある	
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうでき	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
勃	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民や他の	施策への波及効果があるか?》
有効性評価	☑ 向上の余地がない	
一一一		健康増進に活用するためには、安全かつ快適に利用することは有効である。
	□ 向上の余地がある	
اماد	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
郊率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
効率性評.	□ 削減の余地がない	
評価	<u> </u>	仕様や工法を見直し、事業費を削減する。
	☑ 削減の余地がある	
—;	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	新池周辺整備だけでなく、今後道路整備の計画によっては、バーベキュー場やキャンプ場
		等の再整備が必要になってくる。
	効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革•改善案

散策路や護岸の工法の見直しを行うことによ り、事業費を削減する。

②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法

整備工事発注前に工法を精査する。

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案	
④取組状況	

その他

⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策

- ☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる
- ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
- ☑ 他に手段がない
- □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	改善し	,継続	評価理由 新池周辺を整備することにより、管理の利便性や利用者の増加が図れ
総合評価 (担当部長)	資源配分	縮	小	వే.
	部内での位置付け	中	位	

平	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 「PLAN」事務事業の計画 「PLAN」事務事業を応 「PLAN」事務事業の計画 「PLAN」事務事業の計画 「PLAN」事務事業の計画 「PLAN」を 「PLAN														観光課				
【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 22 担当者名 箱守 司郎															ζ				
評価区分 事務事業性質 維持管理事業 補 所管省庁 実施計画																			
事務事業名 つつじ公園管理事業 重要事務事業 一 助													,,	/	17		是先順位		
	, ,,,	7 /14		_ ,			評価事業			計画実施語			_	一単	市単独				事業数
総	政	政策	2.多彩な交流で飛	€躍す	る活力ある	産業のま	ちづくり〔産			f規·継続			継続	独区					
合	策	小政策	1. 笠間を体感	る観光・産	業を振興	則ます		事	開始年月			了年度	分分	補助率					
計	体	施策	1. 観 光						業期	S42		出左	度繰返し	-11-	催者•関	反回	<i>(</i> +-		
画	系		2. 観光拠点及	びネ	シトワークの	の整備			間	342		44	・及磔巡し	ン 共	惟伯『渕	(床凹)	745		
	予	会計	款		項		目			目名		,, ,	連計画						
貨	章	一般	商工費	í	観光費	観光	产施設費	2	つじ公	園管理事	業		拠法令						
	斗												実施手法		補助	金のる	有無	負担金0	り有無
													べて委				I - SHA -H		fata t = 1
			体概要及び背景				こ担当者が	行う業	美務内	容及び手	戶順)])内容(決	(算額)】
			屋に向け、年間を			務委託								者数	60,000	委託	料 31,8	815十円	
	と行う		伐採、消毒、除		当 年								人						
寸~	511)	' o			度														
					計														
					画														
														Laster			-t- (t)		
					上記と	司様								者数	65,000			00 T III	
					翌 年								人			委託	料 32,0	000十円	
					度														
					計														
					画														
5	事務	事業の目的	りと手段																単位
	(1) 対	 象			t and the						4		卜民数						人
П		かける相手	手・もの)	Ī	市民、観光	客					対								
目的	.,										指 5		人園者数						
ΠĴ			図(どのようにした	<u>ا ۱۷ ا</u>	つつじまつり	の入園を	者の増加を図	77.			成		【图日数						人
	のか	。どういう状!	態にしたいのか)		J JUG J.	/ 0 / 八 四 1	H */*H/H & E	ਗ.∾∘			指								
											(6)	4		面積			m²		
手 ③目的を達成するために実際に 年間を通してつつじの剪定・伐採、消毒、除草等の実										草等の実	活	リー							
段			ダイス/にみばり 動(サービス)	_ ;	施。						指			-					
											1111	N1/							
		務事業の																	
事	業費	及び指標の	推移																

事	業費	及び	が指標の推移								
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財	県支出金	千円							
投入	事	源内	地方債	千円							
コ	事業費	訳	その他	千円							
スト			一般財源	千円	31,747	31,815	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000
_			事業費計(ア)	千円	31,747	31,815	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000
イ			職員割合	人 千円	0.20 1,500	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125
ププ	人		時間外	千円		,					
ッ	件		嘱託臨時	千円							
7	費		他課の協力分	千円							
)			人件費計(イ)	千円	1,500	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125
	}-	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	33,247	32,940	33,125	33,125	33,125	33,125	33,125
		ŧ	指標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	維持	寺管	理面積	m²	50,600	50,600	50,600	50,600	50,600	50,600	50,600
動指											
指											
標											
対	市月			人	79,409	78,862	79,000	79,000	79,000	79,000	79,000
象指標											
標											
成田	入國	園者	数	人	58,733	60,596	61,000	61,000	61,500	61,500	62,000
成果指標											
標											
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			旨たりの維持管理費		419	418	419	419	419	419	419
1 m	i当り)の約	維持管理費用	円	657	651	655	655	655	655	650

	会情勢の変化・市民ニーズの把握	心仏公理臣	の亦ル(則仏味地フル5年並)のド	
	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及で になし	八杠云垛児	の変化(開始時期又は3年前との氏	牧)・印氏からの息見で安全//
(C	THECK】事務事業の一次評価(担当課長)			
		て, 行政の	範囲は行政の役割から見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要	②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当	当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	っているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
女性	.			
評			 笠間市の春のイベント代表する「つ	つじまつり」を開催するためには必要である。
価	□ 見直しの余地がある			00. 31 <u>0</u> 1,010 31 1000 37 1030 30
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比	ベてどうで	 あったか?工士をすることで会後 耳	またス成里向上ができるか?》
有	(小式用の油及効用//会主尺 またはタノの			
効		11111/160	が が が で が が に が に が に が に が に に に に に に に に に に に に に	
性評	☑ 向上の余地がない		年ヶ樹木が成長しているため、年間	引を通して専門業者に業務委託することは有効である。
価	□ 向上の余地がある		中で個小が及びしているにめ、午日]を囲しく寺 未有に未仂安癿りることは有効(める。
	②事業弗の判試会!!! // (活動具なて)ボギ!	ァ 市 光 弗 ナ、	判決できないから(仕样の工法の目	古! 古兄のねもなど)
効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げず》			直し、旧氏の励力なと)// 近し、個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
	· <u> </u>	八十貫を印		旦し、個々の未務の効学化寺、未務安託で臨時雇用寺///
性評	☑ 削減の余地がない		年間が済しての業政系式のなりが	かかっ た フ
価	□ 削減の余地がある		年間を通しての業務委託のため効!	平り (<i>め</i>)る。
			全体総括(振り返り, 反省点)	
		3 3 2	主体心证(派)及9, 汉自杰/	
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある		
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある	年間を通しての造園業の専門家に 花が遅れている状況である。	業務委託していても、天候などに左右され、ここ数年開
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	があろ	TIEN XEND CV STORING CUSSO	
	mile in an in preconne	W 02 B		
[A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他
1	改革·改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響
				の有無とその対策
				☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される
				□代替案や対策を採ることで対応できる
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動)
			/	も含む)
(O)	改革・改善案を実現する上で克服するべき			□ 他に手段がない
	以中・以音楽を表現する上で兄旅するへき 題と解決方法	④取組	.状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
				名称
				□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 笠間の春を代表するイベントを開催するためには、年間を通して専門業
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	者に維持管理の業務を委託する必要がある。
	部内での位置付け	中 位	

平	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 所属部課名 産業経済部商工観光 課長名 清水 博														観光課				
【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 23 担当者名 箱守 司郎														ζ					
評価区分 事務事業性質 維持管理事業 補 所管省庁 実施計															国事務事業				
	事殺	事業名	観光施設管理事	事業						要事務事		小圧1.1	<u>日</u> 在サホ	助	1.	/ 1 1 1 1 / 1	1		是先順位
	J- 103	7/0-1	BUTCHER H	評価事業			計画実施語				単					事業数			
総	政	政策	2.多彩な交流で用	を 躍す	る活力ある	産業のま	ちづくり〔産			新規·継続			継続	独区				70(12	4 7/10/29
合	策		1. 笠間を体感	観光・産	業を振り	単します		事	開始年月			了年度	分分	補助率					
計	体	施策	1. 観 光						業期	7111		出左	库绍,户)		/史 北 BB	区国丛		1	
画	系		3. 観光客受け	入れ	本制の充乳	美			間	不明		甲十	度繰返し	/ 共1	催者・関	承四年			
Ξ,	ř	会計	款		項		目			田目名			連計画						
貨	章 斗	一般	商工費	匍	見光費	観光	光施設費	観	光施	設管理事	業		拠法令						
													実施手法		補助	金の有額	無	負担金0	り有無
		A 2114 A	AL Investment To any Half		T 1 : 202 - 2		toronto de con				- ! !-!		一部委託		. Core W		VIII - Ha		fata (Lore)
			体概要及び背景				こ担当者が	行う第	美務 [内容及び手	€順)	1	3【年				業費の		(算額)】
			用できるように仏	2 ,	観光施	設管理 を設の修	莱務						管理業	ミ務()	り完了	需用費	2,240	十円	
	産り	維持管理を N圏	117.	= 左		也取り他 水費の支										仅 伤复 季	1,296 4,115	干円 千田	
•佐	白山	周辺				らく きんき 発表する こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん こうしん										賃借料	- 909千	-Н	
	光道						(レ)業務委	託								工事請	負費 1	,292千	円
		的板		Œ	亘														
·モ	ニュ	メントなど			[=-1]	31 1 24							₩. +m →	47kr 0	<u>, </u>	(= kk #	~ ~ ~\		
				N Z	上記と	可様							管理第	ミ務()	り元亅	(予算物	<u>狽)</u> '2,248	∠ m	
				左	左 手												1,654		
				月													4,333		
				1	+												1,012		
				Œ	町														
_	ナマム	**** ~ F /	L1 - rn)\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
5		事業の目的	りと手段								<u> </u>	13	- 日米						単位
	文①			큐	5民、観光	攵					4 対 対 1		市民数						人
目	(働	きかける相手	手・もの)	"	ノレン、海エノレイ	er .					指								
的	⊘ ≠	水中米の立	(미/)(A 노크로) 구		FBB #2%.kh	***・***	コーニャートといっ	· /\ [=]	kk as	# ++ Mr TII	5		推持管理	費用					円
			t図(どのようにした 態にしたいのか)		が問有が快 ☆行い、訪問			公園	寺の	准抒官理	成员	果							
	V) /J ·	· C / V ///.	Marie O/CV (07//)	11.日 ヘンた日	NH 로 (진, 진)				指标		11 1-la kata				-		2		
手				4-4-	こう几 小 小ケ 小子	灶≁, ±+	+ 142			6) <u> </u>	推持管理						m²	
十 段			するために実際に		型取の修繕 関に努めた。		長施し、安全で快適な施設の維持管 │ 沿				活動								
1	行つ	た行政活動	動(サービス)	~	L / J - / / C	,					指标	票							
(D	2]重	務事業の	<u>実施</u>																
_		Βτド地域σ																	

事	事業費及び指標の推移										
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財	県支出金	千円							
入	事業費	源内	地方債	千円							
コス	未費	訳	その他	千円							
ト			一般財源	千円	8,743	9,851	9,247	9,300	9,300	9,300	9,300
·			事業費計(ア)	千円	8,743	9,851	9,247	9,300	9,300	9,300	9,300
イン			職員割合	人 千円	0.17 1,298	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125
ププ	人		時間外	千円							
ッ	件		嘱託臨時	千円							
7	費		他課の協力分	千円							
)			人件費計(イ)	千円	1,298	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125
	トー	ータル	シコスト(ア)+(イ)	千円	10,041	10,976	10,372	10,425	10,425	10,425	10,425
			f標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活	維持	寺管:	理面積	m²	55,200	55,200	55,200	55,200	55,200	55,200	55,200
動指											
指標											
対免	市国	民数		人	79,409	78,862	79,000	79,000	79,000	79,000	79,000
対象指											
標											
成果指	維持	寺管:	理費用	円	10,041,000	11,758,000	10,372,000	10,425,000	10,425,000	10,425,000	10,425,000
米指											
標											
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			たりの維持管理費		126	139	131	132	132	132	132
1 m	<u>当り</u>	の約	推持管理費用	円	182	199	188	189	189	189	189

たくない。 オロー マの相根										
社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び	び社会環境	の変化(開始時期又は5年前との比	· 前民からの意見や要望》							
特になし		1 × 2/10 (1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/1/	1000 J - 1000 J - 1000 (A III)							
【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)										
	て, 行政の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
٧٠.			いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
性 図 適切である 価		観光施設を管理することにより、訪	観光施設を管理することにより、訪問者が快適に利用できるようにするためには必要である							
③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比	べてどうで		見なる成果向上ができるか?》							
有 ④成果の波及効果《全市民,または多くの										
性評 回 向上の余地がない 回 向上の余地がある		観光施設を管理し、快適に利用で る。	きるようにすることにより、リピーターの増加には有効であ							
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》										
平	人件費を肖	減できないか?(業務プロセスの見	直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》							
性 評		草刈や清掃業務委託などは、高齢る。	者雇用の促進によりシルバー人材センターを活用してい							
一次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)								
	がある									
有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地		一 告申 知火塩型を管理しているが、	空窓的な修繕などの計 内が必要になる							
		常時、観光施設を管理しているが、突発的な修繕などの対応が必要になる。								
効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある									
【ACTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他							
①改革・改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策							
			☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる							
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)							
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法	④取組									
			名称							
			□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している							

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 観光施設を常時管理するためには、現行どおり継続し、現状維持が必
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	要である。
	部内での位置付け	中 位	

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)

所属部課名産業経済部商工観光課課長名清水 博担当者名箱守 司郎 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 24

[P]		】事務事業	ひ計画 ニューニュー						号	P務爭業 律	子万		24		担当名		相可	L 口I的	1
									务事業性質	質 デ	維持	管理事業	補	F.	所管省庁 実施語		実施計画	i事務事業	
	事務	事業名	菊栽培所管理	事業			評価事業	¥:	重	要事務事業	美			助	市単独			部内優	先順位
							総合計画実施			計画実施計	一画		_	単市単独				順位	事業数
総	政	政策	2.多彩な交流で飛	で 躍す	る活力ある	産業のませ	業のまちづくり〔産業〕 新規・継続					継続区							
合	策	小政策	1. 笠間を体感	できる	る観光・産	業を振り	興します 事 開始年月			Ę	終	了年度	分	冊助平					
計	体	施策	1. 観 光						業期不明			光左	度繰返し	4.4	(火土)、100				
画	系	小施策	3. 観光客受け	入れ	体制の充	実			間	个明		平平	・及牒巡し	共1	隹	徐凹净			
-	予	会計	款					⊞目名		関	連計画			·					
1	章 斗	一般	商工費 観光費 観光施設				光施設費	菊	栽培	所管理事	業	根	拠法令						
7	斗											67	実施手法		補助	金の有無	負	担金の)有無
	∄												直営			_			
			体概要及び背景		2【事業計	画(主	こ担当者が	行う美	業務₽	内容及び引	F順)]	3【年	度目]標】	4 【事業			算額)】
			る各種の菊を計			所管理							栽培鉢			共済費 1			
		培する。				の支払い							2,000鉢	Ż		賃金 3,7			
			りを図るために				び講習会の							需用費 1,213千					
			り菊栽培講習会				運営に係る事	下務 如	処理							役務費 3			
定期的に行い、市民菊花展に参加し計・作業員の業務委託依頼												委託料 2							
でもらう。												原材料費	130	干円					
	上記と同様									栽培鉢	米		(予算額)						
				2	翌	川尔							2,000쉾			共済費 4	80千	Ш	
					年								2,000	1		賃金 4,4			
				j	- 度											需用費 1			
				ĺ	計											役務費 3	9千円]	
					画										委託料 3,000千円				
																原材料費	136	千円	
5	事務	事業の目的	りと手段																単位
	①\$	+ タ									4)							人
		きかける相手	手・ も(の)	Ī	 市民、観光	客					対								
目	(125)	- N 17 W 1 H	. 0.27								指標								
的	@ #	- 7/r == 1116 m p	(교건) en 1.건) en 년				各種の菊を包				(5))	南まつり入:	込名	字数				人
			(図(どのようにした 状態にしたいのか				のの来訪者の D菊愛好家に				成身	果 7	市民菊花属	多多	加者数				人
	V 10,	か。とりいり	小思にしたい(クンハ		N 秋 培 技 州 S 加 者 の 増			-1141)	, IIII	工料化展	指标								
											点	古北位米						鉢	
-	(3) E	的を達成	するために実際				各種の菊を記				(6)		菊栽培数						- 1
手 段	行人	た行政活動	動(サービス)	7			を図るために				活動	動 ^角	菊栽培講習会						口
段	13 -	10115/1112			募り菊栽培講習会を定 参加してもらった。		ル期的に仃	V ', F	八大米	が比 氏 に	指標								
				9	SULL CAR				311121										

【DO】事務事業の実施

事	事業費及び指標の推移																
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財	県支出金	千円													
入	事業	源内	地方債	千円													
コス	事業費	訳	その他	千円													
^ }			一般財源	千円	3,961		4,010		4,917		4,917		4,917		4,917		4,917
$\overline{}$			事業費計(ア)	千円	3,961		4,010		4,917		4,917		4,917		4,917		4,917
イ			職員割合	人 千円	2.11 15,825	1.05	7,875	1.05	7,875	1.05	7,875	1.05	7,875	1.05	7,875	1.05	7,875
プ	人		時間外	千円													
ツ	件		嘱託臨時	千円	2,789		3,784		4,462		4,462		4,462		4,462		4,462
1	費		他課の協力分	千円													
			人件費計(イ)	千円	18,614		11,659		12,337		12,337		12,337		12,337		12,337
	} ~	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	22,575		15,669		17,254		17,254		17,254		17,254		17,254
	,		旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活		 线培		鉢	2,000		2,000		2,000		2,000		2,000		2,000		2,000
動	菊非	 线培	講習会	口	3		2		3		3		3		3		3
指標																	
対免	市国			人	79,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
対象指標																	
成里			0入込客数	人	775,000	7	70,000	7	80,000		780,000	7	790,000		90,000	8	300,000
果指	市国	 天菊	花展参加者数	人	21		21		25		25		25		25		25
標																	
	コスト指標			単位		23年度		24年		25 [±]		264	F 度		F度	284	F 度
市具	市民一人当たりの栽培所運営				284		199		218		218		218		218		218
				円													

社会情勢の変化・市民ニーズ∂

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の	節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?)					
性評	☑ 適切である	笠間の菊まつりにおいて、市内を装飾する菊花の提供のためには必要である。					
価	□ 見直しの余地がある	立向の利ようがにおいて、中にする表面をあれたのがには必要である。					
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで	っったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》					
性評	☑ 向上の余地がない	年、菊まつりに菊花を提供するためには、菊栽培所を市直営で運営することは有効であ					
価	□ 向上の余地がある	వే.					
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》					
効率	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	咸できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性評	☑ 削減の余地がない	菊栽培技術のある方をシルバー人材センターから業務委託により、派遣されているため効					
価	□ 削減の余地がある	率的である。					
— }	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)					
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						
		菊栽培技術を有する方が高齢化になってきているが、シルバー人材センターに経験者を 業務委託し、臨時職員についても菊栽培の知識と経験をだんだんに習得している。					
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革•改善案 ②改革・改善案を実現する上で克服するべ き課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③前年度の改革・改善案
④ 取組状況

⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策

- ☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる
- ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
- □ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 菊まつりにおいて、市内の菊装飾には欠かせない菊花を栽培すること
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	は、菊栽培に関する知識や経験が必要になるため、現行どおり継続していく必要がある。
	部内での位置付け	中 位	

平	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)													観光課				
[PI	AN,	事務事業の	の計画						事務事業	番号	2	5		担当者			小 時 子 司郎	
							評価区分								听管省庁	,,,,	実施計画	事務事業
	事務	事業名	駐車場管理事	業	評価事業			重要事務事業総合計画実施計			<u> </u>	助単	市単独				先順位 事業数	
妐	総 政 政策 2.多彩な交流で飛躍す			飛躍する	活力ある	産業のま	ちづくり「産		新規・継続		ź	 継続	独				順化	争耒级
合	策		1. 笠間を体感					事	開始年月			了年度	区分	補助率				
計	体系		1. 観 光					業期			単年	度繰返し	共化	崔者•関	係団体			
画		小施策 会計	2. 観光拠点及 款		トワークの 項	り整備		間	細目名			連計画	/ (1	ш п //3	VI-LATI			
二、貨	ア (1)		商工費		也 光費	観光		馬主]	神日石 車場管理事業			<u> </u>						
禾	斗	/1/	同工员	H-y-U	70,9	149071		19.12	- <i>//</i> //			E施手法		補助	金の有無	負	負担金の)有無
												直営					_	fata t = 1 T
			体概要及び背景					行う業績	努内容及び	手順)	1	3【年			4【事業			算額)】
光荒鷹稲千賦料普小	客町匠荷人丁、 通型の駐町駐湾層	ために駐車 E車場 12 「駐車場 E車場 25 3駐車場 5	場は年末年始有 円/台 9/台	当年度計画	・駐車場: ・年末4 ・・年車場: ・・年車場: ・・上記と「	F始料金 易草刈業 F始警備 責借料の	ンなどの修約 会徴収員業務 養務委託 請員業務委請	務委託				年末年数 5,8	380台	主車台	需用費 委託料 (予算額 需用費 委託料	1,884 [±] 4,324 [±] 1,649 [±] 2,391 [±]	千円 千円 千円 千円	
5	事務	事業の目的	りと手段															単位
	①求		T (D)	市	民、観光	客				4 対		7民数					_	人
目	(動る	きかける相手	手・もの)			<u> </u>				指	標							,
							る市民及び観光客のために駐 は利用を図り利用者の増加を図 成果 指標							仁				
手 ②目的を達成するために実際に 行った行政活動(サービス) 目家用車等で訪問する市民や観光客のために駐車 場の修繕等整備を実施。 (⑥ 活動 指標											日日							
_	【DO】事務事業の実施																	
事業	と	及び指標の	推移															

事	事業費及び指標の推移																
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実	績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財源	県支出金	千円													
入	事業	源内	地方債	千円													
コス	事業費	訳	その他	千円	2,780	2,	941		3,000		3,000		3,000		3,000		3,000
^ }			一般財源	千円	4,718	4,	878		5,200		5,200		5,200		5,200		5,200
_			事業費計(ア)	千円	7,498	7,	819		8,200		8,200		8,200		8,200		8,200
イン			職員割合	人 千円	0.15 1,125	0.07	525	0.07	525	0.07	525	0.07	525	0.07	525	0.07	525
プ	人		時間外	千円	43												
ッ	件		嘱託臨時	千円													
1	費		他課の協力分	千円													
			人件費計(イ)	千円	1,168		525		525		525		525		525		525
	}-	トータルコスト(ア)+(イ)		千円	8,666	8,	344		8,725		8,725		8,725		8,725		8,725
			旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実	績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活			理費用	円	8,666,000	8,344,	000	8,7	25,000	8,7	725,000	8,7	25,000	8,7	25,000	8,	725,000
動	利月	刊日	数	日	365		366		365		365		365		366		365
指標																	
対	市	圣数		人	79,409	78,	862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指標																	
標																	
成里	年	末年	始駐車台数	台	5,540	5,	880		6,000		6,000		6,000		6,000		6,000
成果指																	
標				1						_							
	コスト指標			単位	22年度(実績)	23年度(実		24 ^左		25 ⁴		26年		27年			
市	弋一	人当	旨たりの維持管理費		109		106		110		110		110		110		110
				円													

	ない。 ないでは、 古兄 - 、 ずの押長									
	<u>会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及で	が社会環境	: の変化(開始時期又は5年前との比	· 較)・市民からの意見や要望》						
	ictal		1 × × 12 (1/1/12) 1 / 1/1/2 (1/1/12) 1 / 1/1/2 (1/1/12)							
	CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)	て行政の領		?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要				・ なたいない。						
当性評価	☑ 適切である		市民や観光客のために市営駐車場	市民や観光客のために市営駐車場を整備することは必要である。						
,	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比	べてどうで		更なる成果向上ができるか?》						
有										
性評価	☑ 向上の余地がない		イベント開催時に無料で快適に利	用してもらうことは、リピーターの利用に有効である。						
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》										
郊率	⑤人件費の削減余地 《活動量を下げずに	人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見	直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》						
性評価	方 日が成り赤地がない		年末年始の駐車料金徴収や草刈 ターに業務を委託し、経費の削減	業務委託など、高齢者雇用促進によりシルバー人材センなど効率化を図っている。						
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある								
	有効性 🗹 適切 🗌 見直しの余地	がある	利用者が快適に利用できるようにするためには、突発的な修繕に対応する必要がある。							
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある								
[]	ACTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
1	改革·改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策						
				☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる						
	改革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法	④取組	.状況	 ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している 						

	今後の方向性	現行どお	おり継続	評価理由 市営による駐車場の維持管理は、現行どおり継続し、現状を維持してい
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状	維持	く必要がある。
	部内での位置付け	中	位	

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)													課						
[PLAN	】事務事業	の計画						1	事務事業都	~ 号	26	;		担当者				、 	
1 12/11	<u> </u>	· >				評価区分	}		務事業性質			的事業	補		听管 省			施計画事務事	事業
事	务事業名	観光協会の強化	化促注	進事業		評価事業	/-		要事務事				助	市単独			音	『内優先順	位
									計画実施計	十画		_	単独	甲甲畑			J	順位 事業	纟数
総 政		2.多彩な交流で発					業〕		新規·継続			迷続	区	補助率					
合 策		1. 笠間を体感	できる	5観光・産業	業を振興	します		事業	開始年度	ř	終了	「年度	分	1111-27-7					
計体		1. 観 光	-1 1-	4.4.1.a.+.	+			期	H15年度	Ę	単年月	度繰返し	共化	崔者•関	I係団·	体 (社)	笠間	観光協会	:
	小施策 会計	3. 観光客受け 款	入れ	体制の允良	夫			間	田目名		月月 `言	計画	,						
予質	一般	商工費	7:	^{-垻} 観光費	細力		細小		平日名 の強化促進 ³	車業		B.T.画 U.法令	松丰	明古細い	レ协 △	> 插册 &	\ <i>7</i> \ <i>7</i> \	一曲纲	_
科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無														Æ:					
1【事務事業の全体概要及び背景】2【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4【事業費の内容(決算額)														į)]					
観光事業の振興と健全な発展を図 補助金の支出(年2回) 協会員数 420人 補助金 24,250千円														_					
り、笠間市に観光客を誘致し地域経 当 旅行商品の造成・企画の連携																			
済の発展に資するため、観光協会の 年 観光協会との連絡調整・経営基盤強化への助言																			
育灰班	(化を推進す	る。		度 各種イ 計	ベントの	埋 携													
				画															
			ľ																
				上記と	司様							協会員	数	420人		算額)			
			3	쪼											補助	」金 24,	250=	千円	
			4	年															
).	度計															
				画															
			,																
5 事剂	务事業の目的	りと手段																単位	
(1):	対象			–						4		民数						人	
(話	きかける相	手・もの)	ħ	ases 員、ī	 下民、観:	光客				対									
目的										指 (5		業収益						円	
(2)=		図(どのようにした							加を図る。	成:		柔収皿 会員数						人	
0)7.	い。どういつ状	態にしたいのか)	月	材政力強化	のため、	会員数の増加	川を[凶る。		指	標	AAM							
					財政の優	建全化を図る	ため,	、補助	金交付要	(6		件費補助						円	
手(3)	目的を達成す	するために実際		綱を制定。 ネケ洲ケ刑	#F 기/ 뇌/ 구	・ロセナをよ	4:FI	V +++ /	Nかた二米	活!		業費補助	<u>ካ</u>					円	
		動(サービス)	J.	囲年滞仕型 り支援を実		と目指すため	、餓	兀肠包	マツが行業	指									-
(DO)	事務事業の	実施																	

	業費及び指標の推移 - 本業書 - 光体 - 20万度(広徳) 20万度(広徳) 24万度(司玉) 25万度(司玉) 25万度																	
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	E(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
投 入	事業費	源内訳	地方債	千円														
コス	未費	訳	その他	千円														
ト			一般財源	千円	:	25,000		24,250		24,250		24,250		24,250		24,250		24,250
			事業費計(ア)	千円	:	25,000		24,250		24,250		24,250		24,250		24,250		24,250
イン			職員割合	人	0.79	5,925	0.82	6,150	0.82	6,150	0.82	6,150	0.82	6,150	0.82	6,150	0.82	6,150
プ	人		時間外	千円		58												
ッ	件		嘱託臨時	千円														
7	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		5,983		6,150		6,150		6,150		6,150		6,150		6,150
	トータルコスト(ア)+(イ)			千円	:	30,983		30,400		30,400		30,400		30,400		30,400		30,400
			旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	E(目標)
活			補助	円		46,000		340,000		340,000		840,000		340,000		340,000		840,000
動指	事		補助	円	6,5	54,000	6,4	110,000	6,4	110,000	6,	410,000	6,4	110,000	6,4	10,000	6,	410,000
指標																		
対免	市			人	,	79,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指																		
標																		
成里				円	1,49	95,433	1,6	500,000		000,000	2,0	000,000	2,0	000,000	2,0	000,000	2,	000,000
果指	協会	員会	数	人		423		410		420		425		430		435		440
標																		
			コスト指標	単位	22年度		23年度		24 ⁴	手度	254	年度	26年	F 度	27年	F.度	28	年度
			省たりの事業費 (1)	円		390		385		385		385		385		385		385
協会	会員一人当たりの事業収益			円		3,535		3,902		4,762		4,706		4,651		4,598		4,545

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

事	正会情労の後化・旧代ニーへの任保 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 同日本大震災や原子力発電所事故の風評被害などがあるため、より一層の観光PRが必要になる。												
果!	日本大震災や原士刀発電所事故の風評彼書などかめ	るため、より一層の観光PRか必要に	డేవం.										
[Cl	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)												
必	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の												
必要性		(対象と息図)は総合計画と結びつい 	ているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》										
評	☑ 適切である	 観光協会の収益事業による財政基盤	なが強化されるまでは必要である。										
価	□ 見直しの余地がある												
右	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで		なる成果向上ができるか?》										
有効は	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の)施策への波及効果があるか?》 「											
性評	□ 向上の余地がない	観光協会の旅行事業である「笠間発	見ツアーズ」による成果の向上が期待できる。										
価	☑ 向上の余地がある	BUT IM A VINIT F A CUI OF THIS	7/1/7 7 1/1C& 0/0/2/1/1/1/2 / /9/1/4 CC 0/0										
-⊹-1.	⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》												
効率:	Mt.												
評													
御光協会員や収益事業の収益増加により削減の余地はある。 図 削減の余地がある													
— ∤	一次評価結果 全体総括(振り返り, 反省点)												
	必要性 🗹 適切 🗌 見直しの余地がある												
	有効性 🗌 適切 🗹 見直しの余地がある	笠間市の観光事業の振興のため、 な間市の観光事業の振興のため、	見光協会の財政基盤の強化が課題である。										
	効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある												
ľΔ	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	 -アップ 前年度の課題や問題点	その他										
		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響										
		用事業による「着地型ビジネスモ	の有無とその対策										
動の	D強化	業」の継続委託(H21~H23)	☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる										
			財政基盤の弱体による運営の低下										
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動										
			も含む)										
	女革・改善案を実現する上で克服するべき ④取組		☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)										
協会		ビジネスモデル事業を活用した営	名称										
収3	益事業の営業活動強化のための人員増 業活動		□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる										
		□ 統廃合や連携はできない・既に連											

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 観光協会の財政の健全化を図り、収益事業強化による通年型観光の展
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	開により、観光客の増加を図る必要があるため、現段階では現行どおり継続し、現状維持が望ましい。
	部内での位置付け	中位	

平月	成24年度笠	控間市事務事	挥業	·価調書	≸(平万	戊23年度	実旗	拖事業)					所属部語 課長名			部商工行水 博	観光課
[PL	AN】事務事業(の計画						事務事業種	\$号	27			担当者			八 	
1.2	2 (1 1 1 1 1 1 1) K	П				評価区分	\	事務事業性質			的事業	補		· 「管省庁	1,14		事務事業
Ţ	事務事業名	観光動態調査	事業			評価外事	些	重要事務事業総合計画実施計		-	_	助単	県補助	茨城	県	部内優	先順位 事業数
総	政政策	2.多彩な交流で				- 1: 0—	業〕	新規・継続			続	独区	補助率	10/1	0	川田山	ず未然
計		1. 笠間を体感 1. 観 光				単します		事 開始年度 期 不明			年度 繰返し	分 生化	崔老•閏/	係団体 🌣	お城県	組 光物	产 課
画	3 202714	3. 観光客受け				П		間				/ / /	E 1 1/3	VINE III	(79/17)	1707 1707	
子	会計 一般	款 商工費		項 光費	2 日 기	目 光総務費	年日 2	細目名 光動態調査事	\\\\		計画 法令						
第彩	山	冏上貧	餓	兀貧	観刀	[総務質	観り	工	来		施手法		補助/	金の有無	1	負担金の	右無
E											心テム	2	7冊1973	一	5	—————————————————————————————————————	7'H ****
1 [事務事業の全	体概要及び背	養務内容及び手	네()		3【年度目標】 4【事					事業費の内容(決算額)】						
てど向る調・・・・・	観光客数と年齢調光客数と年齢調査することに対した。 当断するためのでは、 も地点では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、			及び賃金の					入込鶴 3,146, 3,146, 人込鶴 3,300,	500/	500人 (予算額)						
5 -	事務事業の目的	的と手段								\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	N TC / F	1 14/.					単位
	①対象 (働きかける相手	手・もの)	観	光客(アン	ケート協	3力者)			4 対象 指標	象	料取得)	人致					<u></u>
的		務事業の意図(どのようにしたい 観光客の動向を判断するための資料を取得 どういう状態にしたいのか) 県で集計後、観光客動態調査報告として公							指標 ⑤ 入込観光客数 成果 指標					人			
手 ③目的を達成するために実際に 行った行政活動(サービス) 市内数ヶ所の観光拠点において、行 査することにより、観光客の動向を料料を取得した。									⑥ 活動 指	動 —	查員数						人
(DC)】事務事業の第	実施															
事業	美費及び指標の)推移															
	事業費		単位	22年度	(実績)	23年度(実統	漬) 2	24年度(計画)	25年	度(計	画) 26	年度	(計画)	27年度(計画)	28年度	(計画)
ДП.	国庫支出金 千円 財 県支出金 千円																

事	美費	及ひ	ば 指標の推移						_									
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
ココ	業費	訳	その他	千円														
スト	,		一般財源	千円														
			事業費計(ア)	千円														
イ			職員割合	人 千円	0.10	750	0.10	750	0.10	750	0.10	750	0.10	750	0.10	750	0.10	750
ンプ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円		171		146		146		146		146		146		146
F	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		921		896		896		896		896		896		896
	}-	ータルコスト(ア)+(イ) 千円				921		896		896		896		896		896		896
		扌	旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	調金	員	数	人		6		6		6		6		6		6		6
動指																		
指標																		
対免	資料	斗取:	得人数	人		50		50		70		70		70		70		70
象指																		
標																		
成里	入ì	入観:	光客数	人	3,2	81,300	3,1	46,500	3,3	300,000	3,3	350,000	3,3	50,000	3,4	00,000	3,	400,000
果指																		
標																		
201			コスト指標	単位	22年度		23年度		244	手度	25 ⁴	手度	26年		27年		284	年度
資料	斗取	得一	一人当たりの事業費			18,420		17,920		12,800		12,800		12,800		12,800		12,800
				円														

	会情勢の変化・ア					
事	務事業を取り巻く	〈環境《対象や法令根拠	L及び社会環境	色の変化(開始時期ス	ては5年前との比	較)・市民からの意見や要望》
L	T. 11. 1. 1.					
C		<u> </u>			ら見て適切か?	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要						いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性	□ 適切である					
評価		地がある				
			レルベアじらで	なったか?丁土な士	ステレベム公 百	更なる成果向上ができるか?》
有		、地 《成木は,*゚゚ー) 効果《全市民,または多				CADIMANITA COMA: II
効性評						
評価						
			いたとすが事を	火山 キャナ シュナ 0 (/	上巻の工法の日	
効率						.直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
半性評	·		7 (-) (1) X (1)		232	ECO, III - 2000 200 1 10 43 000 20 10 1 mm 37E/14 47/1
評価						
,		世 <i>ル+&)/</i> シ		△比松柱(拒NEN	二 /4/上)	
	次評価結果 必要性 □	適切 □ 見直しの	余地がある	全体総括(振り返り	, 仅有品)	
	_					
		適切 見直しの				
	効率性 🗌	適切 □ 見直しの 対	余地がある 			
[A	CTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の調	果題や問題点	その他
(1)i	改革·改善案		@ **			
			3 削年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
			3 則年	度の改革・改善案		の有無とその対策
			3 削牛	一度の改革・改善案		
			3 前 年	・ 度の改革・改善案		の有無とその対策 □ 影響は大きく, 問題の発生が予想される
			3 前 年	· 度の改革・改善案		の有無とその対策 □ 影響は大きく, 問題の発生が予想される
			3 削牛	接の改革・改善案		の有無とその対策 □ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
			3月1年	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で		の有無とその対策 □ 影響は大きく, 問題の発生が予想される
2)1	砂苫•砂恙宏を5	を 現 ま る トで 古 服 ま る/	24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない
	改革・改善案を写 題と解決方法	 実現する上で克服する/				の有無とその対策 影響は大きく、問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) 他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
		 	24			の有無とその対策 影響は大きく、問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) 他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称
		 実現する上で克服する。	24			の有無とその対策 影響は大きく、問題の発生が予想される 代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) 他に手段がない 他に手段がある(事務事業名・活動名)
		 現する上で克服する	24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
		実現する上で克服する ~	24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
		 尾現する上で克服する✓	24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
課	題と解決方法		24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
課		の計画	24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
課	題と解決方法 LAN】事務事業の	<u>の計画</u> 今後の方向性	24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している
課	題と解決方法	の計画	24			の有無とその対策 □影響は大きく、問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)													光課						
【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 28 担当者名 箱守 司郎																			
	JI 11 1 7	F177 F7K	> H E-1				評価区分	ir I	事務事業性	_		策的事業	補		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			由計画事	務事業
	事務	事業名	かさま観光大使	雇用	事業				重要事務事			_	助						記順位
							評価事業	 終	合計画実施	計画		_	単独	市単独			順	何位 事	事業数
総	政	政策	2.多彩な交流で新	₹躍す	る活力ある	産業のま	ちづくり〔産	業〕	新規·継続	Ē		継続	区	補助率					
合	策	小政策	1. 笠間を体感	できる	る観光・産業	業を振興	します	事		变	終	了年度	分	冊切竿					
計	体	施策	1. 観 光					第 其			畄仁	度繰返し	#:4	催者•関		*			
	系	小施策	4. 観光PRの充	[美		1		ı	1 91						INNE	7"			
	F	会計	款		項		目		細目名		,, ,	連計画							
多	章 [一般	商工費	種	見光費	観光	光総務費	かさま	観光大使雇用	事業		拠法令		14-11	A	har	<i>₽</i> 1 <i>□</i>	^	- free
	斗											実施手法		補助	金の有	1無	負担	金の有	手無
目 直営													that \						
													!額)】						
笠間市の観光イベントや県内外の観 光キャンペーンに参加することにより 当 大使の手配及び賃金等の支払い 出勤日数 120回 報償費 215千円 需用費 527千円																			
		進を図る。	>/11 y DCC(CA	4	年											貝 52 費 15			
大位	吏人	数 4名		J	变										D 4 3 3 3		- , , ,		
	更任				計														
			選考し、入れ替え	たを「	画														
行り	^4名	体制		_	上記と	司择						шжы	1 米ケ	130回	(予算	5 存否 \			
				2	翌	川塚						山野口	奴	130回		費 29	0千円		
				4	牟											費 66			
				J	度											· 費 22			
				Ī	計														
				Ī	画														
5	事致	事業の目的	万して 印															111	位
Э			りと十段							(4) 名	観光大使数	K/r						八 <u>八</u>
	(1) 太			名	見光大使					対	象	死プロノへ 区で	奴					/	/
目	(働き	きかける相手	手・もの)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					指	標								
的	の車	(:図(どのようにした				トや県内外の			(5		出勤日数							
			態にしたいのか)	6		E間市をI	PRすることに	より、観	光客の増加	成:									
				2	と図る。					指		F 1.3 / 6°.	> 、米	<i>l</i> -				Б	_
手	_			Æ	た 問 古 の 網	光イベン	トや県内外の	の細水さ	シャンペーン	6	ソ	キャンペー	- / 安	X.				<u>L</u>	П
段			するために実際	12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	エ同川の観 こ参加し、祭	間市の	PR活動を実力	加。	142.	活!									
1/2	「行った行政活動(サービス) 「に参加し、立前川の下れ活動を実施。」 指標 指標																		
(D	DO】事務事業の実施																		
事	業費	及び指標の	推移																
		重 業費	ì	并位	99年度	(宝績)	93年度(宝	(績) 2	1年度(計画)	95年	E度(計画) 26:	年度	(計画)	97年	度(計i	丽) 28	年度(計画)

事	業費及び指標の推移																
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財源	県支出金	千円													
入	事業費	源内	地方債	千円													
コス	木 費	訳	その他	千円													
ト			一般財源	千円	869		901		1,177		1,200		1,200		1,200		1,200
·			事業費計(ア)	千円	869		901		1,177		1,200		1,200		1,200		1,200
イン	一 時間		職員割合	人 千円	0.12 900	0.17	1,275	0.17	1,275	0.17	1,275	0.17	1,275	0.17	1,275	0.17	1,275
ププ	人		時間外	千円													
ッ	件		嘱託臨時	千円	1,135		1,130		1,200		1,200		1,200		1,200		1,200
\ \	費		他課の協力分	千円													
) 	人件費計(イ)		千円	2,035		2,405		2,475		2,475		2,475		2,475		2,475
	}-		レコスト(ア)+(イ)	千円	2,904	3,306			3,652		3,675		3,675		3,675		3,675
			f標区分	単位	22年度(実績)	23年度		24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	キャ	ン〜	ペーン数	口	52		59		60		60		60		60		60
動指																	
指標																	
対象	観う	七大	使数	人	4		4		4		4		4		4		4
対象指標																	
	.1.4	-(p	NAI.		105		100		1.10		4.40		1.10		1.10		1.10
成果指標	出		数	日	127		129		140		140		140		140		140
指																	
標				224 (4-	00年度(史徳)	00 Fr Fr	/ → ⟨± \	0.45	e de	05/	ir de	00.5	- r bc	07.5	- rhe	0.0	te de
111+	tal.		コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度		24年		25 ⁴	丰度 00.050	26年		27年		28	年度
出自	助一	日当	りの事業費	円	22,866		25,628		26,086		26,250		26,250		26,250		26,250
				円												<u> </u>	

T.I									
	<u>会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及)	が社会環境	の変化(開始時期又は5年前との比	・・市民からの意見や要望》					
	になし								
	CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)								
		て, 行政の	節囲は行政の役割から見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥	当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性評価	☑ 適切である		観光キャンペーンやイベントなどで	は観光大使の存在が必要である。					
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比	べてどうで	あったか?工夫をすることで今後, 夏	見なる成果向上ができるか?》					
有效	④成果の波及効果《全市民, または多くの	市民や他の	の施策への波及効果があるか?》						
性評価	☑ 向上の余地がない		笠間市の知名度向上には有効である。						
郊辛	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずり			直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
率性	÷	八件質で月		旦し,個々の未伤の効率化寺,未伤安にで臨时雇用寺///					
割	- Handa Salan and A		事業費については、賃金や消耗品	などの活動経費であるため削減の余地がない。					
佃	□ 削減の余地がある		,,,,,						
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある							
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある	観光キャンペーンなどで観光大使え	がPRすることにより、笠間の知名度向上が図れた。					
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある							
[A	ACTION】事務事業の改革・改善	フォロー	<u>-</u> −アップ 前年度の課題や問題点	その他					
1	改革·改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					
				☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される					
				□代替案や対策を採ることで対応できる					
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)					
	改革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法	④ 取組	以	── 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
121				名称					
				□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している					

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 笠間をアピールする上では有効であるため、現行どおり継続する必要が
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	ある。
	部内での位置付け	中 位	

平成:	24年度3	这間市事務事	業評価	調書(平月	戈23年度	実施	事業)					所属部部 課長4			∛商工額 水 博	見光課
[PLAN	】事務事業	の計画					事務事業	番号	29			担当者			· 司郎	
	· 1 1/1/2 1/2/C	The state of the s			評価区分	}	事務事業性			内事業	補					事務事業
事務	务事業名	フィルムコミッシ	ョン事業		評価事業	÷	重要事務事		-	_	助単	市単独		:		先順位
						彩	総合計画実施		-	_	独	山牛畑			順位	事業数
総政		2.多彩な交流で飛					新規·継続			続	区	補助率				
合策		1. 笠間を体感	できる観光	ど・産業を振り	します		開始年	度	終了	年度	分	1111-73 1	-11			
計体	施策 小施策	1. 観 光 4. 観光PRの充	一				· H17		単年度	繰返し	共作	は催者・関係団体 茨			フィルム 進室	、コミッ
	小 会計	4. 観尤PRの元 款	項		<u> </u>		細目名		問連	計画			7	ヨン 1圧	進 至	
予算	一般	商工費	観光費	事 組斗	上 比総務費	組 光:	※務費標準的	車業		法令						
科	/JX	内工员		マー 時心力		時ルブログ		7 1		施手法		補助々	金の有無	負	担金の)有無
目										直営		1113.74			_	13 3
1【事	務事業の全	体概要及び背景	七】2【事	事業計画(主)	こ担当者が行	亍う業	務内容及び	手順)]	3【年	度目	標】	4 【事業3	費の内	容(決	算額)】
笠間市	iの豊かな自	然、歴史的建造	テ	レビ・映画等						ロケ支			役務費 5			
物、公	共施設等を	市ホームページ		ームページで			51 a) ± ##			数 58	П		委託料 3			
		ッション推進室と B介し、魅力を発		城県フィルム	ハコミツンヨン	推進	Eとの連携						使用料 2	5十円		
		バース 極力を光														
		†のPRを図ってい														
<。													(table 1 to)			
				:記と同様						ロケ支持			(予算額)	· т Ш		
			翌年							数 60	Щ		役務費 6 委託料 3)十円 2/4年四	i	
			度										使用料 2			
			度計										-			
			画													
E 車型	8事業の目的	万し壬 郎														出任
		りと于段						(4) In/	r支援受	十十日	可数				単位
	対象	T 1 = 1	テレビ	•映画制作者等				対		人及又	.1.1 1-	130				
目	きかける相手	手・もの)			•			指	標							
的②	事務事業の音	て図(どのようにした	い、笑間市	う内でのテレビ	映画等のロ	ケを推	准1. 笠間市	(5)		関係経	済效	果				円
のか。どういう状態にしたいのか)のPRを図る。					ост (1-2).	/ C 1H	~_0(±141111	成								
								指	m L	ア同行日	数					IIII
手	ロめかませ	ナフたひに 安吹!	- 笠間市	う内でのテレビ	映画等のロ	ケを推	進し、笠間市	(6)/T.	<i>y</i>	H1 1 H	双					П
		するために実際! 動(サービス)		図った。	, , ,	- , ,	. —. •	活指								
								1日/	17.7							
[DO]	事務事業の	<u>実施</u>														

事			が指標の推移															
事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(計画)												(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
入	事業費	源内	地方債	千円														
コス	者費	訳	その他	千円														
^ -			一般財源	千円	47			64		66		66		66		66		66
		事業費計(ア)		千円		47		64		66	66			66		66		66
イン			職員割合	人 千円	0.30	2,250	0.35	2,625	0.35	2,625	0.35	2,625	0.35	2,625	0.35	2,625	0.35	2,625
プ	人		時間外	千円		269		300		300		300		300		300		300
ッ	ッ件嘱託臨時			千円														
1	費		他課の協力分	千円														
			人件費計(イ)	千円		2,519	2,925		2,925		2,925		1				2,925	
	}-		レコスト(ア)+(イ)	千円		2,566		2,989		2,991		2,991	2,991			2,991		2,991
			旨標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度		28年度	(目標)
活	ロク	r同彳		日		43		49		50		50		50		50		50
動指																		
指標																		
対象	ロク	r 支扎	爰受付回数	口		81		58		65		65		70		70		75
対象指標																		
標		BB 14	5 (M) * 1 H			05.004	05.0		10.6		10		10.0		10.0		1.0	
成果指	FC	関係	系経済効果 	円	5,6	95,694	25,8	863,785	10,0	000,000	10,	000,000	10,0	000,000	10,0	000,000	10,	000,000
指																		
標				环仁	00左岸	(+++++)	00年時	(/七/4=)	0.45	- 中	0.5	左	oc.t	- 	07.5	- 	00.	午曲
- L	- I = 1/2		コスト指標	単位	22年度		23年度		244	丰度	254	年度	264	F度 50.000	274	F度 50.000	282	年度
ロク	7 1円11	11T	日当りの事業費	円円		59,674		61,000		59,820		59,820		59,820		59,820		59,820
				H							<u> </u>							

社	会情勢の変化・市民ニーズの把握			
事	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及る	び社会環境	の変化(開始時期又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》
行	になし			
<u> </u>				
	CHECK】事務事業の一次評価(担当課長) 「行政関与の必要性 《目的達成に向け、	て 行政の領	新囲け行政の役割から見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要				いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
女性評価	☑ 適切である		テレビ・映画・CM等で笠間市を広く	紹介することは必要である。
有效	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比 ④成果の波及効果《全市民, または多くの			見なる成果向上ができるか?》
州性評価	☑ 向上の余地がない		映画など長期の撮影があった場合	は、撮影隊の食事など市内の経済効果が期待できる。
效率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げず』 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに			直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性評価	☑ 削減の余地がない		ホームページでの紹介や茨城県フ 的である。また、エキストラの登録制	イルムコミッション推進室との連携により経費的には効率 などで市民の協力を得ている。
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)	
	必要性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地有効性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地効率性 ☑ 適切 ☐ 見直しの余地	がある	都内の撮影隊が主であり、都内からば市内の経済効果に期待が出来る	っの近いこともあり日帰りが多いが、宿泊を伴う撮影があれ 。
[CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点_	その他
1	改革·改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
				☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動)
2	改革・改善案を実現する上で克服するべき			も含む) □ 他に手段がない
	題と解決方法	④取組	状况	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称
				□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	現行どお	らり継続	評価理由 ロケ地として笠間市を取り上げてもらうことは、笠間市の知名度向上にな
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状	維持	り、また市内業者の活性化にも繋がるため、現行どおり継続する必要がある。
	部内での位置付け	中	位	

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)

 所属部課名
 産業経済部商工観光課課長名

 課長名
 清水 博

 担当者名
 箱守 司郎
 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 30

							評価区	分	事	務事業性質	重	政策	的事業	補	Ē	听管省庁		実施計画	事務事業
			観光PR戦略事	業			評価事	坐	重	要事務事業	Ě		0	助	市単独				先順位
							計1111手:	未	総合	計画実施計	一画		0	単独	山中独			順位	事業数
総	政	政策	2.多彩な交流で飛	躍する	る活力ある	産業のま	ちづくり〔産	業〕	亲	新規·継続		糸	継続	区	場出水			13	40
合計	策	小政策	1. 笠間を体感で	観光•産	業を振興	則ます しょうしょう しょうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しゅうしゅう しゅう		事	開始年度	F	終了	1年度	分	補助率			13	40	
	体	施策	1. 観 光						業 不明		兴仁英		を繰返し			係団体 観	17. 月日 1	ま団み	
画	系	小施策	4. 観光PRの充	実					間	个明	E	平平は	を裸返し	共1	隹伯・ 判	徐凹冲 既	兀渕	半凹里	
7	5	会計	款		項		Ħ		糸	田目名		関連	計画						
貨	氧	一般	商工費	観	光費	観光	光振興費	有	観光P	R戦略事業	(B)	根拠	L法令						
乖	斗											実	施手法		補助	金の有無	負	担金の)有無
E													直営			_		_	
1	事	务事業の全	体概要及び背景	2	【事業計	画(主に	こ担当者が	行う	業務内	内容及び手	:順)】		3【年	度目	標】	4 【事業費	量の内	容(決	算額)】
拡興 携の	大を下と図る	目的に、通4 るため、観光 観光戦略を		振当	台 つりを により により ・各種 ・ 上記と ト コ	旅行会社 見光客の バディア✓	イベント、集 土・新聞社・ 誘客を図っ への広告の	放送 って\	局等でく。					3,20	0千人	報旅需役使 慣費 319 實費 1 (予賞費 100 (報旅需役) 100 (報旅需役) 100 (報旅需役	,114 ⁴ ,189 ⁴ び賃信 20千 千円 40千	千円 千円 昔料 2- 円 円	
5 -	事務	事業の目的	りと手段										- 10						単位
	文 ①	才象		. -	· D 知 M //	<i>∱</i> `					④ 対象	币	民数						人
H	(働	きかける相手	手・もの)	П	民、観光	谷					利多 指標	Ę.							
			:図(どのようにした 態にしたいのか)				長興を図るた				⑤ 成果 指標	Ę	込観光額	字数					人
手段			するために実際に め(サービス)	通 2 送	年で行わ	れるイベ	ールではら。 ントなどを旅 することによ				6 活動 指標	キ· カ	ャンペー	シ目	数				日

【DO】事務事業の実施

			指標の推移															
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投	4	財源	県支出金	千円														
入	事業費	源内	地方債	千円														
コっ	未費	内訳	その他	千円		180												
スト			一般財源	千円		2,565		3,080		2,560		2,600		2,600		2,600		2,600
_			事業費計(ア)	千円		2,745	3,080			2,560		2,600		2,600		2,600		2,600
イ			職員割合	人 千円	0.67	5,025	0.40	3,000	0.40	3,000	0.40	3,000	0.40	3,000	0.40	3,000	0.40	3,000
プ	人		時間外	千円		346		400										
ッ	件		嘱託臨時	千円														
ト	費		他課の協力分	千円														
			人件費計(イ)	千円			3,400					3,000					3,00	
	}-	ータル	レコスト(ア)+(イ)	千円		8,116		6,480		5,560		5,600		5,600		5,600		5,600
			f標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
(古)	キャ	ンへ	ペーン日数	日		52		59		60		60		60		60		60
動指																		
指標																		
対免	市国	民数		人		79,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
%指		民数																
標																		
成里	入ì	込観 :	光客数	人	3,2	81,300	3,3	00,000	3,3	300,000	3,3	350,000	3,3	50,000	3,4	00,000	3,4	100,000
果指																		
標																		
			コスト指標	単位	22年度		23年度		24年		25 ⁴	手度	26年		27年		28年	
市民一人当たりの事業費円						102		89		70		71		71		71		71
キャ	ンィ	°-,	ン1日当りの事業費	円	1	56,077	1	18,932		92,667		93,333		93,333		93,333		93,333

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》

行政評価外部評価委員会での外部評価結果:民間に移管

方向性

- ・一般的なPR事業は、観光協会で扱うものとし、関係者と観光協会に移管に向けた協議を進めるべきである。
- ・市は、観光政策の中で必要な、調査、研究、企画、施設整備など基盤的な事業に力点を置くべきである。

<u>.</u> .	THEON F	DJ T /K 1/2 U							
ιΥ				6囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
少 要	②総合計	画との整合性	E, 対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
必要性評価		である		笠間の観光をPRするための有効な手段として、旅行会社・新聞社・放送局等の訪問は必要					
価	見直	、の余地があ _っ	3 	である。					
	③成果の	向上余地《	成果は、昨年度と比べてどうでは	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
有効	④成果の	波及効果《全	市民,または多くの市民や他の	D施策への波及効果があるか?》					
性評	☑ 向上	の余地がない		訪問先の広告やテレビなどの出演により、笠間のPRが出来ることは有効である。					
価	□ 向上(の余地がある		成用ルジムロベブレビなどの山僕により、立用ジFRが山木のことは有効である。					
	⑤事業費	の削減余地	《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》					
効率	⑥人件費	の削減余地	《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性評	□削減	の余地がない	١	外部評価の結果、観光協会などに観光キャンペーンを民間に移管することにより、人件費の					
価	☑ 削減	の余地がある)	削減が図れる。					
—}	次評価結果	₹		全体総括(振り返り, 反省点)					
	必要性	☑ 適切	□ 見直しの余地がある						
	有効性	☑ 適切	□ 見直しの余地がある	春・秋のイベント開催前に県関係、新聞社、放送局を訪問したり、旅行会社へのセールスな ど笠間の観光をPRするための手段としては有効であるが、外部評価の結果を受け止め民 関に移管の方向で検討する必要がある					
	効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある			間に移管の方向で検討する必要がある。					

【ACTION】事務事業の改革・改善

①改革•改善案
一般的な観光PRの民間への移管
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法
関係機関との移管に向けた協議

フォローアップ 前年度の課題や問題点

③削牛度の改革・改善条
④取組状況

その他

l	⑤事務事業を休止.	廃止した場合の成果への影響
l	の有無とその対策	廃止した場合の成果への影響

ı	✓	影響は大きく,問題の発生が予想される
ı		代替案や対策を採ることで対応できる

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

☑ 他に手段がない

□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	改善し,継続	評価理由 行政評価外部評価結果での方向性のとおり、一般的なPR事業は、観光
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	協会で扱うものとし、関係者と観光協会の移管に向けた協議を進める必要がある。 市と観光協会の役割分担を明確にする必要がある。
	部内での位置付け	上 位	

所属部課名 産業経済部商工観光課 平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 課長名 清水 博 箱守 司郎 担当者名 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 31 事務事業性質 評価区分 政策的事業 所管省庁 実施計画事務事業 助 重要事務事業 部内優先順位 事務事業名 観光周遊バス運行協議会事業 市単独 評価事業 単 総合計画実施計画 順位 事業数 独 2.多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産 業〕 政策 新規・継続 継続 総 政 区 補助率 1. 笠間を体感できる観光・産業を振興します 終了年度 開始年度 小政策 合 策 分 計 体 笠間市内観光周遊バ 施策 1. 観 光 期 共催者•関係団体 H13 単年度繰返し 画 系 小施策 2. 観光拠点及びネットワークの整備 ス運行協議会 間 会計 項 細目名 関連計画 款 観光費 観光総務費 観光総務標準的事業 算 一般 商工費 根拠法令 科 補助金の有無 負担金の有無 実施手法 目 すべて委託 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 【事務事業の全体概要及び背景】2 観光客の周遊観光の促進のために ・笠間市内観光周遊バス運行協議会への出席 利用者数 負担金 2,400千円 平成13年に無料で開始され、平成20 ・負担金の支出 20,443人 年 年に新型バスが導入されたのを機に 有料化で運行されている。平成21年 10月から一日乗車券の扱いが開始さ 計 画 れた。 ・1回乗車につき 100円 •1日フリー乗車券 200円 上記と同様 利用者数 (予算額) 笠間市内観光周遊バス運行協議会 負担金 2,400千円 24,000人 構成団体 꽾 年度 •笠間市

		HI BUJU WI A				
Ę	5 -	事務事業の目的と手段				単位
	囯	①対象 (働きかける相手・もの)	市民、観光客	④ 対象 指標	市民数	人
1	的	②事務事業の意図(どのようにしたいのか。どういう状態にしたいのか)	協議会加盟団体と連携し、周遊観光の促進を図る。	⑤ 成果 指標	利用者数観光客動態調査による利用率	人 %
	手段	③目的を達成するために実際に 行った行政活動(サービス)	観光客の周遊観光促進のために、協議会を定期的に実施。	⑥ 活動 指標	運行会議数 運行日 運行数	回 日 便

【DO】事務事業の実施

•日動美術館 •笠間稲荷神社

・笠間工芸の丘 • 笠間観光協会

•茨城県陶芸美術館

計

画

		プントのサースのサール サール・ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン																
事	業費及び指標の推移 事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(計画) 25年度(計画) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(計画) 28年度(計画)																	
	事業費			単位	22年度((実績)	23年度((実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財源	県支出金	千円														
入	事業費	源内	地方債	千円														
コ	書	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円		2,460		2,400		2,400		2,400		2,400		2,400		2,400
- (·	事業費計(ア)	千円		2,460		2,400		2,400		2,400		2,400		2,400		2,400
1			職員割合	人 千円	0.02	150	0.03	225	0.03	225	0.03	225	0.03	225	0.03	225	0.03	225
ンプ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
卜	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		150		225		225		225		225		225		225
	トー	-タル	レコスト(ア)+(イ)	千円		2,610		2,625		2,625		2,625		2,625		2,625		2,625
		指	f標区分	単位	22年度((実績)	23年度((実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	運行	亍会	議数	回		3		3		3		3		3		3		3
動	運行	 日		日		317		318	-	317		317		318		316		316
指導	運行	亍数		便		8		8		8		8		8		8		8
標																		
対	市国	民数		人	-	79,409	7	78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指標																		
標																		
成盟	利月	月者:	数	人	4	23,220	2	20,443		24,000		24,000		24,000		24,000		24,000
果指	観光	客動	態調査による利用率	%		16		37		45		45		45		50		50
標																		
			コスト指標	単位	22年度((実績)	23年度((実績)	24年	F度	254	年度	26年	F度	27年	度	284	年度
			iたりの事業費	円		33		33		33		33		33		33		33
利月	刊者	一人	、当たりの事業費	円		112		128		109		109		109		109		109

补仝	情熱の	変化.	市民ニー	- ズの) 押据

事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 特になし

【CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)

	①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政の貧	節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》			
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?)			
性評	☑ 適切である	電車や自家用車以外で笠間を訪れる観光客にとっては必要である。			
価	□ 見直しの余地がある	电平(日本用平外)で、正向を助すい。			
	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》			
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	D施策への波及効果があるか?》			
性評	☑ 向上の余地がない	観光客ばかりでなく、市民の方も利用できるので有効である。			
価	□ 向上の余地がある	- 1970年 1997 - 7 く・9 77 ロルアイ・273 のよう 1.13 くこ の・2 く・日 201 くの2の。			
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》			
効率	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》			
性評	☑ 削減の余地がない				
価	□ 削減の余地がある	構成団体により、3年に1度負担金の見直しや委託業者の選定を実施している。			
— ∤	欠評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)			
		公共交通を利用する観光客ばかりでなく、交通弱者の市民の方などに利用を考慮して、平			
		成21年度から一日フリー乗車券の販売を開始し、利用者の増加を図っている。 通常、月曜日が運休日であるが、春・秋のイベント時には運行し、観光客の利便性を図っ			
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	ている。			

【ACTION】事務事業の改革・改善

3 ①改革•改善案 ②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法

フォローアップ 前年度の課題や問題点

オローアップ 前年度の課題や問題点	その他
前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
	☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
取組状況	☑ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
	名称
	□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 観光客動態調査の利用率からも、鉄道・定期バスを利用されて本市を
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	訪れる方のために現行どおり継続する必要がある。
	部内での位置付け	中 位	

平	成2	24年度笠	と 間市事務事	業	評	価調	小子!	戊23年度	実施	拖事業)						所属部語 課長2				5工観 博	光課
[PI	ΔΝ]事務事業	の計画							事務事	業釆.	문	32	2		担当者			守:		
111	-/ 11 N] 尹切 尹禾、	/ 7 円 円					評価区分	+	事務事業				的事業	補		听管省)				務事業
	事殺	事業名	観光案内所運	学 季	:計:	丰 業				重要事務			以水	. p. J 于 未 —	助		71 11 11 7	1			上順位
	T 1).	7 7 7 7 1	成为17/7/ 是	D Ø	С н ш -	F / N		評価事業	美 #	総合計画実				_	単	市単独					事業数
公公	政	政策	2.多彩な交流で新	(4) 大法でが関われて主要のよれば(4) 「主要」 新田、姚ケ										VIII 3	- /10/9/						
合	策	小政策	1. 笠間を体感							事 盟始	年度			了年度	区分	補助率					
計	体	施策	1. 観 光			.,	14 2 3242	(00.)		業							F 11	(41)	/-/- PP 5	en da lek	. ^
	系	小施策	3. 観光客受け	入才	ル体	制の充領	実			期不	明	早	14	度繰返し	共任	崔者・関	係団体	(社)	笠間額	観光協	会
=	予	会計	款		Į			目		細目名			関連	車計画							
1	第	一般	商工費		観)	七費	観光	£総務費	観光	総務標準	的事	業	根	処法令							
	斗												身	 E施手法		補助	金の有	無	負担	金の7	有無
	∄												す	べて委託			—			_	
			体概要及び背景		2			こ担当者が行	行う業	務内容及	び手	順)】		3【年			4【事				[額]
			案内所を設置し				委託の綺							利用者			委託料	2,83	35千円	9	
観	光客	の利用向上	を図るために観	光	当	·委託#	斗の支出	出(毎月)						窓口)	25,	154人					
			/ット配布・周辺(年度																
	审寺 する。		光協会に運営を	安	計																
пι	າ′⊶0				画																
						上記と	司様							利用者	数(電話・	(予算	領)			
					꽢									窓口)	25,	人000	委託料	2,83	35千円	9	
					年																
					度																
					計画																
					쁴																
5	事彩	事業の目的	りと手段																	単	位
			30 1 12									4	市	ī民数							人
	① 文 (新)	寸象 きかける相∍	F.+ (D)		市巨	已、観光	客					対象	ŧ	. 433.							
目	(制)	さかりの作っ	F•60)									指標									
的	②事	経事業の意	図(どのようにした	きしい	IR空	常間駅前	に観光気	ミ内所を設置	1. 観	光客の利用	自向	5		用者数	- le	ALC I					人
			態にしたいのか)			図る。	(- 1967 671	CI 1// CIXE	- C 1950	D		成果		国人利用	月者	数				,	人
												指標		託料						1	円
手			2 2		細斗	4安の利	田向上な	図るため、観	目光協	会に 運営を	·丢	6	\ ' 4	営日数							-
段	(3) E	的を達成する	するために実際	に	託。	P. P > 4.0	/ 14 1 J — C	- 戸 O/ C V/ 内	נעע בי כיי	~10ÆDC		活動	IJ	- H P 3A							
	打つ	こで「以话」	動(サービス)									指標	4								
(D	O】事	務事業の	実施			•				-				-							

事	 業費	及び	が指標の推移														
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	度(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財	県支出金	千円													
入	事	源内	地方債	千円													
コス	事業費	訳	その他	千円													
ト			一般財源	千円	2,835		2,835		2,835		2,835		2,835		2,835		2,835
			事業費計(ア)	千円	2,835		2,835		2,835		2,835		2,835		2,835		2,835
イン			職員割合	人 千円	0.02 150	0.02	150	0.02	150	0.02	150	0.02	150	0.02	150	0.02	150
ンプ	人		時間外	千円													
ッ	件		嘱託臨時	千円													
ト	費		他課の協力分	千円													
)			人件費計(イ)	千円	150		150		150		150		150		150		150
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	2,985		2,985		2,985		2,985		2,985		2,985		2,985
	指標区分			単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度(目標	
活	委記	托料		円	2,835,000	2,8	35,000	2,8	35,000	2,	835,000	2,8	35,000	2,8	35,000	2,8	35,000
動	運営	営日	数	目	362		363		362		362		362		363		362
指標																	
対免	市			人	79,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指																	
標																	
成田		刊者:		人	24,131		25,154		25,500		25,500		25,500		25,500		25,500
果指	外	国人	利用者数	人	71		26		50		50		50		50		50
標																	
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度	(実績)	24年		25	年度	26年		27年		28年	年度
	-		áたりの事業費	円	38		38		38		38		38		38		38
利月	刊者	<u>一</u> 人	当たりの事業費	円	124		119		117		117		117		117		117

	<u>:会情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 「務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及で	が社会環境	の変化(開始時期又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》					
	ical		7 2 13 (7)77 7797 (100) 13 (20 7)	(A. 11740) 5 7 1876 (A. 27)					
[CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)								
		て, 行政の貿	節囲は行政の役割から見て適切か?	また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
业	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当	当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつい	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性言作			笠間駅は鉄道での玄関口であるたる	め、観光案内所を設置することは必要である。					
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比	べてどうで	- あったか?工夫をすることで今後, 更	でなる成果向上ができるか?》					
有	④成果の波及効果《全市民, または多くの	市民や他の)施策への波及効果があるか?》						
化言作	世 ☑ 向上の余地がない		鉄道を利用する観光客には駅前と	/ ら立地条件のため、有効である。					
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずは	こ事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見	直し,市民の協力など)》					
交至	版 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに	人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直	直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性言作	T HINKON THE WAY		人件費分の業務委託のため、削減	の余地がない。					
_	- 次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地 有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地 効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある	本市を訪れる観光客は殆どが自家、観光地笠間としての親切な対応がよる	用車であるが、鉄道を利用して訪れる観光客のために、 と要である。					
[,	ACTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他					
(1	改革・改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の有無とその対策					
				☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる					
	〕改革・改善案を実現する上で克服するべき と題と解決方法	4取組	状況	 ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している 					

【PLAN】事務事業の計画

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 イベント時だけでなく、通年型観光地を目指すためにも観光案内所の役
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	割は重要なため、現行どおり継続していく必要がある。
	部内での位置付け	中 位	

平	成2	24年度笠	2間市事務	事業	評価調	小子!	成23年度	実	施事業	纟)					所属部		全業経済		
		事務事業		• •	P1 11-17	-	/			*, 务事業番	导	33			課長 担当者			 	
	<i>J.</i> 11.,	1 + 10 + 1N	笠間•吾国•	 		甲协祥	評価区分	†	事務	事業性質	質		的事業	補		听管省		実施計画	画事務事業
1	事務	事業名	会事業	愛石県	五日次公園	弘 协	評価事業	É		事務事業		-	_	助単	市単独				
.6.0	→1 .	政策	2.多彩な交流	で孤田。	トフエーキフ	女米の土				画実施計 見・継続	画	48	— 迷続	- 独				順位	事業数
総合	以 策		2. 多杉は交流 1. 笠間を体					未」		兄•祗祝 開始年度	ŗ.		TERTE	区分	補助率				
	体	施策	1. 観 光	7E. C.C.	ر المدار المواقع	/(C 1///)	(00)		業期				を繰返し		155 本 188	KIH	笠間・		上 岩県立
	系	小施策	2. 観光拠点	反びネ		の整備			間	不明				/ 共	催者・関	徐凹14	自然公	園協議	会
	予	会計	款		項細水井	ÆD V	1、公文化井	frio VI	細		- אוג		計画						
多禾	引	一般	商工費	7	観光費	観力	比総務費	観ガ	比総務費	標準的事	来		L法令施手法		補田	金の有	·# 1	負担金の	カ右無
1º													でて委託		冊卯	並 が行	***	三十二五	
1	【事剂	务事業の全	体概要及び	背景】	2 【事業計	画(主	こ担当者が行	丁うき	業務内容	容及び手	:順)		3 【年		標】	4 【事	事業費の	<u></u>	·算額)】
			以川市で協議				宕県立自然	公園	園協議会	への出	席			ング	参加者	負担会	全 557千	-円	
構足統	成し、	県立目然: キングコー	公園の施設の ・ス周知のたる	0修	当 • 負担金	金の支出	1						200人						
愕、キン	/ バ /グナ	ト会の開催	等により、普	及促	度														
	と図る				計														
					画														
					上記と	同様							ハイキ	ング	参加者	(予算	額)		
					翌 H24·2		は、笠間市が	協請	養会の事	罫務局			200人		, L		全 557千	-円	
					年														
					度計														
					画														
_	- -	***** ~ = 1	4))\\ /
5		事業の目的	りと手段							1	(4)	一击	民数						単位 人
	① *		エュの)		市民、ハイキ	ング参加	11者、団体関係	系者			対象		以奴						
目	(側で	きかける相手	手・もの)								指標								
的	②事	耳務事業の意	気図(どのように	したい	笠間•吾国愛	愛宕県立	自然公園地域	或の1	保護管理	及び観	⑤ 成身		イキンク		□数 ·ス利用⇒	女/把答			人
	のか	。どういう状	態にしたいのだ	32)	光事業の振	興と健全	な発展を図る) ₀			服き 指標		1477		一个们用。	白(7环5	早)		人
											(6)		議数						口
手段	3 E	目的を達成	するために実	際に	協議会で笠 繕及びハイ	間・吾国	愛宕県立自然	太公	園内の旅	配設の修	活動								
抆	行。	た行政活動	動(サービス)	Ī	一番及りハイ	イング人	云の夫旭。				指標	票 —							
(D	0]事	務事業の	実施																
_		及び指標の																	
		事業費	,	単位	22年度	(実績)	23年度(実統	績)	24年度	(計画)	25年	度(計	一画) 26	年度	(計画)	27年月	度(計画)	28年月	麦(計画)
		国届	車支出金	千円															
		財 ॥	古山人	4田															

事	業費	及び	指標の推移						_									
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	度(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事	源内	地方債	千円														
コ	業費	訳	その他	千円														
スト			一般財源	千円		557		557		557		357		357		357		357
_			事業費計(ア)	千円		557		557		557		357		357		357		357
イ			職員割合	人 千円	0.07	525	0.04	300	0.10	750	0.10	750	0.04	300	0.04	300	0.04	300
ププ	人		時間外	千円						•				•				
ッ	件		嘱託臨時	千円														
ト	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		525		300		750		750		300		300		300
	} -	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円		1,082		857		1,307		1,107		657		657		657
		扌		単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	度(目標)
活	会訓	義数		口		4		4		4		4		4		4		4
動指																		
指標																		
対	市月	圣数		人		79,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指																		
標																		
成甲	ノヘノ	/キ ン	グ参加数	人		0		100		200		200		200		200		200
果指	ハイ	キン	ブコース利用者(概算)	人		6,000		6,000		6,000		6,000		6,000		6,000		6,000
標																		
			コスト指標	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年	F度	254	年度	26年	F度	27年	三度	28	年度
市	天一	人当	たりの事業費	円		14		11		17		14		8		8		8
				円														

	会情勢の変化・市民ニーズの把握 変事業を取り巻く環境(対象や決会根拠及び社会F	環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
	年度東日本大震災によりハイキングは中止	水光·2女上(周州·明州人(30年前已)22起秋) 印以7 507志元(女主//
[(CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)	
	①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政	の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目	目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性評価		笠間・吾国愛宕県立自然公園地域内の保護管理には必要である。
		うであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
有效	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や	他の施策への波及効果があるか?》
性評		
佃		笠間・石岡・桜川、市民の健康増進のためのハイキング大会は有効である。
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業権	 骨を削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
郊率		を削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》
性		
評価	•	平成25年度には負担金の見直しを行う。
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	公計価格本 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	主 中枢伯 (派り返り,)久有点)
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	ハイキングコース内の保護修繕やハイキング大会を共同で実施することは有意義である。
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
[]	ACTION】事務事業の改革・改善フォ	トローアップ 前年度の課題や問題点 その他
1	改革•改善案 ③前	前年度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の方無との対策
		の有無とその対策
		☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動
		も含む)
	改革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法	図 他に手段がない 世紀 他に手段がある(事務事業名・活動名)

|--|

	 今後の方向性	現行どは	おり継続	評価理由 協議会に加入していることで、ハイキングなどの市民の健康増進や県立
総合記 (担当日	資源配分	現 状	維持	自然公園内の笠間地区、友部地区の自然保護団体などの事業を実施 している。
	部内での位置付け	中	位	

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)

所属部課名 産業経済部商工観光課 課長名 担当者名 清水 博 箱守 司郎 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号

1	事務	事業名	広域観光推進	事業				評価事業		重	要事務事	業	以火	— —	助出	市単独	/I B · E / J			先順位
											計画実施語			_	半独	111 42020			順位	事業数
	政	政策	2.多彩な交流で発						業]		新規·継続			継続	区	補助率				
	策	小政策	1. 笠間を体感	でき	る観	光•産業	業を振興	<u> します</u>		事業	開始年月	Ę	終	了年度	分	1111977				
	体	施策	1. 観 光							期	不明		単年	度繰返し	#4	崔者•関			間・大流	先観光
	系	小施策	4. 観光PRのチ	艺実		1				間					/\	E 1 1/3	協調	議会	外	
于	7	会計	款		邛	-	fam. I	<u> </u>			細目名			連計画						
第	Į.	一般	商工費	Í	観光	上費	観光	光総務費	観分	と総 務	S 費標準的	事業		拠法令						
和														実施手法		補助金	金の有無	負	担金の	有無
F														べて委託				<u>L.,</u>	0	
			体概要及び背景						行う	業務に	内容及び手	=順)		3【年度目標】 4【事業費の内容						算額)】
			い自然や伝統は			協議会			L					観光キャンペーン 負担金 2,180千円						
歴り	E.J	て化遺産なる	どの多様な観光					ペーンへの参加						回数 5	7 😐					
			現光客の誘致を			•負担金	全の文目	1												
			品の企画・造成 と振興を図る。	2	度計															
【構			1灰栗と凶る。		出画															
			先観光協議会																	
		5、水戸観光					司様			観光キー	ャン	ペーン	(予算額)							
		7、笠間観光				HBC1	3 1534							回数 6			負担金 2,	180=	f 円	
		丁、大洗観光			翌.												, , ,			
			キャンペーン協	議	年度															
会					度															
		产市町村			計															
		見光協会			画															
•県	内匍	見光関連団	本																	
5 }	事務	事業の目的	りと手段										. 1						<u>Ì</u>	単位
	文 ([)	対象				1 /m \/ -	5 m//	HH 175 -14				4		市民数						人
		きかける相手	手・もの)		巾氏	2、観光?	多、団体	関係者				対象								
的												指标		入込観光タ	→ **/-					人
			図(どのようにし								全国に紹	成り		八心既儿名	一奴					八
	のか	ゝ。どういう状!	態にしたいのか)		介、	宣伝し、	観光客の	の誘致拡大を	2図る)。		指標								
													4	キャンペー	ン数	Ţ				口
手	<u>ത</u> =	かかませゃ	ナスたみに中欧	17	観光	パンフレ	/ット、新	聞、ホーム〜	ર–૬	ジ等で	。 のPR。	⑥ 活動) -							
FIL	ジド	お行政活動	するために実際 動(サービス)	/ _	合同]キャン^	ペーン、(CMなどの発作	言を	実施。		石里 指棋								
	11,-	71二门 政伯男	y) () L /)									111	ボ				-			-

【DO】事務事業の実施

事業	 と費	及び	指標の推移															
			事業費	単位	22年度(美	 [積)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事業	源内	地方債	千円														
コス	事業費	訳	その他	千円														
スト	- 1		一般財源	千円	2	,258		2,180		2,180		2,180		2,180		2,180		2,180
-			事業費計(ア)	千円	2	2,258		2,180		2,180		2,180		2,180		2,180		2,180
イ			職員割合	人 千円	0.32 2	2,400	0.32	2,400	0.32	2,400	0.32	2,400	0.32	2,400	0.32	2,400	0.32	2,400
ンプ	人		時間外	千円		10		10										
ッ	件		嘱託臨時	千円														
7	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円	2	,410		2,410		2,400		2,400		2,400		2,400		2,400
	トー	タル	<i>、</i> コスト(ア) + (イ)	千円	4	,668		4,590		4,580		4,580		4,580		4,580		4,580
		指	f標区分	単位	22年度(美	 [績)	23年度	(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	キャ	ンペ	ペーン数	旦		50		57		60		60		60		60		60
I動指																		
指標																		
標																		
対	市巨	是数		人	79	,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指標																		
標																		
成	入记	観	光客数	人	3,281	,300	3,1	46,500	3,3	00,000	3,3	350,000	3,3	350,000	3,4	100,000	3,4	400,000
果指																		
標																		
			コスト指標	単位	22年度(美	 尾績)	23年度	(実績)	24年	F度	25年		26年	F 度	27年	F度	284	年度
市巨	- 5	人当	たりの事業費	円		59		58		58		58		58		58		58

一個	キャンペーン1回当	りの事業費	円	93,360	80,526	76,333	76,333	76,333	76,333	76,333		
審審審集を取り条、機能が対象や法令信息及び料金維持の変化(脅秘的類又は6年前との比較)・市技がよの意見や実施等にない。 [CHECK] 事務事業の一次評価(担当選集) ② 中央の連絡を出た、対象と変図の妥当生 (資的)対象と変図の対路を対象の多数から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か? 多					_							
【CHECK】	社会情勢の変化・ī	市民ニーズの把	捏									
【CHECK】 ** * * * * * * * * * * * * * * * * *		〈環境《対象や法	去令根拠	及び社会環境	の変化(開始時	期又は5年前との	比較)・市民から	の意見や要望》	>			
② で	13 (2.80)											
② で												
② 総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的(対象と意図)は総合計画と請びついているか?実施(社会機嫌の変化)に合っているか?別性性質					英国は行政の犯5	割ふと目で宮切ふ	のまたま足の辛	白めなるの面	建ふた日で宮切り	5 O N		
(正成工の) 事務事業の改革・改善 (本の方向性 ② 適切である) (正成果の方面と ② 次表で事業やキャンペーンを実施することは必要である。 (正成果の向上会地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか?》 (正成果の高上会地 《成果は、昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後、更なる成果向上ができるか?》 (国 向上の全地がない												
個 日産しの余能がある	性 (適切である	<u> </u>	C/E(E)	<u> </u>	(),1,3,10,16,16,17	и предпредпредпредпредпредпредпредпредпред		/EK (E E F F E F E F E F E E	×10/1-0 - 1	<i>317 1 11</i>		
一個	/m:				広域で事業やキ	テャンペーンを実力	施することは必要	である。				
30以果の波及効果(金市民、または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?) 1 向上の余地がない 1 向上の余地がない 1 向上の余地がない 1 向上の余地がない 1 向上の余地がない 1 向上の余地がない 1 協議会でのCM放送などは有効性がある。 3 の本業費の削減余地 (活動量を下げずに事業費を削減できないか?(生様や工法の見直し、市民の協力など)) 3 のの表の効率化等、業務等能や薬制雇用等)) 2 向減の余地がない 1 向減の余地がない 1 向減の余地がない 1 向減の余地がある 2 向減に事業を実施しているため、効率的である。 2 可能の余地がある 2 可能を示しているため、効率性 2 適切 2 直しの余地がある 2 可能を示しているため、効率性 2 適切 2 直しの余地がある 2 可能を示しているため、効率的で表しているため、効率的で表しているため、効率的で表しているため、効率的で表しているため、効率性 2 適切 2 直しの余地がある 2 可能を示しているため、第一で表しているため、第一で表しているため、第一で表しているため、第一で表しているため、第一で表しているため、第一で表しているといいので表しているといいので表しているといいので表している。 3 節数算事業との策略・連携の可能性 (民間活動し合き) 2 可能の事務事業や活動と観光を容易とで対象である 2 可能の事務事業や活動と観光を容易とない、既に連携している 2 可能の事務事業や活動と観光を含むい既に連携している 2 可能の事務事業や活動と観光を含むがない 2 可能の事務事業や活動と観光を含むがない 2 可能の事務事業や活動と観光を含むがない 2 可能の事務事業や活動と観光を含むがない 2 可能の事務事業を必要構成できない 既に連携している 3 可能の事務事業を必要がない 既に連携している 4 可能の事務事業を必要がない 既に連携している 4 可能の事務を必要がない 4 可能の事務を必	一 兄直しの赤											
###							更なる成果向上	ができるか?》				
価 □ 向上の余地がある	効性ロオルのなり		または多	/小川氏/小區/	加州、707仅仅为	の本 // - & // つ // - : //						
③事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や上法の見直し、市民の協力など)》 ③ の人件費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(生様や上法の見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》 ② 自 利減の余地がおる ② 自 見直しの余地がある 会体総括(集り返り、反省点) ② 自 見直しの余地がある 会体総括(集り返り、反省点) ② 見直しの余地がある 本町村単独では実施できない事業を広域で実施することにより、観光の権進が図れる。 本町村単独では実施できない事業を広域で実施することにより、観光の権進が図れる。 本町村単独では実施できない事業を広域で実施することにより、観光の権進が図れる。 本町村単独では実施できない事業を広域で実施することにより、観光の権進が図れる。 ② 一般本・改善業の改革・改善業 ② 一般主を改成し、 一般主を改成し、 一般主を改成し、 一般主を改ない 一般に手段がない 一般主を改成し、 一般主を改成し、 一般主を対策を終ることで対定できる 一般に手段がない 一般に手段がある(事務事業を・活動を) 金称 一般に手段がある(事務事業を・活動を) 金称 一般なより変し、 一般に手段がない 一般に手段がない 一般に手段がある(事務事業を・活動を) 一般に手段がない 一般に手段がない 一般に手段がない 一般に手段がない 一般などいとの一般に手段がない 一般などいとはできない・既に連携している 一般などのよりには、市町村単独のイベントのPRだけでなどのできなります。 本様を担めるとは、 「本様の関本 本様の関本	価				協議会でのCM	放送などは有効性	生がある。					
の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	□ □ 向上の余地	也がある										
世									₩ <i>₹₩</i> ₹. 32 d. ₩₩₩	三田(松)))		
日本の主要を実現する上で克服するべき 現在という生味的に手来を失過しているため、効率的しなから。			を下げて	ずに人件費を削	滅できないか?	(業務プロセスの別	見直し、個々の業績	めの効率化等,	業務委託や臨時	雇用等)》		
で、		地がない			負担金により全	県的に事業を実績	施しているため、 3	効率的である。				
必要性	¹	地がある										
有効性	一次評価結果				全体総括(振り)	反り, 反省点)						
ACTION] 事務事業の改革・改善	必要性 ☑	適切	し直しの名	全地がある								
ACTION	有効性 ✓	適切 □ 見	し直しの 名	全地がある	市町村単独では	は実施できない事	業を広域で実施	することにより、	観光の推進が図	れる。		
①改革・改善案 ②前年度の改革・改善案 ③事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策 ②影響は大きく,問題の発生が予想される □代替案や対策を採ることで対応できる ③類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) □他に手段がない □他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □統廃合や連携はできない・既に連携している	効率性 ✓	適切 □ 見	し直しの 名	全地がある								
①改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②財工・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②政革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②政革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取組状況 ②取用を表した。 ③取組状況 ②取組状況 ②取出表した。 ③取組状況 ②取出表した。 ③取組状況 ②取出表した。 ③取組状況 ②取出表した。 ③取出表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。 ④取記表した。	【ACTION】事務事	業の改革・改善	<u> </u>	フォロー	ーアップ 前年度	の課題や問題点	その他					
②改革・改善案を実現する上で克服するべき ①取組状況 ②改革・改善案を実現する上で克服するべき ②取組状況 ②改革・改善案を実現する上で克服するべき ②取組状況 ② 他に手段がない ○ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 ○ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる ○ 統廃合や連携はできない・既に連携している ○ 統廃合や連携はできない・既に連携している ○ なんまだに、市町村単独のイベントのPRだけでなく、 に なって アンドン アンドン アンドン アンドン アンドン アンドン アンドン アンド	①改革•改善案								した場合の成果	への影響		
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取進・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取進・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取進・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取進・改善案を実現する上で克服するべき 連携の可能性 (民間活動も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と銃廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している 『単価理由 学後の方向性 現行どおり継続 通年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでなる にもなつPRとしていくの異がある												
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取組状況 ②取組状							■ □ 影響に	は大きく,問題の そや対策を採る)発生が予想され ことで対応できる	る		
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取組状況 ②取組状												
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取組状況 ②取組状												
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ②取組状況 ②取組状												
②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ① 取組状況 ② では、 ではでのPRだけでなくには、 市町村単独のイベントのPRだけでなる (本体でPRを) ている (本の アルイル) (大板で PRを) でいる (本の アルイル) (大板で PRを) でいる (大板で PRを) でんな (大板で PRを) でいる (大板で PRを) でいる								美との統廃合・ 遠	- 連携の可能性(J	民間活動		
②取単・収音系を実現する上で見版するべき 課題と解決方法 ②取組状況 ②取組状況 ②取組状況 ②中心の事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している ③取組状況 □ 性に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 世の事務事業の計画 ○ 禁疫の方向性 現行どおり継続 □ 神の事務事業の計画 ○ 「はでPRをしている」 □ 中型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでなると、広域でPRをしている。								- CH (A)				
A称		実現する上で克	服する~	べき ④取組	状況				5事業名・活動名))		
【PLAN】事務事業の計画 今後の方向性 現行どおり継続 連年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでな	IN RECORD OF THE				名称							
【PLAN】事務事業の計画 今後の方向性 現行どおり継続 連年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでな												
今後の方向性 現行どおり継続 評価理由 通年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでな							□ 統廃台	合や連携はでき	ない・既に連携し	ている		
今後の方向性 現行どおり継続 評価理由 通年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでな												
今後の方向性 現行どおり継続 評価理由 通年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでな												
今後の方向性 現行どおり継続 評価理由 通年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでな	<u> </u>			<u> </u>			<u> </u>					
今後の方向性 現行どおり継続 評価理由 通年型観光地を目指すためには、市町村単独のイベントのPRだけでな	【PLAN】事務事業の	の計画										
世十至観儿地を目指すためには、中町利単独のイベンドのFRだけでは、			 旬性	 現行と	おり継続	- 通ケ刑細火44 	お日指オをめた		ー 油のイベントのDE	だけでわ		
(担当部長) 質你能分	総合評価	資源配分	ं	現場	犬 維 持				ا ۱ ۱ م. ا م. ا م. است	11-17 C'A		

中

部内での位置付け

位

平	成2	24年度笠	E間市事務事	業	評化	西調 書	事(平月	戈23年度	実	施事	(業)					所属部語 課長2			新商工 青水 博	観光課
l Di	ΑΝ]事務事業(の計画								事務事業番	문	35			担当者			3 /	:
111	_/\I\		/ノロ 凹					評価区分	4		務事業性質			勺事業	補		70 听管省F			事務事業
	重 彩	等業名	笠間のまつり事	二类							要事務事業		以 水口) 扩末 -	肋	, ,	ЛББ	1		先順位
	T 1).	7 7 70	五国の8 27年					評価事業			計画実施計)	単	市単独				事業数
公公	政	政策	2.多彩な交流で発	で翻須	よる活	5力ある	産業のま	ちづくり「産	業〕		新規·継続		継	-	独	I b m I I I				
合	策		1. 笠間を体感						////	事	開始年度	:	終了		区分	補助率			38	40
計	体		1. 観 光		W 170	.,	14 2 3245	(00.)		業							F = 11.	笠間0	つまつりま	2行委
画	系		5. イベントの充	実						期間	НЗ	4	単牛皮	繰返し	共作	崔者•関	係団体	員会		1112
=	予	会計	款		邛	Į		目		ź	細目名		関連	計画						
1	第	一般	商工費		観光		観光	2総務費	空	を間の	りまつり事業	de de	根拠	法令						
	斗													施手法		補助	金の有	無	負担金0)有無
	1													で委託			0		_	
			体概要及び背景								内容及び手	順)】		3【年					内容(決	算額)】
			りあげ、誰でも参					実行委員会						入込客	数	38,000	補助金	7,290	0千円	
でき	きるす	「民参加型の	の祭りとして、平	成				行委員と業			隽			人						
			光のオブジェ(オ ードが開催され				司として言 をの支出	笠間のまつ	りのき	夫肔										
かり		₹男/////レ	一トか用作され	, (注計	• 柵助兮	屋の又口	ì												
۷٠٠	νo				画															
					124															
						上記と	司様							入込客	数	39,000	(予算智	須)		
					꽢									人			補助金)千円	
					年															
					度															
					計															
					画															
5	重 教	等業の目的	カレ 毛段																	単位
J			几十八									(4)	市月	子数						人
		付象	- 1 -1		市民	、観光						対象		~ ~ ~ ~						/\
目	(動	きかける相手	手・もの)		.,		-					指標								
的	の 重	変重業の音	:図(どのようにした	÷1. \	市民	白らの	モで創り	ながる古足的		会談	た作り だ	(5)		∆客数						人
	_ ,		態にしたいのか)					民総参加型の				成果	参加	叩団体数	汝					団体
		0 0 0 0 0 0 0 0			,,,,	O >> /4H	- C D 1111	AND MAT.	- 5	,	/ WE / WO	指標		n 47. 367						
工					+ P	の名tin	アトフル	籠流しと光の		253	D 10 1 10	6	BB /	旧者数						人 日
手段			するために実際		では		によると	龍流しと元り	コスノ	ンエ	ハハレート	活動	J	崔日数_						P
+1	行:	った行政活動	動(サービス)		[الرا ت	1120						指標	Ę							
(D	()]重	野務事業の	主 施																	
_		及び指標の																		

事	業費	及び	が指標の推移								
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財	県支出金	千円							
入	事	源内	地方債	千円							
コス	事業費	訳	その他	千円							
ト			一般財源	千円	7,290	7,290	7,290	7,290	7,290	7,290	7,290
			事業費計(ア)	千円	7,290	7,290	7,290	7,290	7,290	7,290	7,290
イ			職員割合	人 千円	0.55 4,125	0.55 4,125	0.55 4,125	0.55 4,125	0.55 4,125	0.55 4,125	0.55 4,125
ププ	人		時間外	千円	530	530	530	530	530	530	530
ッ	件		嘱託臨時	千円							
7	費		他課の協力分	千円							
)			人件費計(イ)	千円	4,655	4,655	4,655	4,655	4,655	4,655	4,655
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円	11,945	11,945	11,945	11,945	11,945	11,945	11,945
		ŧ	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活		川者		人	1,443	1,422	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
動	開作	崔日	数	目	2	2	2	2	2	2	2
指標											
対免	市	圣数		人	79,409	78,862	78,862	78,862	78,862	78,862	78,862
象指標											
標											
成里		込客		人	39,000	39,000		40,000	40,000	40,000	40,000
果指	参加	加団	体数	団体	37	35	40	40	40	40	40
標											
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	-		áたりの事業費	円	150	151	151	151	151	151	151
入ì	込客	数一	一人当たりの事業費	円	306	306	299	299	299	299	299

		☆情勢の変化・市民ニーズの把握	
	,		の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
-	守(たなし	
	(CI	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)	
Ī		①行政関与の必要性《目的達成に向けて, 行政の範	色囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
	必要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的((対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
1	性評	☑ 適切である	誰でも参加できる市民参加型の夏まつりとしては必要である。
	価	□ 見直しの余地がある	
	, .	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうでも	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか ? 》
	有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	施策への波及効果があるか?》
	性評	□ 向上の余地がない	実行委員によるの呼びかけやPRにより、友部・岩間地区の参加者を拡大し、まつりの効果を
4	価	☑ 向上の余地がある	
		⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を問	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
	効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
- 11	性 評	☑ 削減の余地がない	まつりの実行委員会は、民間で構成されており、ボランティアでまつりを運営している。
	価	□ 削減の余地がある	補助金のほかに広告費や寄付金を募り運営資金としているが、近年の経済状況の下、この種の資金確保が難しい状況にある。
-	− ∤	で評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
		必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
		有効性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	実行委員会ではまつりの準備などにも限界があるため、地域ポイント制度を活用したボラン ティアの参加が必要である。
		効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	

【ACTION】事務事業の改革・改善 ①改革・改善案

・実行委員の友部・岩間地区からの参加 ・市民参加型のまつりとしてのボランティアの 参加

②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法 ・実行委員の呼びかけなどによる参加者の募 集

フォローアップ 削年度の課題や問題点
③前年度の改革・改善案
④取組状況
·

その他
⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策

☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる

地域の活性化の衰退

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

☑ 他に手段がない

□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

1 Di II I F 1/1 F /C			
	今後の方向性	改善し,継続	評価理由 東日本大震災の復興のためにも地域を活性化し、問題点を整理しなが
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	ら継続していく必要がある。
	部内での位置付け	中 位	

事務事業の計画	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)											観光課								
事務事業名 物まつり事業 評価区分 事務事業性質 政策的事業 前世 所管省庁 深島計画 前世 加申 前世 加申 加申 加申 加申 加申 加申 加申 加	[PI	PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 36 担当者名 箱守 司良																		
接換 2 2 2 2 2 2 2 2 2								評価区分	分				政策	的事業		月 月	听管省庁	:	実施計画	「事務事業
大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田		事務	事業名	菊まつり事業				証価 重業						_	助	古単独				
総 政			-al linka	- 6-712 1315 :=			the ville		养			十画		\sim	強	山中流			順位	事業数
計 体 施策 1. 観 光	総	政										=			区	補助率	浦助率			40
画 系	台計				じざる何	観朮・座	美ど振 男	 単 開始年 業			開始年度	Ž	於	「年度 分 一				KK BB A	本まった	小年初
一般 商工費 観光費 観光振興費 類まつり事業 根拠法令 東施手法 補助金の有無 負担金の有 日 一					宝								単年	度繰返し	共作	崔者・関	係団体	立則の協議会	*************************************	ル理船 関花会
1 【事務事業の全体概要及び背景】 2 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3 【年度目標】 4 【事業費の内容決算						項		IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII		1	細目名		閣;	車計画				W/ HX	× 1107	19 10 23
日	貨	算		-			観光													
1 【事務事業の全体概要及び背景】 2 【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3 【年度目標】 4 【事業費の内容(決算					-						·					補助	金の有無	. 1	負担金の)有無
・空間の菊まつり連絡協議会の事務局 ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・空間の菊まつり連絡協議会の事務局 ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内の菊装舶及び撤去(10月中旬~11月下旬) ・市内		•															0			
市民参加型で永続的な菊まつりとして開催することを目的に、関係機関により設立した。 協議会によるテレビ・新聞社・旅行会社等へのキャンペーンを行い、観光客の誘致に努めている。												-順)				標】				算額)】
目的的 ①対象 (働きかける相手・もの) 市民、観光客 市民、観光客 市民、観光客 市民数 分象 指標 信標 信標 信標 信標 信息 公司 ため、「市民が期まつりを通じて、積極的なまちづくりへの参 画意欲の高揚を図るため、「市民参加型」で「永続性」のか。どういう状態にしたいのか) ① 入込客数 人 成果 指標 信標 信息 のあるまつりを実施する。 人 本ヤンペーン数 原理 (で会社等へのキャンペーンを行い、観光客の誘致に を で会社等へのキャンペーンを行い、観光客の誘致に を で会社等へのキャンペーンを行い、観光客の誘致に に たいのおり は は ない の まない	市民参加型で永続的な菊まつりとして開催することを目的に、関係機関により設立した。 協議会によるテレビ・新聞社・旅行会社等へのキャンペーンを行い、観光 客の誘致に努めている。 上記と同様 上記と同様 上記と同様 上記と同様 上記と同様 大込客数 780,000人 「常期 1,563千円 役務費 6千円 委託料 2,196千円 補助金 3,000千円 「予算額」 報閲費 353千円 需用費 1,563千円 役務費 6千円 委託料 2,196千円 補助金 3,000千円 「予算額」 報閲費 353千円 需用費 1,591千円 役務費 7千円 委託料 4,800千円 賃借料 300千円																			
Tex に	5	事務	事業の目目	りと手段									1.	· D *k						単位
目的 (割きかりる相手・600) 指標 ②事務事業の意図(どのようにしたいのか) 市民が菊まつりを通じて、積極的なまちづくりへの参画意欲の高揚を図るため、「市民参加型」で「永続性」のあるまつりを実施する。 5 手口 ③目的を達成するために実際に 笠間の菊まつり連絡協議会によるテレビ・新聞社・旅行会社等へのキャンペーンを行い、観光客の誘致に 6 活動 用催期間 日	□ □ 対象 □ ま 対										八									
②事務事業の息図(とのようにしたいのか) 画意欲の高揚を図るため、「市民参加型」で「永続性」 成果 指標 のあるまつりを実施する。	目(側さかりる相手・もの)																			
手 翌間の匊まつり連絡協議会によるアレビ・新聞住・旅 1	②事務事業の息図(とのようにしたい) 画意欲の高揚を図るため、「市民参加									成身	果							人		
THE WAY	T ③目的を達成するために実際に 行会社等へのキャンペーンを行い、観光客の							活動	動開		·ン数	τ				日日				
【DO】事務事業の実施	D	0]事	務事業の	実施																

事業費及び指標の推移																	
			事業費	単位	22年度(実績) 23年	连度(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	E(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財	県支出金	千円													
入	事業費	源内	地方債	千円													
コ	老費	訳	その他	千円	35	4											
スト			一般財源	千円	8,16	1	6,939		10,051		10,000		10,000		10,000		10,000
			事業費計(ア)	千円	8,51	5	6,939		10,051		10,000		10,000		10,000		10,000
イン			職員割合	人 千円	0.86 6,45	0.5	5 4,125	0.55	4,125	0.55	4,125	0.55	4,125	0.55	4,125	0.55	4,125
プ	人		時間外	千円	64	8	600										
ッ	件		嘱託臨時	千円													
1	費		他課の協力分	千円													
			人件費計(イ)	千円	7,09	8	4,725		4,125		4,125		4,125		4,125		4,125
	}-	ータルコスト(ア)+(イ)		千円	15,61	3	11,664		14,176		14,125		14,125		14,125		14,125
			旨標区分	単位	22年度(実績	23年	E度(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	E(目標)
活	キャンペーン数 開催期間			口	3	3	35		40		40		40		40		40
動指				日	3	9	40		44		40		40		40		40
指標																	
対色	市	民数		人	79,40	9	78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
対象指																	
標																	
成里	入ì	入客	数	人	775,00	0	770,000	8	00,000	8	800,000	8	300,000	8	300,000	1	800,000
成果指																	
標																	
			コスト指標	単位	22年度(実績		医(実績)	24年		254	年度	26年		27年		284	年度
			新たりの事業費 1	円	19		148		179		186		186		186		186
キャ	ンノ	% —;	ン1回当りの事業費	円	473,12	1	333,257	3	54,400		368,125	3	68,125	3	68,125		368,125

礻	+4	≳情勢の変化・市民ニーズの把握						
E	事彩	寄事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境	色の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》					
禾	旨存	苛門前通りなどの菊装飾の充実						
<u></u>	CI	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)						
r			範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
1	丛	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	· (対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
4	生泙	☑ 適切である□ 見直しの余地がある	笠間の秋を代表するイベントであるため必要である。					
		③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうで	」 あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
7	有	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の						
3	沙生 平	□ 向上の余地がない						
1			菊花の装飾を工夫することで更なる成果の向上を図る。					
	щ	☑ 向上の余地がある						
		⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》					
2	辺 軽	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	川減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
4	生泙	□ 削減の余地がない	業務委託の見直しにより、事務の軽減を図り人件費の削減を行う必要がある。					
	西	☑ 削減の余地がある						
	Y/							
	-	文評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)					
		必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある						
		有効性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	市内の菊装飾を充実させるとともに、マスコミ等に情報を発信してPRを強化する必要がある。					
		効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある						
L	Λ.	CTION】事務事業の改革・改善フォロー						
			き度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響					
		イン会場周辺の菊花装飾の工夫を図る。	の有無とその対策					
-	メ	イン会場、サブ会場、サテライト会場と連携	☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される					
Ţ	<u>^</u>	市内の回遊性を図る。	□代替案や対策を採ることで対応できる					
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動					
			も含む)					
(2	2)2	女革・改善案を実現する上で克服するべき	☑ 他に手段がない					
		文章・収音系を実現する上で兄服するべき 重と解決方法	出状況 □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					

	今後の方向性	改善し	,継続	評価理由 日本で最も古い菊の祭典で伝統があり、さらに笠間を代表する秋のイベ
総合評価 (担当部長)	資源配分	拡	充	ントでもあるため、菊の装飾やPRの強化を図りながら継続していく必要がある。
	部内での位置付け	上	位	

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)

課長名 担当者名 清水 博箱守 司郎 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 37

所属部課名 産業経済部商工観光課

[PLAN] 事務事業の計画						1 22 1 21 1 2								1 口口口		
				_	評価区分		事務事業性質		政策的	的事業	補	月	听管省庁			事務事業
=	事務事業名	つつじまつり事	業		評価事業		重要事務事業		_	_	助単	市単独				先順位
					叮Щザ未	総合	合計画実施計	十画		C	単独	山中弧			順位	事業数
総		2.多彩な交流で飛					新規·継続			続	区	補助率			29	40
合	策 小政策	1. 笠間を体感	できる観光・産業	ぎを振興 しんりょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	!します	事	開始年度	Ę	終了	年度	分	冊切牛			23	40
		1. 観 光				業期	S46	¥	4 年 由	操返し	#:/	佐老. 思	係団体 (計) 处	問細火	力△
画		5. イベントの充				間		_			77 1	住日 医	州四州	111/11/11	1月 1年北ノレ	加云
子		款	項		目		細目名		関連計画							
算		商工費	観光費	観光	法與費	2	つじ祭り事業		根拠法令							
科									実施手法			補助	金の有無	1	負担金の	有無
目										直営			_		0	
		体概要及び背景			2担当者が行			順)		3 【年月			4 【事業			算額)】
・癒光陶行る【・※の・	*料金徴収員の手配及び賃金の支払い *大多の誘客を図っていく。 *料金徴収員の手配及び賃金の支払い *・他事の開催 *市内のつつじ装飾及び撤去 *まつり関連業務委託の締結 *まのり関連業務委託の締結 *まのり関連業務委託の総計 *まのり関連業務委託の総計 *まのり関連業務を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を									· 用 · 用 · 用 · 用 · 用 · 用 · 用 · 用						
5 🖣	事務事業の目的	りと手段							 	→ 14.7 ·						単位
目	①対象働きかける相号	手・もの)	市民、観光客	Ş.				④ 対象 指標	Į	民数						人
		t図(どのようにした 態にしたいのか)	さい 笠間を代表す えるまつりとし					⑤ 成果 指標	入記	込客数 園料						月
	③目的を達成 [~] 行った行政活動	するために実際(動(サービス)						⑥ 開催日数(準備・片付け含む) 活動 指標					部			

【DO】事務事業の実施

事	事業費及び指標の推移																
			事業費	単位	22年度(実績	23年	度(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円													
投		財源	県支出金	千円													
入	事業費	源内	地方債	千円													
コス	表費	訳	その他	千円	333	2											
ト	- ,		一般財源	千円	6,09	2	6,327		7,049		7,000		7,000		7,000		7,000
_			事業費計(ア)	千円	6,42	1	6,327		7,049		7,000		7,000		7,000		7,000
イ			職員割合	人 千円	0.63 4,72	0.78	5,850	0.78	5,850	0.78	5,850	0.78	5,850	0.78	5,850	0.78	5,850
プ	人		時間外	千円	84	5	800										
ッ	件		嘱託臨時	千円													
卜	費		他課の協力分	千円													
			人件費計(イ)	千円	5,57)	6,650		5,850		5,850		5,850		5,850		5,850
	} -	ータル	レコスト(ア)+(イ)	千円	11,99	1	12,977		12,899		12,850		12,850		12,850		12,850
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績	23年	度(実績)	24年度	(目標)	25年度	(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	開催	呈日数	文(準備・片付け含む)	月	5)	50		50		50		50		50		50
動	パン	ノフレ	/ット作成部数	部	25,00)	25,000		25,000		25,000		25,000		25,000		25,000
指標																	
対	市月	民数		人	79,40	Э	78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指																	
標																	
成里		2客	数	人	58,73	3	60,596		61,000		61,000		61,000		62,000		62,000
果指	入圆	園料		円	12,544,44	13	,346,860	13,5	500,000	13,5	500,000	13,5	00,000	13,5	00,000	13,5	500,000
標																	
			コスト指標	単位円	22年度(実績		度(実績)		手度	25 ⁴	F 度	26年		27年			
市	ド民一人当たりの事業費				15	1	165		163		163		163		163		163

T										
開催(準備・片付け含む)1日当りの事業費	円	239,880	259,540	257,980	257,000	257,000	257,000	257,000		
社会情勢の変化・市民ニーズの把握事務事業を取り巻く環境《対象や法ゴールデンウィーク中の駐車場不足	令根拠及び		の変化(開始時期)	又は5年前とのよ	七較)・市民からの	の意見や要望》				
【CHECK】事務事業の一次評価(担	水									
①行政関与の必要性《目的達		行政の範	造囲は行政の役割 が	いら見て適切か	?また市民の意	向や社会の要詞	青から見て適切	カュ?》		
型 ②総合計画との整合性, 対象と	意図の妥当	性《目的((対象と意図) は総合	合計画と結びつ	いているか?実	態(社会環境の	変化)に合って	いるか?》		
性 評 価 □ 見直しの余地がある			笠間を代表する春	のイベントである	るため必要である	పం				
3成果の向上余地《成果は、明	作年度と比べ	にどうで お	あったか?工夫をす	ることで今後,	更なる成果向上	ができるか?》				
(4成果の波及効果《全市民,ま	たは多くの市	i民や他の	施策への波及効果	具があるか?》						
性 評			駐車場を確保する	ことにより、更な	る集客が図れる	'o				
⑤事業費の削減余地 《活動量	を下げずに	事業費を開	削減できないか?(仕様や工法の身	見直し,市民の協	易力など)》				
効 ⑥人件費の削減余地 《活動量を	を下げずに人	、件費を削	減できないか?(業	務プロセスの見	直し,個々の業績	务の効率化等,	業務委託や臨時	序雇用等)》		
性 評			業務委託の見直し	により、作業の	軽減を図り人件を	費の削減を行う	必要がある。			
一次評価結果			全体総括(振り返り), 反省点)						
有効性 □ 適切 ☑ 見ī	直しの余地が 直しの余地が 直しの余地が	ぶある	駐車場の確保や誘導案内板などつつじ公園周辺の整備を行い、来園者の受け入れ体制が整えば指定管理者制度の導入を検討する必要がある。							
【ACTION】事務事業の改革・改善		フォロー	-アップ 前年度の	課題や問題点	その他					
①改革•改善案			度の改革・改善案			だを休止,廃止し の対策	た場合の成果	への影響		
・駐車場の確保・駐車場への案内の充実・将来的に指定管理者制度の導入					☑ 影響は	は大きく,問題の そや対策を採る	発生が予想され ことで対応できる	13 3		
②改革・改善案を実現する上で克用 課題と解決方法 ・駐車場用地取得の検討 ・誘導案内板の整備	及するべき	④取組	状況		も含む)	きとの統廃合・連手段がない を段がある(事務 「務事業や活動 「冷や連携はでき	事業名・活動名	影ができる		

	今後の方向性	改善し,継続	評価理由 笠間の春を代表するイベントであるため、慢性的な交通渋滞と駐車場不
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	足の問題などがあるが、課題を改善し継続する必要がある。
	部内での位置付け	中 位	

平	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 所属部課名 産業経済部商工観光課 課長名 清水 博																				
-		事務事業			• • •						事務事業看	€号	38				課長 ² 担当者				3
								評価	区分	事	事務事業性質		≢設・碧	整備事		補		听管省庁		実施計画	画事務事業
	事務	事業名	恋人の聖地	也整備事	業			1 評価	事業		要事務事		-			助単	市単独				
		.1 64.								_	計画実施語		-			独	111 +122			順位	事業数
総	政	政策	2.多彩な交流								新規・継続			継続		区	補助率				
合	策	小政策	1. 笠間を体	本感でき	る鶴	見光・産乳	葉を振り	見します	•	事業	開始年月	支	終」	4年度		分				We tile N	2 10 000
計画	体系	施策 小施策	1. 観 光 2. 観光拠	占ねてドー	ا بر خ	ワーカの	の敷供			期	H22		F	123	9	共催	雀者・関	係団体	恋人の 委員会	型地つ	くり実行
	予	会計	之, 鰕儿娅,	以及い		<u>(ソークリ</u> 頁	プ発加	E E		間	<u></u> 細目名		閻垣	自計画	î				女只云		
貨	J´ 气	一般	商工費			<u>~</u> 光費	観光	 比総務書	事 恋人			纟(繰越		L法令							
禾	章 斗	724	11-7		1747		1,500	242 333 2						施手			補助	金の有無	無	負担金(の有無
E	1													直営				_		_	-
			体概要及び		2						内容及び手	[順]			年度			4 【事			·算額)】
			ンターが地		NI2				小の設						EのE	亡人	場者	報償費	498千	·円	
			対策への貢献 恋人の聖地		当年	•	ン聖地モ	ニュメ	/トの除	幂 式				数	,990	Į.		需用費 委託料			
			忍人の宝児		生度									230	,990	人		安配件	10,23	011	
			定されたこと		計																
			インにシンボ	ドルとな	画																
るモ	-==	メントを設け	直した。															(予算額	5)		
					갶													()′异创	₹/		
					牟																
					度																
					計																
					画																
5	事移	事業の目的	りと手段		<u> </u>																単位
	(1)対		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									4	市	民数							人
		リ豕 きかける相=	手・キぃの)		市月	民、観光名	客					対象	=								
目的	(125)	- 17 WIH	1 0,5/		uπ' -#	- ~ hu \/	V/m Naz 3- al/	<i>4/</i> ++:1 →	4l. 9e m. 1	-7 -	1 1 = 1-10 -	指標		#: <i>D</i>	r. 1 .	ᄪ	之 <i>米</i> 人				
山			図(どのよう)								とにより、来	⑤ 成果		芸の」	正人.	歩 て	1 数				人
	のか。どういう状態にしたいのか) 訪者の回遊性 つなげる。							と滞留時間を高め地域経済の活性化に 成果 指標				喜									
_												モ	ニュメ	シト	制作	費				円	
手段	3 1	目的を達成す	のシンボ	ルとなる	テニュメ	ントを	設置。	活重													
权	行~	た行政活動	動(サービス)								指標	Ē								
(D	○]]事	務事業の	実施																		
事	養費	及び指標の)推移																		
		事業費	,	単位	<u>ſ</u>	22年度	(実績)	23年度	E(実績)	244	年度(計画)	25年	度(計	画)	26年	度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	£(計画)
		国届	直支出金	千円]																
Lm.			支出金	千円																	
投入		源	也方債	千円																	
ハコ	業費	P3	その他	千円																	
コス	賀	H/ C	 般財源	千円			991		11,203	1											
ト		事業費		千円							0			0			0		- 0		0
7						0.00	991	0.10	11,203	-	0			0			0		0		0
ン			割合		円	0.28	2,100	0.10	750		0			0			0		0		0
プ	人		間外	千円						1											
ツ	件費		臨時	千円				<u> </u>		1											
ト	貝		協力分	千円																	
			計(イ)	千円			2,100		750	1	0			0			0		0		0
	トー	-タルコスト		千円			3,091		11,953	4	0			0			0		0		0
		指標区分		単位	<u> </u>	22年度	(実績)	23年度	E(実績)	244	年度(目標)	25年	度(目	[標]	26年	度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	£(目標)
活	モニ	ニュメント制作	乍費	円			0	9,	838,500												
動																					
指																					
標								l													
対	市月			人			79,409	i	78,862												
対象指				, ,			, ·		,												
指標																					
成成	丁±	芸の丘入場	老 数	人		-	203,800	 	236,990	\vdash											
成果指		- 、 ・ / ユエノ <i>**/別</i> ・	H 3/A	八			200,000		200,000	1											
指								 		1											
標		コスト指	△抽))	位.	22年度	(字法)	のたせ	F (中体)		24年度	0	5年度	±	-	oc /=	: 由:	27年	:由	0.0	年度
		コストむ	日本	里	417.	14415	(一天)和	■ ∠3 平 尺	- (一大)相)		44十/支		リール			26年	*/ - 2	217	→/ - 2	78	' -1- ' -7- ' -7-

市民一人当たりの事業費

円

円

39

152

事	会 <u>情勢の変化・市民ニーズの把握</u> 務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境 になし	色の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》						
	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)							
		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》						
必要		(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》						
性評価		笠間市が陶芸の里かさまとして恋人の聖地に認定されたことにより、シンボルとなるモニュメントは必要である。						
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで	」 あったか?工夫をすることで今後, 更なる成果向上ができるか?》						
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》						
性評価	☑ 向上の余地がない□ 向上の余地がある	モニュメントの完成により、除幕式を行ったことは笠間市のPRになり有効であった。						
効率		削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》 則減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》						
性評価	☑ 削減の余地がない□ 削減の余地がある	平成23年度で事業の完了。						
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 ☑ 適切 見直しの余地がある 有効性 ☑ 適切 見直しの余地がある 効率性 ☑ 適切 見直しの余地がある	恋人の聖地のシンボルであるモニュメントへの来場者が、市内の観光施設及び商業施設の 回遊により交流人口の増加をを図り、最終的には定住人口の増加を期待する。						
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他						
		度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響						
		の有無とその対策 ☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される □ 代替案や対策を採ることで対応できる						
_	改革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法	(⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動も含む) ☑ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) 名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 統廃合や連携はできない・既に連携している						

		PLAN	事務事業の計画
--	--	------	---------

	今後の方向性	事業	完了	評価理由 恋人の聖地のシンボルとなるモニュメントへの誘導案内板などのPRが今
総合評価 (担当部長)	資源配分		-	後別事業で必要である。
	部内での位置付け	中	位	

平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業)																
		】事務事業(, , ,,,,,,,				,, ,,,	事務事業番	동문	39		担当			司郎
11	<i>II</i> 11 V		/ZIII [6]				評価区分	}	事務事業性質		政策的事	業		所管省庁		実施計画事務事業
:	事務	事業名	恋人の聖地	(陶芸の里	しかさま)	事業			重要事務事業		—	1				部内優先順位
							評価事業	色	総合計画実施計	十画	0	<u> </u>	市単独	7		順位 事業数
総	政	政策	2.多彩な交流	で飛躍する	活力ある	産業のま	ちづくり〔産	業〕	新規・継続		継続		三 補助率	ē		30 40
合	策	小政策	1. 笠間を体	感できる勧	観光・産業	業を振興	則ます		事 開始年度	艺	終了年	度	分開助等			
計	体	施策	1. 観 光						乗 期 H22		単年度繰	返]	共催者・関			2地づくり実行
	系	小施策	2. 観光拠点			つ整備	H		間				VIET D	委	員会	
7		会計	款		項 业 弗	左日 バ	1 (4) (3) (4)	ate Lan	細目名	-th- M/s	関連計					
多禾	礼	一般 商工費 観光費 観光総務費 恋人の聖地(陶芸の里かざま)事業 根拠法令 実施手法 補助金の有無 負担									担金の有無					
1 E																
		「務事業の全体概要及び背景」2【事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4【事業費の内容(決算額)										\circ				
			ンターが地域			ページ		17/	4371747601	/US/ ,		1 1 /2		需用費 8		71 (DC) # 10() 1
性化	上及	び少子化対	策への貢献	を目当	•恋人0)聖地へ	ぶり実行委,	員会の	の開催					役務費 3	0千円	
			恋人の聖地			をの支出			Lista					使用料 1		_
り事業において、県内で唯一「陶芸の」度 ・補助金(北山公園イベント)の支出 負担金 158千円 里かさま」として選定された。 計											-					
里かさま」として選定された。 計 補助金 300千円 「恋人の聖地」に選定されたことによ 画											1					
り、笠間市の知名度向上、結婚支援																
付力	口価値	値化、市内	の観光施設及	支び		ページ								(予算額)		
			により交流人		・恋人の		びり実行委 _.	員会(の開催					需用費 8		
増力	山等	を図る。		年度		をの支出	1							役務費 6 使用料 2		
				計										負担金 1		9
				画										7,132. 1	00 1	•
5	事務	事業の目的	りと手段									7.				単位
	次①			+	民、観光名	5				④ 対象	11.6 4.79	Σ				人
目	(働き	きかける相手	手・もの)	1111	C、 (≙*				指標	季					
的	⊕	でなす光の立	- W (1800 F317	7 走 1、「恋	三人の聖地	也」に選定	ごされたこと に	より、	笠間市の知名	5		トショ	ップ数			店
	②事務事業の息凶(とのようにしたい 度向上、結婚支援付加価値化、市内の観光施設及び 成果															
		0 0 0 0 0 0 0 0		間					別等を図る。	指標						
垂				+-			行委員会の記せるためのせ		トショップを募	6		注貝芸				口
手段			するために実	際に集。	102回班	エマ ひ/こ	E-0/2000	71,	1マコンノで券	活動						
,, -	行つ	た行政活動	動(サービス)	ホー	ームページ	ジを開設	0			指標	宗					
(D)]事	務事業の	実施													
事業	美費/	及び指標の)推移													
		事業費		単位	22年度	(実績)	23年度(実	績)	24年度(計画)	25年	度(計画)	26年	度(計画)	27年度(計	画) 2	28年度(計画)
		国局	古山人	土 田												

事	5業費及び指標の推移										
			事業費	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財	県支出金	千円							
入	事	源内	地方債	千円							
コ	事業費	訳	その他	千円							
スト			一般財源	千円	991	515	232	232	232	232	232
-			事業費計(ア)	千円	991	515	232	232	232	232	232
イ			職員割合	人 千円	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125	0.15 1,125
ンプ	人		時間外	千円		,					
ッ	件		嘱託臨時	千円							
卜	費		他課の協力分	千円							
)			人件費計(イ)	千円	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125	1,125
	トータルコスト(ア)+(イ)		千円	2,116	1,640	1,357	1,357	1,357	1,357	1,357	
	指標区分		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
活	実行	亍委.	員会	口	10	2	2	2	2	2	2
動											
動指標											
対	市月			人	79,409	78,862	79,000	79,000	79,000	79,000	79,000
象指											
標											
成田	サオ	パー1	トショップ数	店	9	9	10	12	12	14	14
果指標											
標											
			コスト指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
			áたりの事業費	円	27	21	17	17	17	17	17
サフ	ķ −.	トショ	ョップ1店当りの事業	費円	23,511	182,222	135,700	113,083	113,083	96,929	96,929

	社会										
	事剂	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及で こなし	が社会環境	の変化(開始時期又は5年前との比	え)・市民からの意見や要望》						
	13 (
L	(CI	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)									
Ī	必要	①行政関与の必要性《目的達成に向けて ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当									
	女性評価	☑ 適切である□ 見直しの余地がある		恋人の聖地をPRしていく上ではホー	ムページの管理等は必要である。						
	有効	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比· ④成果の波及効果《全市民, または多くので			なる成果向上ができるか?》						
	性評価	☑ 向上の余地がない□ 向上の余地がある		サポートショップをホームページで糸	介することは、恋人の聖地の訪問者へは	有効である。					
	効率	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに				寫時雇用等)》					
	华性評価	☑ 削減の余地がない□ 削減の余地がある		恋人の聖地のPRに必要なホームペい。	ージの管理が主な経費であるため、削減の)余地がな					
	— <u>}</u>	欠評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)							
		必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地	がある		笠間市の知名度向上に向けて、ホームペ 訪者の回遊性による滞在時間の延長を図						
_	A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他						
)ļ	牧革・改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成の有無とその対策□ 影響は大きく,問題の発生が予想□ 代替案や対策を採ることで対応で	される					
		牧革・改善案を実現する上で克服するべき 頃と解決方法	④取組	状況	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 も含む) □ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動 名称						
					□ 他の事務事業や活動と統廃合や追 □ 統廃合や連携はできない・既に連						

	今後の方向性	現行どおり継	**	評価理由 笠間市の恋人の聖地の認定は、茨城県で唯一であり、市全域が認定さ
総合評価 (担当部長)	資源配分	現状維持		れることも全国で珍しいことから、笠間市の知名度を向上させるために ホームページによる情報発信を継続していく必要がある。
	部内での位置付け	中(位	

平成	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 所属部課名 産業経済部商工観光課 課長名 清水 博 (PLAN)事務事業の計画 事務事業番号 40 担当者名 箱守 司郎																		
	FLAN 事務事業の計画 事務事業番号 40 無款支名 信が 同 事務事業番号 40 担当者名 箱守 司郎 事務事業性質 政策的事業 事務事業性質 政策的事業 事務事業性質 政策的事業 財 の管金庫の事務事業性質 財 の変数の表現しています。																		
FLA	N J ∋	サイク 前 四					評価区	分						坐 有				_	
事	務事	業名 笠間観光	ネットワー	ーク学	·議運営	事業						以水	<u>н</u> ј ј	助	b		⊟ / 1		
			, , .				評価外事	事 兼		画実施記				単独					事業数
総政	ζ	政策 2.多彩な交						業〕	新	規・継続			迷続	×	1 油田家				
合 第	£ /	小政策 1. 笠間を	体感で	きる観	光・産	業を振興	します		事	開始年度	吏	終	「年度	5 分					
計体	-	施策 1. 観 光		, ,		-1-1. 1114			期	H21		単年月	宇繰 近	対し 共	に催者・関	係団	体 笠間箱	見光ネッ	トワーク
画系	\	小施策 2. 観光拠	点及び			り整備	H		間								云 硪		
予答		会計 款 一般 商工費	L	観光		左 日 ユ		AA- 1111		目名 ーク会議運営	소 하는 기는		基計画 処法令	_	間巾観り	七 振	基本計画	1	
算科	-	一版 尚工貝	í	餓ノ	亡質	観り	[加典]	登间	観光ネツトン	一ク会議連点	当事業		がある		補助	全の7	右無	負担金	の右無
目	-											<i>></i>	直営		Thirty	—— 江下 ^ >	日杰	只" [2])), H 227
	『務』	事業の全体概要及び	『背景』	2	【事業計	 ·画(主	こ担当者が	「行う	業務内第	容及び手	€順)	1		年度	目標】	4	事業費の	内容(%	中算額)】
笠間観	見光:	振興基本計画の各種	重施策				トワーク会				I PULL			青率 8		報償	費 60千	円	()1 DU _
の推進	進に?	当って、観光協会を	はじめ、	当		資料の作				•					•		費 6千円		
観光	関連	団体、観光関連事業	き者との	年度															
より一 行政	増り	連携の強化を図り、重団体等で組織する	巾氏、 「설問	度計															
		ワーク会議」を設置																l	
的な訳	問整	や連携を図りながら、																	
的な調整や連携を図りながら、効果 ・笠間観光ネットワーク会議の開催(年3回) 出席率 95% (予算																			
				翌年		・会議資料の作成 ・笠間観光振興基本計画の中間見直し												円 J	
				度	<u>, 7,7</u> 1∺1 ∺	光ノロルステ	(五)十二	107 1	E 70 pm.							LL13 / 1-3	J負 ∪ I i	1	
				計															
				画															
- 事:	水市	*************************************																	単位
		業の目的と手段									(4)		議委	昌					<u>単位</u> 人
)対 ∮			会諱	美参加者						対象		哦 刄 ,	<u> </u>					/\
H	動さん	いける相手・もの)			~-						指標	票						\Box	
的②	事務	事業の意図(どのよう	にしたい	観光	·協会、	 観光関連	団体、観光	関連	 事業者と	のより一	5		席率						%
		どういう状態にしたいの				強化を図		10-4-			成5 指標	表				-+			
												\sim	議数					_	口
手③	日白	りを達成するために	主際に	学 間	古組光	垢佩其2		行答刊	甲竿を宝	썲	⑥ 活動	,	have.						
		行政活動(サービス		2/-10	けい 屋がつ	1K75-45	P-11 124 - / / C	11 11 -	エサム人	ne _o	指標							$-\!\!\!\!+$	
		5事業の美施 び指標の推移																	
于木里	1人	事業費	単位	\	の年度	(宝徳)	23年度(3	女(李)	9.4年由	: (₹ <u>1</u> mi)	25年	: ⊯ / €	Litti)	96年1	在(計画)	97年	年(計画)	90年1	在(計画)
			-		22十段	(天限)	23年度(5	天限 /	24十段	.(計画)	254	· 及 (ī	画 /	204/	支(計画)	214	・皮(計画)	20年)	支(計画)
	財	国庫支出金	千															_	
投事		; ///// A ==	千																
投入コス	生 内	1 地力領	千日																
八コス	訓訴		千日																
<u>۱</u>		一般財源	千F			160		68		68			68		68		68	3	68
$\overline{}$		事業費計(ア)	千F	円		160		68		68			68		68		68	3	68
イ		職員割合	人一千	戶円	0.05	375	0.12	900	0.12	900	0.12	2	900	0.12	900	0.12	2 900	0.12	900
ンプ人		時間外	千日	円															
ッ 件	È	嘱託臨時	千F	円															
ト費	7	他課の協力分	千日	円															
\smile		人件費計(イ)	千日			375		900		900			900		900		900)	900
4	ータ	プルコスト(ア)+(イ)	千F			535		968		968			968		968		968		968
		指標区分	単位		99年度		23年度(美		94年度		25年	.) E		26年』		97年	度(目標)		度(目標)
	議数		口		22十尺	3		2	217/3	3	207	-汉()	3	207/	文(口/示) 3			3	3
(白	时数多	Х.	<u> -</u>	1									3				•	,	
動 指																			
標一																			
123.																			

15

80

22年度(実績)

11,889

15

80

23年度(実績)

21,511

15

90

24年度

21,511

15

90

25年度

21,511

15

90

26年度

21,511

15

90

27年度

21,511

15

90

28年度

21,511

人

%

単位

円

円

| 対象 | 会議委員 | 成果 | 出席率 | 指標

コスト指標

委員一人当りの事業費(1回の会議)

		市民ニーズの把握				
事	務事業を取り巻く	〈環境《対象や法令根拠	見及び社会環境	色の変化(開始時期)	又は5年前との比	(較)・市民からの意見や要望》
Ļ	T 11. 1		- `			
C		<u> </u>			ふ見て適切から	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
必要						ハているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
性	■ 適切である					
評価	□見直しの余					
	·		レルベアじらで	なったかり丁土たす	-ステレでA公 百	更なる成果向上ができるか?》
有効		、地 《成木は,*゚゚ー) 効果《全市民,または多				C(なの)放火[4] エル・C C(の)//・: //
性評	□ 向上の余地	 bがない				
評価	□ 向上の余地					
			デージャー・大手は、	当時できないかの(4.挨めて決の目	
効率						直し、旧式の協力など/// 直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
半性評	□ 削減の余均					
評価	□削減の余均					
	次評価結果	世<i>いでの</i> る		全体総括(振り返り	后坐占)	
		適切 □ 見直しの :	余地がある	主体が行気が及り	,风有点	
	_	適切 □ 見直しの				
	効率性 🗌	適切 □ 見直しの会	来地かめる 			
[A	CTION】事務事	業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の	課題や問題点	その他
1	改革·改善案		③前年	度の改革・改善案		⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
						□影響は大きく、問題の発生が予想される
						□代替案や対策を採ることで対応できる
						⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
2	改革・改善案を3	 実現する上で克服する	(き)			□ 他に手段がない
	題と解決方法		④ 取組	l状況 ———————		□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
						名称
						□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している
	1 	_ = 1				
P	LAN】事務事業の				_	評価理由
(P		今後の方向性				評価理由
(P	LAN】事務事業の 総合評価 (担当部長)					評価理由

平	成2	4年度等	間市事務	务事業	評価調	小	成23年度	実	施事業)					所属部語				観光課
-		事務事業の				-, , , ,	, , , , , ,		事務事業看	长号	41			課長名 担当者			水 博 子 司郎	ζ
111	<i>II</i> 11 1	于初于木	/ZIII [E]				評価区分	À	事務事業性質			管理事業	補		行管省庁			可事務事業
	事務	事業名	桜の再生計	画事業					重要事務事				助		1 1 1/4			是先順位
							評価事業		総合計画実施語			0	単独	市単独				事業数
総	政	政策	2.多彩な交流	たで飛躍~	する活力ある	産業のま	ちづくり〔産	業〕	新規·継続		刹	迷続	四区	補助率			39	40
合	策	小政策	1. 笠間を位	本感でき	る観光・産	業を振り	単します		事開始年月	吏	終了	了年度	分	冊切牛				
計	体	施策	1. 観 光						期 H20		単年四	度繰返し	#4	催者・関ク		桜の保	全・活月	用推進
	系		2. 観光拠点	点及びる		の整備			間				/ \	E 1 1/3	лын	委員会		
	F	会計	款		項細水井	ÆD V		7//7	細目名 の再生計画事	ᅫഺ		計画						
多禾	1 す	一般	商工費		観光費	観力	光振興費 桜の再生計			兼		ル法令 (#: チン)		上 中,	への七句	n. /=	4 111	5七年
1 T											-	施手法 <mark>べて委託</mark>	2	無 無 用 り	金の有無	· 多	負担金 <i>0</i>	フ有悪
		タ東娄の今	 体概要及び	(非县]	2【事業計	 - (主:)	ァ 却 当 老 がる	行ら当	美務内容及び手	と川豆)		3【年		輝 】	/ 【重当	と 専の 12	り 次 (沖	·算額)】
			体例を及り						伐採、消毒等)			剪定本			<u>エーデッ</u> 委託料			奔识/】
			山·佐白山居		当	-1.70477	A # 1 (1X ->)	<i>,</i> ,,,_	DANK III PA II	,), C	- 2/	10/ -	X 1011	000	1 3	
桜を	三再 5	生することに	こより、賑わい	いのあ	年													
る観	北北	也域としての	の観光振興を	と図る。	度													
					計画													
					四													
					上記と	同様					剪定本数			50本	(予算額	į)		
					<u> </u>					<i>→ ← → →</i>					委託料	1,000	千円	
					年													
					度													
					計画													
					ш													
5	事務	事業の目的	りと手段															単位
	太([)	l·免								4		民数						人
_		きかける相手	手・ ‡(の)		市民、観光	客				対1								
目的	(10)					~ 10 KB \1/ B	5 m Mi -	2	/地域である愛	指 (5		宕山桜。	+ ~1/) オ) オ / 女	*/-			
山入			図(どのように	こしだい					ノ地域でめる愛 こより、賑わいの			石川俊	ギンリ	八込谷	奴			人
	のか	。どういう状!	態にしたいの				の観光振興を			指								
										(6)	益	定本数						本
手	(3) E	的を達成さ	するために実	巨際に	愛宕山•佐良	白山榃公	園の桜の剪え	定を生	宝施	活								
段			動(サービス)		201		ш ·		CNEO	指								
ID	↑ #	・ 数事業の	女 坛:															
_		務事業の登及び指標の																
争差	長質 /		が住移	W		. / /		/ / * `			/	>		(31-3)		/=1 <u>}</u>		- (31)
		事業費		単位	[22年度	(実績)	23年度(実	績)	24年度(計画)	25年) (計		年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)

事	業費	及ひ	が指標の推移						_									
			事業費	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年度	(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事	源内	地方債	千円														
コ	事業費	訳	その他	千円														
スト	,		一般財源	千円				935		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000
_			事業費計(ア)	千円		0		935		1,000		1,000		1,000		1,000		1,000
1			職員割合	人 千円	0.01	75	0.02	150	0.02	150	0.02	150	0.02	150	0.02	150	0.02	150
ンプ	人		時間外	千円														
ッ	件		嘱託臨時	千円														
卜	費		他課の協力分	千円														
$\overline{}$			人件費計(イ)	千円		75		150		150		150		150		150		150
	}-	ータバ	レコスト(ア)+(イ)	千円		75		1,085		1,150		1,150		1,150		1,150		1,150
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績)		23年度(実績)		24年度	(目標)	25年度	ぼ(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	剪足	定本	数	本		0		47		50		50		50		50		50
動																		
動指標																		
対	市国			人		79,409		78,862		79,000		79,000		79,000		79,000		79,000
象指標																		
成田	愛知	山岩	桜まつり入込客数	人		22,170		0		27,000		27,000		27,000		27,000		27,000
成果指標																		
標																		
			コスト指標	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	244	F度	25	年度	26 [£]	丰度	27年	F.度	284	丰度
			旨たりの事業費	円		1		14	-	15		15		15		15		15
入i	入客	数一	一人当たりの事業費	円		3		0		43		43		43		43		43

	会情勢の変化・市民ニーズの把握	
	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境 成23年度は東日本大震災により、愛宕山桜まつりは中	近の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》
	成20十反は末日平八辰火により、 変石 田恢よ フリはT	11.
[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)	
24		節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》
业要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》
必要性評価	: <u> </u>	桜を再生することは、賑わいのある観光地域にするためには必要である。
Ilmi	□見直しの余地がある	
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	D施策への波及効果があるか?》
性評	☑ 向上の余地がない	
評価		日本を代表する桜を再生することにより、市民や観光客に癒しを与えるためにも必要である。
Ilmi	□ 向上の余地がある	
		削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》
効率	⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削	川減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》
性評	┃ ☑ 削減の余地がない	
一評価		愛宕山や佐白山は広範囲のため、年次計画により業務委託を実施している。
	│ │ 削減の余地がある	
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	市民や観光客に癒しを与えることにより、賑わいのある観光地域としての観光振興を図る。
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他
①i	改革・改善案	度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響の有無とその対策
		☑ 影響は大きく, 問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる
		②新川東業との絵成会・連携の可能州 (民間活動

②改革・改善案を実現する上で克服するべき 課題と解決方法

④取組状況

<u> その他</u>
⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策
☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる
⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
□ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
名称
□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

-				
		今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 市民や観光客の賑わいのある観光地づくりには、癒しを与える桜の木を
	総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	再生することは必要であるため、年次的に継続して実施する。
		部内での位置付け	下 位	

平	成2	4年度等	間市事務事	業調	平価調	事(平)	成23年度	実	拖事 第	美)						所属部語 課長		産業組		が 博	見光課
[PI	.AN	事務事業の	の計画						事	務事業番	\$号	4	42			担当者				司郎	
							評価区分	子	事務	事業性質	質	政領			補			省庁	ᢖ	実施計画	事務事業
	事務	事業名	地域振興助成事	事業			評価事業	Ě		事務事業 画実施計						市単独					先順位 事業数
	政	政策	2.多彩な交流で飛	後躍す	る活力ある	産業の	まちづくり〔産			見・継続			継続		独区	補助率				/ [] 工	于未数
合	策		1. 笠間を体感	できる	観光・産	業を振り	興します		事業	開始年度	F	終	·了年	度	分	州奶平					
計画	体系	施策 小施策	1. 観 光 3. 観光客受け	入れん	本制の充分	<u></u>			期間	不明		単年	度繰	返し	共作	崔者・関	係団	体 友部	羽菊花	艺会外	
=	7	会計	款	7 44 01	項					目名		関	連計	画							
貨	草 「	一般	商工費	匍	見光費	観	光総務費	観光	2総務費	標準的事	事業		拠法								
	斗												実施			補助	金の	有無	負:	担金の	有無
		4-1- N/C - A	//. lm == = = 4 % = 16 E	.	▼ → SH4 →		た)ヶ柏 V 老ぶたる 要数 中央 T マドエ順)							て委託3【年度目標】			0	Z → NIC → H			inden sekerak W
			体概要及び背景														_	事業費			
供いく、されば、	ていた。おいていた。これでは、おいまでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	れる友部薬動をしてい 引地区の各 系統芸能を、 夏まつりにす	おいて、菊花を枝 可花会、ほたるの る、駒場ほたるの 地区に受け継が 後世に伝承する 対する補助。	対しています。 おおいますが、 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	、	23年 の会	度中』	L	表 (本) (本) (本)				数		90日 菊花	-Sの里 F円 在会補助 算額) ミつり補.	金:	36千円	·H		
5	事務	事業の目的	りと手段										V 11 1/2	.,						ĺ	単位
目	①対 (働き	け象 きかける相手	手・もの)	縣	て部菊花会 同場ほたるの 計間囃子連	の会	会				④ 対 指 指	象	会員数 団体数	文 文						[人 団体
的			:図(どのようにした 態にしたいのか)	客を図り	好芸 図り、地域の振興を行う。				⑤ 成身 指标	果	是供來	与鉢(2		の夏ま 駅北口					鉢		
手段			するために実際! 動(サービス)	に 3	団体に対し	て補助	助金の交付を実施。				⑥ 活動 指标) 助 —	浦助 額	頁 							円
(D)]事	務事業の	<u></u> 実施												-						
事	 上費	及び指標の	<u></u> 推移																		

事	業費	及ひ	が指標の推移						_									
			事業費	単位	22年度(実	績)	23年度	(実績)	24年度	(計画)	25年月	度(計画)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	隻(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	事	源内	地方債	千円														
コ	事業費	訳	その他	千円														
スト	- `		一般財源	千円		186		126		260		260		260		260		260
_			事業費計(ア)	千円		186		126		260		260		260		260		260
イ			職員割合	人 千円	0.06	450	0.07	525	0.07	525	0.07	525	0.07	525	0.07	525	0.07	525
ンプ	人		時間外	千円										•				
ッ	件		嘱託臨時	千円														
7	費		他課の協力分	千円														
)			人件費計(イ)	千円		450		525		525		525		525		525		525
	}-	トータルコスト(ア)+(イ)		千円		636		651		785		785		785		785		785
		扌	旨標区分	単位			23年度(実績)		24年度	(目標)	25年月	度(目標)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	度(目標)
活	補明	助額		円	186,000		126,000		2	260,000		260,000	2	260,000	2	60,000		260,000
動																		
動指標																		
悰																		
対	会員	員数		人		52		52		0		0		0		0		0
象指	団体	本数		団体		0		0		21		21		21		21		21
標																		
成	入证	2客数	数(岩間の夏まつり)	人		0		0		2,300		2,300		2,300		2,300		2,300
果指	提供	荣鉢	太(友部駅北口装飾分)	鉢		15		15										
標																		
	コスト指標			単位	22年度(実	績)	23年度	(実績)	244	丰度	25	年度	26年	F度	27年	F度	28	年度
			áたりの補助額	円	3,	577		2,423		0		0		0		0		0
1団	体	当り の	D補助額	円		0		0		12,381		12,381		12,381		12,381		12,381

事	会情勢の変化・市民ニーズの把握												
11113	为亚亚国民间及民国公百里1C6777人间701日召 19.		C 0 4 7 A 4 7 111 9 1 22 4 7 7 11 E C C 1 1 1										
[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)												
Χi				?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》									
要	②総合計画との整合性, 対象と意図の妥当性《 	目的	(対象と意図)は総合計画と結びつI	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》									
必要性評価	☑ 適切である □ 見直しの余地がある		自然保護活動や伝統芸能の伝承の	のためには必要である。									
	7	. سب ۱۷۶	* * 1 0 T + 2 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	エムフ 上田 - 1 - 1 - 1 - 2 - 2 - 2 - 2 - 1									
有	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてと			史なの成果同上ができるか? 》									
有効性	④成果の波及効果《全市民, または多くの市民。	一川 (7.										
性評	☑ 向上の余地がない		 各団体の活動の補助のためには有	宣効である									
価	□ 向上の余地がある		1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 2 1 2	1797 (0 7 0 0									
	□ ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業	美費を	 削減できないか?(仕様や工法の見	見直し,市民の協力など)》									
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 郊 ⑥ 人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか? (業務プロセスの見直し, 個々の業務の効率化等, 業務委託													
性評	☑ 削減の余地がない												
	□ 削減の余地がある		補助金等審査会において審査され	にいる。									
			A H.An let (IPIn)Pin Pin III										
<u> </u>	欠評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)										
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	3	to be the tip A and constitutes a sign of	I Sali A a a librar and a a decidad a salidad a decidad a salidad a decidad a salidad a decidad									
	有効性 🗵 適切 🗌 見直しの余地がある	3	友部菊花会及び駒場ほたるの会の 区の伝統芸能の伝承のため補助を)補助金は、補助の見直しを行い廃止となったが、岩間地 トする必要がある。									
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	3											
	CTION TENTE WORLD TO YE	7 1 17	マープー並圧廃の調度の問題上	7. 10 lb									
			アップ前年度の課題や問題点	その他 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響									
1)(改革・改善案 3	沙削平	度の改革・改善案	の有無とその対策									
				┃									
				□代替案や対策を採ることで対応できる									
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動									
				も含む)									
	牧革・改善案を実現する上で克服するべき (4	取組	状況	□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)									
課	題と解決方法	- 0-/1-1											

II LANJ F M F R	·/ III E		
	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 地域の活性化や伝統芸能を後世に伝承するために事業の継続は必要
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	である。
	部内での位置付け	下 位	

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

亚	平成24年度笠間市事務事業評価調書(平成23年度実施事業) 所属部課名 産業経済部商工観光課課長名 清水 博課長名 清水 博理 書籍事業番号 43 【PLAN】事務事業の計画 事務事業番号 43 担当者名 第守 司郎 本がい事理 (英世野が) シェイデン 評価区分 事務事業性質 政策的事業 補 所管省庁 実施計画事務事業																			
	-			Δ	13															
	<i>JI</i> 11 V] - 10						評価区分	E					補				_		
	事移	事業名	ふるさと雇	用(着地	型ビ	ジネスモ	デル			重要事務事業		-//	—	助						先順位
	• • •	, , , , , ,	事業)					評価事業		合計画実施計			_	単	県補助		茨城県	ŀ		事業数
総	政	政策	2.多彩な交流	売で飛躍	する活	舌力ある産	業のま	ちづくり〔産 業〕		新規·継続			継続	独区	壮		10/10			
合	策	小政策	3. 交通条件	を生かし	た, 5	豊かさを育	む商コ	工業を振興します	事	開始年度	麦		了年度	分	補助率		10/10			
計		施策	3. 雇用•党	働環境	Ì				業期	1 101			1104		思老. 明	K]体(社	\ <i>h</i> ;\tau	11 年 11	协公
画	系	小施策	1. 雇用の	創出					間	H21			H24	共′	惟伯 *)	1	114 (11.) 立门	间観兀	勋云
=	予	会計	款		邛	-		目		細目名			連計画							
1	第	一般	商工費		観光		観光	と振興費 ふる	さと雇用	(着地型ビジネスモデル	事業)	根	拠法令							
	斗												実施手法		補助	金の	有無	負	担金の)有無
													べて委託							
			体概要及び					こ担当者が行う			=順)]	3【年		目標】		事業費			算額)】
得しこと	」「笠によ	間発見ツブ り、募集型	第二種旅行第 アーズ」を運 企画旅行(野	営する 見地発	当年	着地型於	行商	と業務委託契約 品の開発・販売 (四半期ごと)			1		取扱人1,566			安計	壬料 3,5	064-	十円	
行い求理	ハ効: 職者	果的な誘名 の雇用機会	ー)の企画・! \$を図るため 会を創出する	、地域 ととも	度計画															
11 .			品の開発・月	仮売を		T \$40 F	154						Tri. Inc.	यहर		/→	hohe phore			
(足i	進す	රං				上記と同		田孙内市坐戸	亦声				取扱人				算額) £料 3,9	1995	£[II]	
					翌年	辰火寺第	《忌准》	用対応事業に					1,600	八		安計	17件 3,5	1∠3-	一円	
					度															
計																				
					画															
_	古功	・古米の口台	541、工机																	出任
5		事業の目的	りと手段								(4))	卡民数							<u>単位</u> 人
	(E)		- · - ·		市民	2、観光客					対象		口以数							
目	(働	きかける相	手・もの)								指植	票								
的	② 	(終事業の音	意図(どのよう)	こったい	笠間	観光協会	が第二	- 種旅行業を取	导した	とことにより、	(5)		D扱人数							人
			態にしたいの					と目指し、募集型	企画	i旅行の企	成身	果 弖	も 上額							円
					四•月	収元を110	7	的な誘客を図る		指标	- /	<u></u> 上画数						-	プラン	
手	@ F	7.44.34.45	1-72.11-2	⇒ π/a∀) →	笠間	観光協会	と委託	三契約を締結し、	着 地	型旅行商品	6	_	上四奴							, ,,,
段			するためにӭ 動(サービス			·画·販売		活動指標												
				.)							1日化	示								
_		務事業の																		
事	業費.	及び指標の							_											
		事業費	,	単位	Ĺ	22年度(実績)	23年度(実績)	244	年度(計画)	25年	度(計画) 26	年度	(計画)	27年	F度(計画	画)	28年度	(計画)
		国国	車 支出金	千円]															
+ru		財県	支出金	千円]		3,056	3,564	1	3,923										
力ス	事	源	也方債	千円				,	1	,										
投入コス	業費	P3	<u>- ころ頃</u> その他	千円					-											
	費	H/ \	般財源	千円																
7							2.050	2 56	-	0.000			0		- 0			0		
$\widehat{}$			計(ア)	千円			3,056		_	3,923			0		0			0		0
イン			割合	人一千		0.02	150	0.02 150	0.	.02 150			0		0			0		0
プ	人		間外	千円																
ツ	件		:臨時	千円																
卜	費	他課の	協力分	千円]										_		_		_	_
$\overline{}$		人件費	貴計(イ)	千円]		150	150)	150			0		0			0		0
	}-	-タルコスト	(ア)+(イ)	千円]		3,206	3,714	1	4,073			0		0			0		0
		指標区名	. , ,	単位				23年度(実績)		-	25年	.) (目標) 26	年度	(日標)	2.7年	F度(目	票)	28年度	(目標)
	企正	画数	~	プラ		IX	32	25 千及 (天順)	+	30	207	~(- W/ 20	1 12	(日) (万)		- /A (H 1	/N/	- 0 1-1文	、日本が
活	шър	31 XX		7 7			52	2	' 	50										
動指									-											
押標																				
									_											
対象指	市月	民数		人		7	9,409	78,862	2	79,000										
家岩															_		_		_	_
標																				
成	取打	及人数		人			1,454	1,566	3	1,600										
成果指	売」			円			0,000	8,400,000		9,000,000										
指	761	- HX		1 1		0,20	5,000	5,100,000	\vdash	2,000,000										
標																				

24年度

52

2,546

25年度

26年度

27年度

28年度

22年度(実績)

40

2,205

23年度(実績)

47

2,372

単位

円

円

コスト指標

市民一人当たりの事業費

取扱人員一人当たりの事業費

社	会情勢の変化・市民ニーズの把握								
_	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会	会環境	の変化(開始時期又は5年前とのと	上較)・市民からの意見や要望》					
平	成24年度よりふるさと雇用事業から震災等緊急雇	星用対	応事業へ制度の変更						
[(CHECK】事務事業の一次評価(担当課長)								
		政の釒	 開は行政の役割から見て適切か	?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要				いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
安性評価	☑ 適切である		観光協会の旅行業の運営のために	観光協会の旅行業の運営のためには必要である。					
	③成果の向上余地《成果は, 昨年度と比べてと	どうでも	かったか?工夫をすることで今後、	更なる成果向上ができるか?》					
有效	・ ④成果の波及効果《全市民, または多くの市民 ⁴	や他の	施策への波及効果があるか?》						
/性評価	☑ 向上の余地がない		雇用促進のための制度であるため	有効である。					
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業	を費を		見直し,市民の協力など)》					
效率	6人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件	費を削	減できないか?(業務プロセスの見	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》					
性評	☑ 削減の余地がない								
			 人件費が主な業務委託のため削減の余地がない。						
佃	┃ □ 削減の余地がある								
	次評価結果		全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	3							
	左松州 □ 盗切 □ 日本1の入地がたる	Z	雇用促進のための国の制度を活用	用し、観光協会が旅行業を運営するための有資格者を雇					
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	ခ	用することにより、笠間への誘客を						
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	3							
[A	ACTION】事務事業の改革・改善フ	フォロー	-アップ 前年度の課題や問題点	その他					
			度の改革・改善案	⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響					
	\$\frac{1}{2} \text{\$\frac{1}{2} \text{\$\frac{1} \text{\$\frac{1} \text{\$\frac{1} \text{\$\frac{1} \text{\$\frac{1} \text{\$\frac{1}	ا بنارچ	Z-0-4-4-1	の有無とその対策					
				☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される					
				□代替案や対策を採ることで対応できる					
				□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					
				も含む)					
9	改革・改善案を実現する上で克服するべき			□ 他に手段がない					
	題と解決方法	取組	状况	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
ll l				力 升					

	今後の方向性	現行どお	おり継続	評価理由 観光協会と業務委託することにより、地域求職者の雇用機会を創出し、
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状	維持	募集型企画旅行を企画・販売することは、笠間市の観光振興を図るため継続する必要がある。
	部内での位置付け	中	位	

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

平	成2	24年度笠	2間市事	务事	事業 記	平価調書	*(平月	成23年	度実	施耳	事業)					所属部部課長			部商工 水 博	観光課
[PI	LAN)	事務事業	の計画								事務事業	番号		44		担当者			子司郎	
			緊急雇用(観光	上施設	等整備管	理事	評価	区分		事務事業性		政	策的事業	補	Ē	听管省庁			事務事業
	事務	事業名	業)	PS/L/		41EM F	×T. 7	評価	事業		重要事務事 合計画実施					県補助	茨城県	Ļ		先順位 事業数
総	귮	政策	2.多彩な交流	売で	飛躍す	る活力ある。	産業のま	ちづくり「	産 業〕	形态。	新規・継続			継続	独				順征	尹未奴
合	策	小政策	3. 交通条件							事	開始年		糸	下年度	区分	補助率	10/10			
計	体	施策	3. 雇用•党							業期	H21			H24		催者・関			間市シル	レバー
画		小施策	1. 雇用の額	創出	1					間					*	住台 医	人	材セ	ンター	
	产	会計	款		451	項 1光費	年 日 \1	目 比施設費	Siy Az		細目名 ^{乳光施設等整備管理}	nu atrage)		連計画						
	章 斗	一般	商工費		街	北江貧	観ブ	1. 他改貨	繁温	催用(夢	R.尤.她 設 寺 整 佣 官 5	性爭業)	11	製拠法令 実施手法		補助	金の有無	亻	担金の)右無
	<u> </u>												_	すべて委託	E	111125	一 不。」 日 W	,		
			:体概要及び			【事業計	画(主)	こ担当者	が行う	業務	内容及び	手順)		3【年		標】	4 【事業費	費の₽	内容(決	算額)】
			度を活用し		i内 、				ンター	と業	務委託契約	約の約	帝結	業務筐	丽	10箇	委託料 3	,073	千円	
観	光施	設やハイキ 笠畑かじ蚊	ングコース等 微な作業を	等の 生物	整量	業務内 委託料			- " し)					所						
畑なるこ	とに	目埋はこ覧より. 高齢詞	者の雇用促	そが	図月		の文山	(四十朔、	_ <)											
る。			п тушупурст		言	+														
主/	な業績	務内容 0刈り払い			頂	亘														
• 早 • 枯	.不り 水 σ)刈り払い)剪定				上記と同	司様							業務筐	丽	10笛	(予算額)			
• 施	設の	修繕			될		L1.197							所	1//1	тош	委託料 4	,289	千円	
• 清	掃等	Ĕ			白	E.														
					月言	至 .														
					1000															
					1	4														
5	事務	事業の目的	りと手段											VIII. → L. 141. → C						単位
	(1)	才象			±	i内観光施	±π.⇔.v.	ノキハノガー・	っ公			④ 対		業務箇所						箇所
目	(働	きかける相手	手・もの)		11.	IPY観兀心i	这ペイン	「インクコ	一个守			指	多 標							
的	の 車	改事業の音	て図(どのよう)	71 <i>7</i>	たし、市	内観光施	設やハイ	(キングコ・	ース等の	の整備	備及び管理	(5	5)	入込観光	客数					人
			態にしたいの		2			安全で快道	適に市 目	民及で	び観光客を	成	果							
					JP.	かい入れる	٥,					指		作業員数						人
手段	<u>ത</u> ⊧	かかませ	ナスたみにち	マタロ	., 高	齢者の雇	用促進を	と図るため	、笠間i	市シル	ルバー人材	活	ש ע	11:未只数						
段	行人	的を達成 た行政活動	するために写 動(サービス	た(际)		ンターと委						指								
ID		務事業の										,								
ı —		及び指標の																		
777	村 貝/	事業費			単位	99年度	(宝結)	93年度	(宝績)	2/4	主度(計画)	95 を	王庄	(計画) 26	年. 庶	:(計画)	27年度(計	-画)	98年度	:(計画)
			直支出金		千円	22千汉	(天順)	25千皮	(大順)	21-	一尺(时四/	20-	下汉	(印画) 20	T/X		21十及(町	四/	20十尺	(田四/
			支出金		<u>- 1 </u>		4,289		3,073		4,289)								
投入コス		源	<u> </u>		<u>- 1 </u>		1,203		3,013		1,200	,								
ヘコ	業	P3	<u>らの</u> し		<u>- 1 </u>															
ス	費	H/ C	- *		<u>- 1 7 -</u> 千円															
1	-		対例 計(ア)		<u>- 1 </u>		4,289		3,073		4,289)		0		0		0		0
$\widehat{\lambda}$			割合	Į.	千円	0.10	750		750	1		_		0		0		0		0
スト(インプッ			間口 間外	人	<u> </u>	0.10	190	0.10	190	0.	100	<u>'</u>				U		U		0
プ	人件		臨時		<u>- 1 </u>															
ット	費		·豳时 ·協力分		<u>- 口</u> 千円															
<u></u>							750		750		750)		0		0		0		0
	1.	-タルコスト	計(イ) (マ) + (ハ)		千円		750	.	750		750			0		0		0		0
	 -				千円	00年時	5,039		3,823	0.47	5,039	_	int rate .	-	左 庙		07左床(日	0	00左座	0
	16-AI	指標区分	ヷ	-	単位	22年度		23年度		244	年度(目標)	_	干及	(目標) 26	牛皮	(日際)	27年度(目	(標)	28年度	(日際)
活動指導	1下身	美員数			人		24		24	1	24	ŧ								
動																				
招標										_										
	게다 →	- kk			<i>k</i> / <i>k</i> → <i>r</i>					_										
対象指標成果指	業務	跨 箇所			箇所		14		10		14	ł								
指																				
標																				
成里	入记	入観光客数			人	3,2	81,300	3,14	46,500		3,300,000)								
指																				
標																				
		コスト打			単位	22年度	(実績)	23年度			24年度		25年	度	264	年度	27年度		284	手度
1億	所当	的の事業費	事		円	3	59,929	38	32,600		359,929)								

209,958

作業員一人当たりの業務費

円

円

209,958

159,292

_社:	会情勢の変化・市民ニーズの把握							
	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境 になし	の変化(開始時期又は5年前との比	較)・市民からの意見や要望》					
[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)							
ιχ	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の							
必要性	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びつレ 	いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性評価	☑ 適切である□ 見直しの余地がある	国の制度を活用し、高齢者の雇用の	足進を図ることは必要である。					
右	③成果の向上余地 《成果は、昨年度と比べてどうで	あったか?工夫をすることで今後, 夏	見なる成果向上ができるか?》					
有効は	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の)施策への波及効果があるか?》 						
性評価	☑ 向上の余地がない	雇用促進の制度であるため有効で	ある。					
ТЩ	□ 向上の余地がある							
効率	⑤事業費の削減余地《活動量を下げずに事業費を ⑥人件費の削減余地《活動量を下げずに人件費を削		.直し,市民の協力など)》 直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性	☑ 削減の余地がない							
評価	□ 削減の余地がある	人件費が主な業務委託であるため	削減の余地がない。					
— }	 次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある							
	有効性 🗹 適切 🗌 見直しの余地がある	通常の市内観光施設等の整備に加え、軽微な作業を業務委託できたことは、高齢者の雇用促進や施設の管理において有効であった。						
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある							
[A	CTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他					
		度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					
			☑ 影響は大きく,問題の発生が予想される					
			□ 代替案や対策を採ることで対応できる					
			⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動					
			も含む)					
	牧革・改善案を実現する上で克服するべき 題と解決方法	状 况	□ 他に手段がない □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
环	因乙件伏刀伝		名称					
			□他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる					
			□ 統廃合や連携はできない・既に連携している					

	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 国の制度を有効に活用するため継続する必要がある。
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	
	部内での位置付け	下 位	

平	成2	24年度空	空間市事	务事 業	評	価調書(平月	成23年度実	施	事業)					所属部			斉部 清水		見光課
(P	LAN	】事務事業	の計画							事務事業都	\$号		45		担当者				司郎	
		<u> </u>						評価区分	Ħ	事務事業性質		政	策的事業	補	Ī		省庁	実	施計画	事務事業
	事務	8事業名	ふるさと雇	用(菊伝	承事	事業)		評価事業		重要事務事業				助単	県補助		茨城県			先順位
		ナレバケ	0 45% 5-4%	+ TV 1133	1 1	or the water	4		総合	全計画実施記 第14 ※ 45	十画			独			12394213	JI	順位	事業数
	政策	政策 小政策						ちづくり〔産 業〕 C業を振興します	事	新規·継続 開始年度	¥	4	継続 冬了年度	区分	補助率		10/10			
合計	体	施策	3. 雇用·労			豆パでを目む	1日1	L 未と1仮典しより	業		Ž	不	·					古浩		没業協
	系	小施策	1. 雇用の		Ľ				期間	H21			H24	共	催者・関	係団	団体 一川田川田川田川田川田川田川田川田川田川田川田川田川田川田田川田田田田田田田田	合	图)	又未加
-	予	会計	款	H 7 / -	Į	頁		目	11-13	細目名		B	関連計画							
-	算	一般	商工費		観)	光費	観光	光施設費 ふる	5さと月	雇用(菊伝承事	(業	札	艮拠法令							
	科												実施手法		補助	金の	有無	負担	旦金の	有無
		が古米の人	/	N-11× EI ■		T + 4K = 1 - T	().)	- Le VI -4 384- >	ᄱᄼᆇᄼ	· 上 - コ - バ -	- M#\		すべて委託		- Lond V	_	7 去米曲。	5 		******** T
			:体概要及び は培所で保存		2			こ担当者が行う設業協同組合る					3 【年 栽培菜				【事業費 <i>0</i> 毛料 2,20			
菊は	の栽 せ、 に に お	培技術を民 手年開催する	間に広く普る「笠間の菜 る「笠間の菜	及伝承 まつ	年	菊栽培業績委託料の意	務の法			33 32 H B 7 V/II V		711	2,000金	本						
					翌	上記と同様電災等緊急		用対応事業に変	か雨				栽培菜 2,000釒				<u>算額)</u> 毛料 3,23	7千	Ш	
					年度計画	及火豆菜,	EVE.	/13/1//Li / (- 2	~~				2,000	·T-		У,	LTT 0,20	,,,	, ,	
					Щ															
5	事務	8事業の目的	的と手段																È	単位
	(I)	対象			4-	= /c= \/					4		市民数	I HH :	1 \1 //* *//					人
目		きかける相	手・もの)		市臣	民、観光客					対 指 指		菊まつり期	間ノ	人込各数	ζ				人
的	@ 1	₩ o ⊅	10 (1) a 1-71	-1.2.	市営	営菊栽培所で	で保有	する菊の栽培技	技術を	・民間に広く	5		栽培菊鉢数	数(菊栽培所	fと共	(同)			鉢
	(2)=		〔図(どのよう) 態にしたいの		普及	及伝承させ、	伝承させ、菊まつりにおいて装飾展示する菊を充 成果													
		0 = 2 2 2 2			夫己	どせる。					指		菊装飾箇層	if					é	
手段			するために 動(サービス					協同組合と委託寿 展示する菊を充賃			⑥ 活動 指	動	小衣即回).	71					ц	<u> </u>
(D	〇】事	事務事業の	実施																	
事	業費	及び指標の	推移																	
		事業費	,	単位	Ż.	22年度(実	[績)	23年度(実績)	244	年度(計画)	25年	F度	(計画) 26	年月	ま(計画)	27 [£]	丰度(計画	ĵ) 28	8年度	(計画)
		国国	車支出金	千円	9															
投		財県	支出金	千円	9	1	,677	2,209		3,237										
入	事	源 内	也方債	千円	9															
投入コス	業費	訳	その他	千円	9															
ト	,	_	般財源	千円	9															
$\overline{}$		事業費	計(ア)	千円	9	1	,677	2,209		3,237			0		0			0		0
イ		職員	割合	人	-円	0.05	375	0.05 375	0.	05 375			0		0			0		0
ンプ	人	時		千円	9															
ツ	件	嘱託	臨時	千円	9															
7	費	他課の	協力分	千円	9															
)		人件費	計(イ)	千円	9		375	375		375			0		0			0		0
	}-	ータルコスト	(ア)+(イ)	千円	9	2	,052	2,584		3,612			0		0			0		0
		指標区分	分 ————————————————————————————————————	単位	左	22年度(実	[績]	23年度(実績)	244	年度(目標)	25年	F度	(目標) 26	年月	要(目標)	27年	丰度(目標	(ž) 28	8年度	(目標)
活	菊湖	表飾箇所		箇月	斤		89	91		91										
動指																				
指揮																		_ _		
標																				
対免	市国	民数		人		79	,409	78,862		79,000										
象指	菊	まつり期間ノ	人込客数	人		775	,000	770,000		800,000										
標																				
成	栽培	寄菊鉢数(菊栽	は培所と共同)	鉢		2	,000	2,000		2,000		-		-						
成果指																				
標																				
ı — —		1	is in			~~ /	. (-4-)	1 (()	1			1							1	- 1-1-

単位

円

円

コスト指標

市民一人当たりの事業費

栽培菊1鉢当りの事業費

22年度(実績) 23年度(実績)

26

1,026

38

1,292

46

1,806

25年度

26年度

27年度

28年度

24年度

社 :	会情勢の変化・市民ニーズの把握								
事	務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び			(較)・市民からの意見や要望》					
平)	成24年度よりふるさと雇用事業から震災等緊	急雇用対	応事業へ制度の変更						
[C	HECK】事務事業の一次評価(担当課長)								
必要				?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 いているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性評価			菊まつりのおいて菊花の装飾を充	実させ華やかさを演出することは必要である。					
有	③成果の向上余地《成果は、昨年度と比べ			更なる成果向上ができるか?》					
有効は	④成果の波及効果《全市民, または多くの市	5民や他の	の施策への波及効果があるか?》 「						
性評価			雇用促進の制度であるため有効で	්ත්රිං					
++L	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに	事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見	直し,市民の協力など)》					
効率		、件費を削	川減できないか?(業務プロセスの見) -	直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》					
性評	☑ 削減の余地がない								
価			人件質が王な業務委託のため削減	人件費が主な業務委託のため削減の余地がない。					
<u> </u>			全体総括(振り返り, 反省点)						
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地か	ぶある							
	有効性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が		笠間を代表する秋のイベントである	。 菊まつりにおいて、菊花を充実させるために、菊栽培所					
			と共同で菊を栽培することや菊の栽培技術の伝承には有効であった。						
	効率性 ☑ 適切 □ 見直しの余地が	ぶある 							
[A	CTION】事務事業の改革・改善	フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点	その他					
①i	改革·改善案	③前年	度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策					
				☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる					
				⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)					
<u>(1)</u> :	改革・改善案を実現する上で克服するべき			□ 他に手段がない					
	題と解決方法	④取組	l状況	□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
				名称					
				□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している					

11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			
	今後の方向性	現行どおり継続	評価理由 国の制度を有効に活用するため継続する必要がある。
総合評価 (担当部長)	資源配分	現 状 維 持	
	部内での位置付け	下 位	